


東アジア文化都市
北九州2020・21
CULTURE CITY OF EAST ASIA in KITAKYUSHU

事業報告書

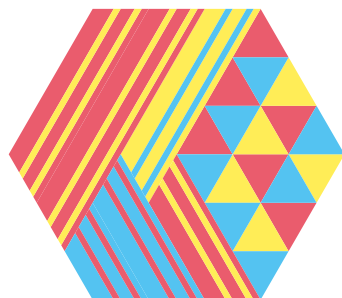
CULTURE CITY OF EAST ASIA in KITAKYUSHU REPORT



人をつなぐ。
未来をつなぐ。



コロナ禍ではありましたが
この事業が無事に行えたのも、
参加して下さった方 関わって下さった方
全てのみなさんのおかげです。
ありがとうございました。



東アジア文化都市
北九州2020・21
CULTURE CITY OF EAST ASIA in KITAKYUSHU

事業報告書

CULTURE CITY OF EAST ASIA in KITAKYUSHU REPORT

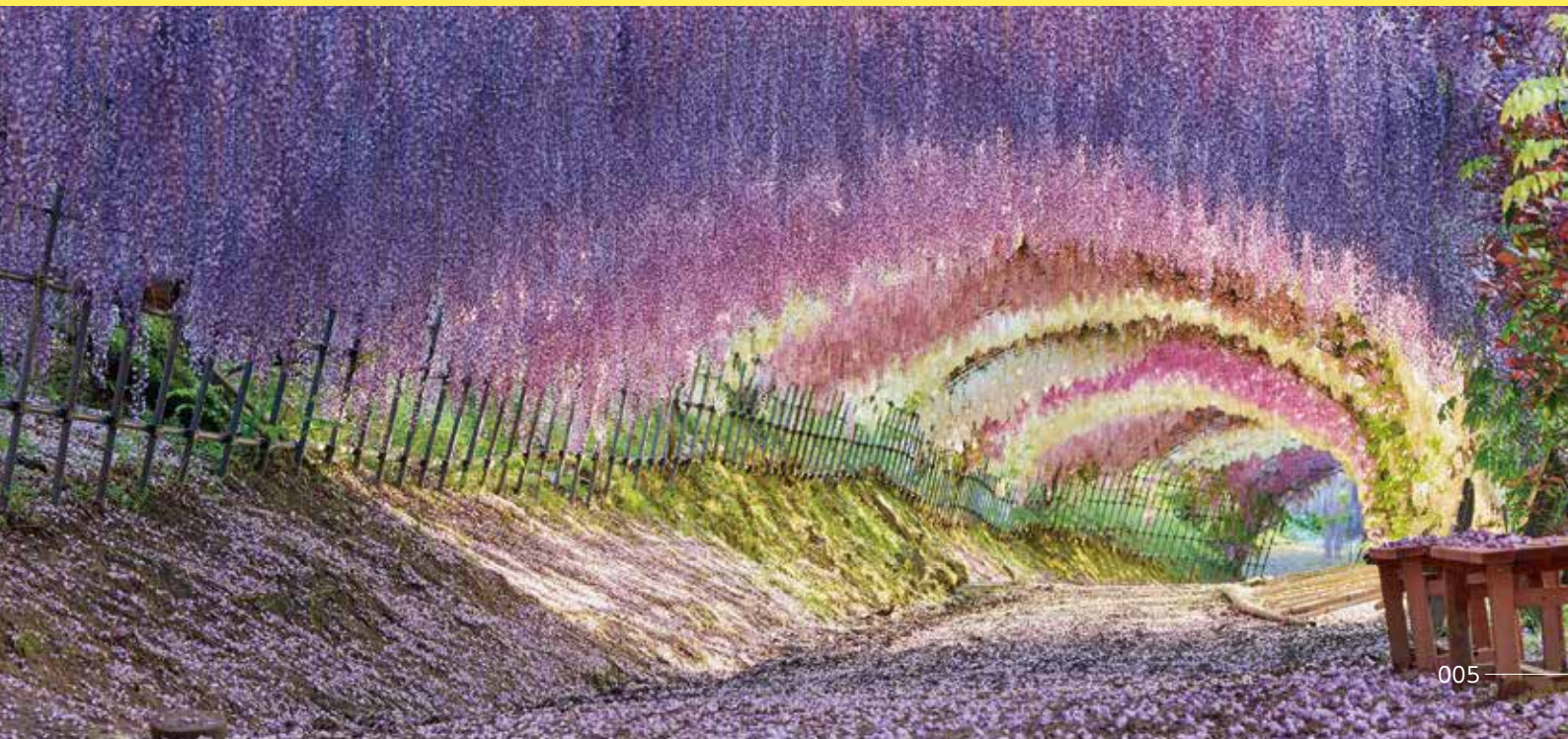


目 次

I 挨拶	p.005
1. 北九州市長挨拶	p.006
2. 文化庁長官挨拶	p.007
3. 総合プロデューサー挨拶	p.008
<hr/>	
II 開催概要	p.009
1. 東アジア文化都市とは	p.010
2. 東アジア文化都市北九州へ	p.011
3. 東アジア文化都市北九州2020▶21 事業概要	p.014
4. 交流都市	p.019
<hr/>	
III つなぐ	p.021
人をつなぐ。	p.022
未来をつなぐ。	p.025
<hr/>	
IV 事業報告	p.031
1. プレ事業	p.032
2. オープニング事業	p.035
3. 交流式典・開幕式典	p.036
4. 伝統芸能(コア事業)	p.040
5. ART for SDGs(コア事業)	p.046
6. メディア芸術(コア事業)	p.056
7. 文学(コア事業)	p.060
8. その他主催事業	p.067
9. 連携事業	p.068
10. パートナーシップ事業	p.086
11. フレンドシップ事業	p.108
12. 交流事業	p.112
13. 閉幕式典	p.118
14. 共同宣言	p.123
15. 国・CCNJ関連事業	p.124
<hr/>	
V 資料	p.127
1. 広報	p.128
2. 実施体制	p.140
3. 事業収支	p.144
4. 評価分析	p.145
5. 事業経過一覧	p.152
<hr/>	
VI あとがき	p.155

I 挨拶

- 1 北九州市長挨拶
- 2 文化庁長官挨拶
- 3 総合プロデューサー挨拶



I-1 北九州市長挨拶

「創造都市・北九州」の新たな幕開け

約2年間にわたって開催してきた「東アジア文化都市北九州2020▶21」が2021年12月末をもって閉幕しました。共に盛り上げていただいた市民の皆様、揚州市・紹興市・敦煌市、順天市の皆様、そして全ての関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。

新型コロナの影響により私たちの生活が大きく変わる中、事業の実施は試行錯誤の連続でしたが、文化芸術を愛する市民、関係者の方々に支えられ、214もの事業を実施することができました。

中国、韓国の開催都市との往来こそできませんでしたが、ウェブを活用したオンライン交流など、コロナ禍における新たな交流の可能性を見出せたと考えています。また、多くの方々に事業に参加していただいたことで、自ら活動したいという熱意とエネルギーにあふれた市民が数多くいることを改めて感じることができました。社会や人々の関係が分断を余儀なくされている中、本市が「東アジア文化都市」事業に取り組むことで、多くの方々に芸術文化に触れていただき、「つながり」を感じ取ってもらえたことに大きな意義があったと考えています。

また、文化芸術は過去と未来、人と人とをつなぐことができることを、私たちに喜びや感動を与える不変の価値をもっていることを、改めて皆様と共有することができたと感じています。

「人をつなぐ。未来をつなぐ。」のキャッチフレーズのとおり、事業を通じて生まれた人とのつながりや取組を、「創造都市・北九州」の新たなスタートとして、未来につなげていけるよう、引き続き皆様とともに歩んでいきたいと思っております。



東アジア文化都市北九州実行委員会 会長
北九州市長

北橋 健治

模索と挑戦 ～未来に繋げる北九州の文化芸術～

2020年から北九州市で開催された東アジア文化都市事業は、2021年末をもって無事終了しました。北九州市をはじめ、多くの関係者のご協力・ご尽力により大きな成功をおさめられたことに、心から敬意を表します。

東アジア文化都市は2014年から開始され、日中韓それぞれの都市が互いの豊かな文化芸術を発信し、交流することで、3か国の友好協力関係の深化を図る事業です。また、選定された都市が、その文化的特徴を活かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、都市自体の発展も目指しています。

北九州市における東アジア文化都市事業は、新型コロナウイルス感染症の影響下での開幕でした。度重なるイベントの中止や延期といった波乱が相次ぎ、関係者の方々のご苦労は並大抵のものではなかったと思います。しかしながら、世の中が未曾有の困難と不安に陥っている中でも、例えばオンラインで作品を共同制作するオンラインライブペインティング「国境を越える渡り鳥」やSNSを活用した写真展「#放課後ダッシュ」等、新たな文化交流の在り方を模索しつつ、また、2020年は中国・揚州市、韓国・順天市、2021年は中国・紹興市及び敦煌市、韓国は引き続き順天市との間で交流を展開され、文化芸術が人々や社会にどれほど希望を与えるものかを国内外に強力に打ち出すことができました。

さらに、公害克服の歴史をもとにしたSDGsの取組みとアートのコラボレーションを体現した「北九州未来創造芸術祭ART for SDGs」をはじめ、特色溢れるイベントを様々に開催し、北九州市が誇る文化芸術を世界へと発信されました。まさに、今回のスローガンである「人をつなぐ。未来をつなぐ。」のとおり、市民の皆様が北九州市自体、そして地元根付く文化の素晴らしさを再確認頂きつつ、人とのつながりを実感し、未来に繋げる素晴らしい機会となったと考えます。

二年間の東アジア文化都市開催に尽力された関係者の皆様に、改めて感謝申し上げますと同時に、持続可能で輝かしい北九州市の未来が拓かれていくことを心より祈念いたします。



文化庁長官

都創後一

I-3 総合プロデューサー挨拶

東アジア文化都市北九州のLegacyは市民に宿る
—文化のバトンをつなぐということ—

五市対等合併により誕生した北九州市は、多様性に富んだ豊かな文化都市であり、長きに渡り、中国・東南アジア等への技術提供や国際貢献の成果が名高い環境先進都市でもあります。その都市に生きる市民は、太古から育まれた文化力や困難を克服する人間力に満ちています。素朴で堅実で多彩な北九州市の魅力は、名実ともに東アジア文化都市を開催するに相応しい。開催を契機にさらに都市の魅力が開花していくと想像できました。有形無形の文化資源を有し、訪日外国人や観光客をもてなす文化コンテンツも豊富な北九州市。文化芸術による都市の活性化を目指す創造都市の概念のもと着実に推進してきました。

東アジア諸国との文化交流は、「未来」に向かって「対話」をし続けようというコンセプトで、国際的な相互理解をもとに都市間交流の強化へ発展することを意識して臨みました。文化活動における高齢化は国内での喫緊の課題であり、開催を通じて世代間交流を加速させ、次代に文化のバトンをつないでいくことも重要なミッションの一つとなりました。

交流式典では、後世に残る世界標準の格調高い舞台を企画し、新曲・新振付による邦舞を制作しました。閉幕式典では、市民の文化力を活かした市民参加型の白熱舞台を披露しました。ストーリー性のある秀逸な構成台本、選曲・実演で、指導者たちの下支えが光った舞台でもありました。企画段階で予想をもしていなかった感染症の発生は、日常生活が分断される中、文化芸術の必要性を再認識する機会を得ました。コロナ禍における催事推進の困難さにも耐えて推進して下さった文化庁、北九州市長をはじめ、議会の皆様、実行委員の皆様、担当事務局の方々、市民の皆様、関係者各位にこの場を借りて御礼申し上げます。

感染症との共生を超えて推進した我々は、東アジア文化都市北九州を一過性のイベントとして捉えることはできません。人間の営みの中で、さらに文化を育んでいくことの重要性を実践で学んだからです。東アジア文化都市北九州のLegacyは、既に市民一人一人の心や身体に宿っています。

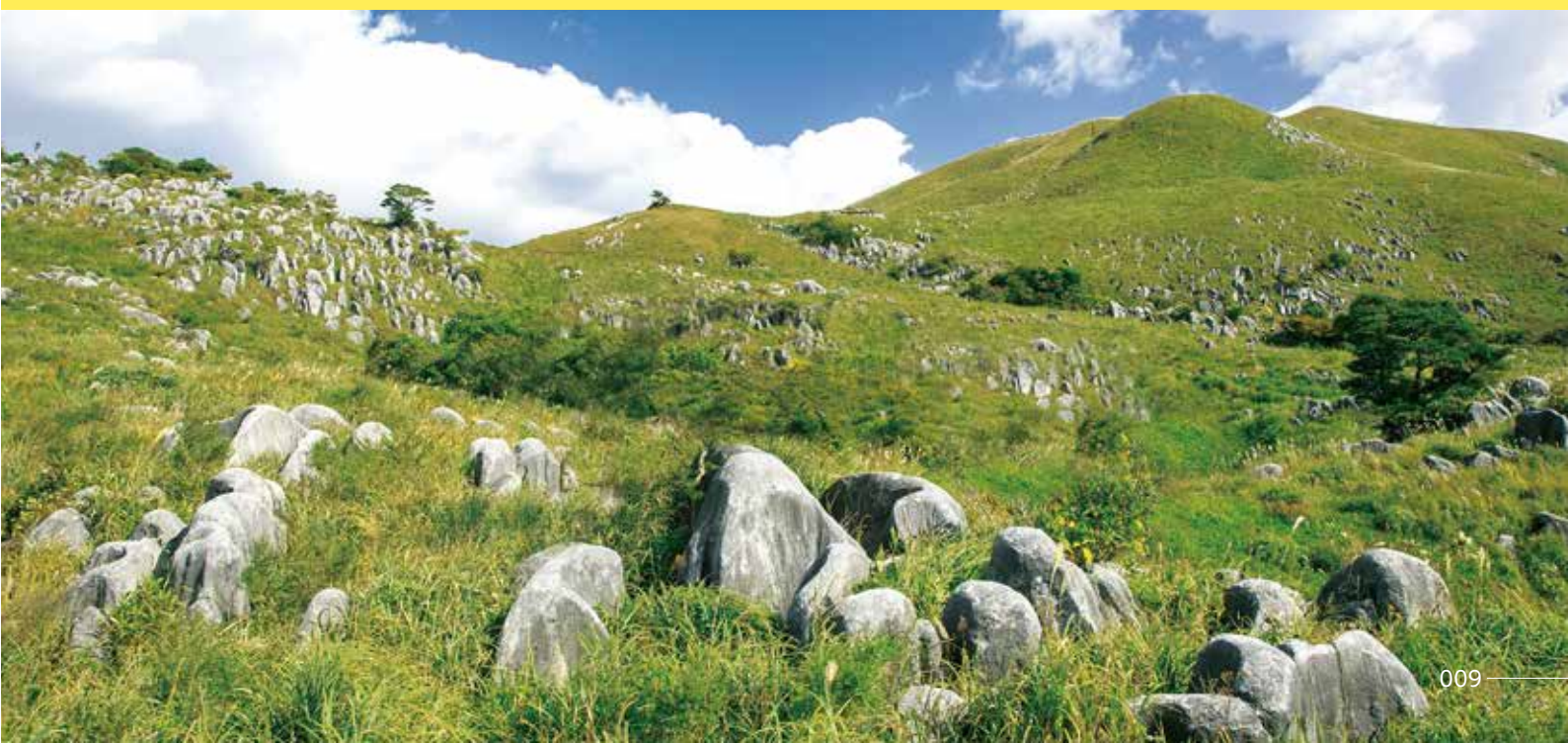
総合プロデューサー



柴田英杞

II 開催概要

- 1 東アジア文化都市とは
- 2 東アジア文化都市北九州へ
- 3 東アジア文化都市北九州
2020▶21事業概要
- 4 交流都市



II-1 東アジア文化都市とは

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国で、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指しています。

また、当該都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

2014

日本：横浜市



中国：泉州市
韓国：光州広域市

2015

日本：新潟市



中国：青島市
韓国：清州市

2016

日本：奈良市



中国：寧波市
韓国：済州特別自治道

2017

日本：京都市



中国：長沙市
韓国：大邱広域市

2018

日本：金沢市



中国：ハルビン市
韓国：釜山広域市

2019

日本：豊島区



中国：西安市
韓国：仁川広域市

2020▶21

日本：北九州市



中国：揚州市(2020)
中国：紹興市・敦煌市(2021)
韓国：順천시

II-2 東アジア文化都市北九州へ

II 2020年「東アジア文化都市」国内都市に選定

東アジア文化都市の2020年国内都市に北九州市が選定され、文化庁と共同記者会見を行いました。

〔主催〕北九州市、文化庁
〔開催日〕2018年8月8日(水)
〔会場〕北九州市役所 記者会見室



(左から)中岡司文化庁次長(当時)、北橋健治北九州市長

II 平成30年度タウンミーティング「東アジア文化都市2020北九州に向けて」

2020年東アジア文化都市の国内都市選定を記念して、タウンミーティングを開催しました。第1部の基調講演では、東アジア文化都市について、市長が市民の皆様にご説明を行いました。また、第2部では、国際的に活躍中の日本舞踊家・藤間蘭黄氏、文化庁文化審議会委員(当時)・柴田英杞氏を迎え、世界から見た日本文化や伝統芸能の魅力、また、東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムなどについて、トーク形式でわかりやすく語っていただきました。

〔主催〕北九州市
〔開催日〕2018年11月2日(金)
〔会場〕リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール
〔主催〕北九州市、文化庁
〔出演者・スタッフ等〕36人
〔来場者数〕450人
〔WEB〕222回(YouTube)



II 東アジア文化都市北九州実行委員会の設立及び開催

東アジア文化都市北九州の開催に向け、芸産学官が連携した実行委員会を設立し、事業の実施に本格的に着手しました。

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
〔開催日〕第1回：2019年3月27日(水)
第2回：2019年8月6日(火)
第3回：2020年1月17日(金)
〔会場〕市内ホテル 等



第2回実行委員会

挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

プレ事業
オープニング事業
交流式典
開幕式典

伝統芸能

Art for All

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

パートナーシップ
フレンドシップ
事業

交流事業

開幕式典

共同宣言

国（CNJ）
関連事業

資料

あとかき

II 市民ダイアログ

東アジア文化都市の視点から、参加者同士で対話を行いながら市民がアートと街について理解を深めるワークショップを開催しました。

第1回は、市内の文化連盟・文化団体連合会・文化協会所属の方、第2回は市内のクリエイティブな仕事やアート、街づくりに興味がある大学生や若手クリエイター、起業家等、第3回はパートナーシップ事業採択者を対象に実施しました。



第1回市民ダイアログ



第2回市民ダイアログ



第3回市民ダイアログ

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市

(開催日)①2019年3月29日(金)

②2019年9月10日(火)

③2020年1月18日(土)

(会場)①北九州市役所本庁舎内会議室

②COMPASS小倉

③AIM3階314・315会議室

(出演者・スタッフ等)13人

(参加者数)96人

II 第11回 日中韓文化大臣会合(2020年東アジア文化都市宣布式)

韓国・仁川広域市で開催された「第11回日中韓文化大臣会合」において、中国・揚州市、韓国・順天市とともに北九州市が2020年の東アジア文化都市に正式決定しました。また、柴山昌彦文部科学大臣(当時)から「2020年東アジア文化都市選定証」を授与されました。

(主催)大韓民国 文化体育観光部

(開催日)2019年8月30日(金)

(会場)韓国・仁川広域市



(左から)日本・韓国・中国



(左から)北橋健治北九州市長、許錫順天市長、余斑揚州市副市長

II 令和元年度地域ふれあいトーク『東アジア文化都市2020北九州』～人をつなぐ。未来をつなぐ。～』

東アジア文化都市北九州の開催に向けたこれからの取り組みについて北橋健治北九州市長が各区で講演し、市民の方々と意見交換を行うため、「地域ふれあいトーク」を開催しました。

(主催)北九州市

(開催日)2019年10月16日(水)～29日(火)

(会場)各区生涯学習センター、市民センターなど

(出演者・スタッフ等)13人

(来場者数)629人



令和元年度北九州市小学生合唱フェスティバル、令和元年度北九州市中学生合唱フェスティバル

「合唱の街・北九州」の取り組みの一貫として小学校合唱クラブ等や中学校合唱部を中心に行われる合唱フェスティバルを開催しました。全体合唱では、東アジア文化都市北九州の開催に向けて東アジア文化都市を象徴する曲「わたしは未来」を子どもたちや会場の皆さんと歌いました。



小学生合唱フェスティバル
〔主催〕北九州市教育委員会
〔開催日〕2019年11月16日(土)
〔会場〕若松市民会館大ホール
〔出演者・スタッフ等〕8校200人
〔来場者数〕800人

中学生合唱フェスティバル
〔主催〕北九州市教育委員会
〔開催日〕2020年2月8日(土)
〔会場〕北九州芸術劇場
〔出演者・スタッフ等〕21校301人
〔来場者数〕1,000人

東アジア文化都市2019豊島 閉幕式典

「東アジア文化都市2019豊島 閉幕式典」において、北九州市への引継式が行われました。次期開催都市挨拶では、田島裕美北九州市教育長が東アジア文化都市北九州の成功に向けての北橋健治北九州市長のメッセージを代読しました。また、会場では、東アジア文化都市北九州プロモーションビデオを初披露しました。

〔主催〕東アジア文化都市2019豊島実行委員会
〔開催日〕2019年11月24日(日)
〔会場〕東京建物 Brillia HALL



(左から)高野之夫豊島区長、田島裕美北九州市教育長

「東アジア文化都市2020北九州」文化庁・北九州市共同発表

「第12回北九州市応援団の集い」において、文化庁・北九州市が共同で東アジア文化都市北九州のイベント概要を発表しました。

〔主催〕文化庁、北九州市
〔開催日〕2020年2月6日(木)
〔会場〕経団連会館カンファレンス
〔出演者・スタッフ等〕50人
〔来場者数〕350人



(左から)清水幹治文化庁文化経済・国際課長(当時)、宮田亮平文化庁長官(当時)、北橋健治北九州市長、柴田英紀総合プロデューサー

II-3 東アジア文化都市北九州2020▶21 事業概要

北九州市は当初、2020年の開催都市に選定されていましたが、新型コロナの影響等により、多くの事業が中止・延期を余儀なくされたため、国に会期の延長を要請し、2021年も引き続き北九州市が東アジア文化都市に選定されました。東アジア文化都市北九州では、「伝統芸能」「ART for SDGs」「メディア芸術」「文学」の4つを柱としたコア事業のほか、多くの市民参加事業や各分野の連携事業が一体となり、2年間を通じて多彩な文化芸術事業を展開しました。また、ウェブを活用したオンライン交流など、コロナ禍における新たな交流の可能性を見出すことができました。

会 期 2020年3月28日(土)～2021年12月31日(金)
 実施事業 214事業
 中止事業 82事業

	プレ・ オープニング	式 典	コア・ 主催事業	連携事業	パートナ シップ事業	交流事業	計
実 施	11	2	20	101	64	16	214
中 止	7		3	39	33		82
計	18	2	23	140	97	16	296

参加者数 164万人(オンライン参加者含む)
 主 催 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市、文化庁
 会 場 北九州芸術劇場、北九州市立美術館、北九州市立いのちのたび博物館、
 北九州市立文学館、北九州市立松本清張記念館、
 北九州市漫画ミュージアム ほか 市内各所・各施設
 揚州市・紹興市・敦煌市(中国)、順天市(韓国)

新型コロナの影響

- ・ 事業期間を2021年まで開催
- ・ 開幕式典ほかコア事業の実施を2021年へ延期
- ・ 入場制限や出演者のPCR検査などの実施
- ・ 中国、韓国への渡航制限
- ・ コロナの影響による中止事業82件

開催都市



ロゴマーク



東アジア文化都市の開催都市では、シンボルとなるロゴマークを作成しています。東アジア文化都市北九州では、開催を市民の皆様にPRし、機運を盛り上げていくため、ロゴマークの公募を実施しました。また、提出された作品の中から、3作品に絞ったうえで市民投票を行い、投票の結果、半数以上を獲得した作品を公式ロゴマークに決定しました。

なお、新型コロナの影響等により、会期が延長され、2021年も北九州市が開催都市となったことから、事業名とロゴマークを「東アジア文化都市2020北九州」から「東アジア文化都市北九州2020▶21」に変更しました。

【コンセプト】

左側は「小倉織」をイメージした北九州市の頭文字「K」を、右側は3色の三角形を組み合わせ、日本・中国・韓国の文化の広がりや人々の交流を表現しています。あらゆる方向へのつながりを、ゆるやかに結び合わせ、まとめるイメージで構成されています。

制作者：宇都宮 淑子

【ロゴマーク募集】

募集期間：2019年4月23日(火)～5月20日(月)

応募件数：29件(市内20件、市外9件)

【ロゴマーク投票】

投票期間：2019年6月15日(土)～7月16日(火)

投票総数：12,634票

「東アジア文化都市北九州」
ロゴマークにおける学校投票

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(実施日)2019年6月15日(土)～7月16日(火)
(会場)市内市立小学校、特別支援学校

小学6年生の児童を中心に学校内でロゴマーク投票を実施し、115校、約6,600人の児童が投票を行いました。

※6年生での実施が困難な場合は他学年で実施。

キャッチフレーズ

人をつなぐ。
未来をつなぐ。

時代とともに歩み、人から人に、人をつなぐ。

過去から今に、人を育ててきた文化は、

歴史を越え、国境を越え、

これからも、人と人との対話を通して

未来に受け継がれていく。

東アジア文化都市北九州を通して、人をつなぎ、未来をつなぐようなものになるようお願いを込め、キャッチフレーズを考えました。

メインビジュアル



Web上の博物館である「北九州市 時と風の博物館」に市民の方々が投稿した写真を用いて、モザイクアートを制作しました。日々の暮らしや出来事、北九州市の様々な風景、想いが詰まった写真をつむぎ、未来の北九州市が創られていくという姿を表現しました。



北九州市 時と風の博物館
公式ホームページ

開催趣旨

「創造都市・北九州」へ

～東アジアの響きあう交流を未来へ～

文化芸術の持つ創造性を、地域振興や観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む都市を「創造都市」と呼び、この試みは現在、世界中の多くの都市で、地域との連携のもとに進められています。北九州市においても、文化振興計画の中で、文化芸術を地域経済、教育、福祉などに生かし、創造的なまちづくりを進めることを謳っています。

北九州市は、歴史的・地理的にアジアの玄関口として発展し、多くの文化人を輩出する他、多様な文化施設の充実や、先進的な文化芸術に取り組むなど、豊富な文化土壌を有しています。また、公害克服の経験等を生かし、アジア諸都市と国際技術協力や都市間交流を積み重ね、行政はもとより市民の草の根交流を育んできました。

「東アジア文化都市北九州」では、北九州市を舞台に、東アジアをはじめとする、市民、産業界、多様なアーティストが集い、それぞれの創造性を最大限に引き出しながら交流・協働・融合することで、東アジア域内の相互理解をさらに深めるとともに、新たな価値を生み出し進化させ、平和的発展に貢献することを目指します。同時に、本事業を推進力として「創造都市・北九州」の実現を図っていきます。

事業目標

「参加」による創造都市の実現

芸産学官+市民のオール北九州で取り組み、文化芸術を通じて市民のシビックプライドを醸成します。

「交流」による創造都市の実現

多様な交流を通じて東アジアとの相互理解や新たな価値を生み、アートによる文化観光を振興します。

「発信」による創造都市の実現

北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し、国内および国際的な評価を獲得します。

基本方針

文化芸術を生かしてまちづくりを行う「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市事業に取り組みます。事業の目的の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針「5つの宣言=DESIGN宣言」を定めています。



事業構成

事業名	実施期間	内容	
プレ事業	2019年10月～2020年2月	東アジア文化都市を市民に広く周知し、開催への機運を高めるため、プレイベントや冠事業を開催	
オープニング事業	2020年3～4月	食をテーマとしたイベント等を開催し、東アジア文化都市開幕に向けて機運を醸成	
交流式典	2021年6月6日(日)	日中韓3都市による交流の始まりを国内外に向けて発信する交流式典を開催(当初「開幕式典」として予定していたもの)	
コア事業	2020年9月～2021年11月	本市の強みを活かした4つの分野「伝統芸能」「ART for SDGs」「メディア芸術」「文学」のプログラムを展開	
連携事業	2020年4月～2021年12月	各種文化芸術事業に東アジア色を取り入れながら連携して事業を実施	
市民企画事業(パートナーシップ事業)	2020年4月～2021年12月	多くの市民に創り手として参画していただくため、公募による市民企画事業を実施	
広報連携事業(フレンドシップ事業)	2020年3月～2021年12月	様々な文化芸術事業に対し、ロゴの使用やホームページの掲載等を通じた一体的な広報連携事業を展開	
交流事業	2020年9月～2022年3月	東アジアの多様な文化に触れるとともに、相互理解・連帯感を深めるため、中国・韓国との文化交流を実施	
閉幕式典	2021年11月28日(日)	東アジア文化都市北九州2020▶21の成果を確認し、日中韓3都市による交流を未来へつなぐ閉幕式典を開催	
国関連事業	第12回日中韓文化大臣会合	2021年8月30日(月)	日中韓の文化担当大臣による会合を開催
	日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu	2021年10月25日(月) 2022年3月5日(土)	日中韓の優れた伝統文化と現在の芸術的発展の成果を紹介することを目的とした芸術祭を開催
	第2回東アジア文化都市サミット	2021年10月25日(月)	東アジア文化都市の開催都市の首長等が参加し、東アジアにおける都市間文化交流のあり方等について議論するサミットを開催

2020年 開催都市

揚州市 (中国)

〔人口〕460万人
〔面積〕6,634km²

揚州市は江蘇省中部、長江と京杭大運河が交わるところに位置します。6000年の文明の歴史と、2500年以上の城塞建設の歴史があり、その歴史的価値の高さを評価され、中国国務院から国内で最初に国家歴史文化名城に指定されたほか、国連ハビタット(国際連合人間居住計画)都市、優秀観光都市でもあります。

◆ 中国唯一の「運河都市」

2500年前、呉の国の王である夫差が揚州を起点に京杭大運河の建設を始めて以来、揚州は運河と共に成長してきました。現在、船に乗って運河の水上観光をすることができ、沿岸の揚州城南門遺跡や康山園、蘆氏塩商人住宅、呉氏住宅(呉兄弟記念館)、東関の渡し場跡などの歴史文化遺跡が人気スポットとなっています。中国には「北京で万里の長城を見た後、揚州で運河を見る」という有名なフレーズがあるほど、揚州は国内外の観光客にとって人気の観光地となっています。

◆ ガーデンシティ

揚州の代表的な庭園である个園(個園)は、中国四大名園の一つに挙げられるほど有名な庭園です。また、瘦西湖風景名勝地区では毎年「万花会」が開催され、様々な花が競演しており、マルコ・ポーロ・フラワーワールドでは、マルコ・ポーロの旅をイメージして花のアートで歴史と文化を表現しており、「世界最大面積・中国最長の花の絨毯」や「マルコ・ポーロの数奇な旅」を体感することができます。



2021年 開催都市

紹興市 (中国)

〔人口〕448万人
〔面積〕8,327km²

紹興市は浙江省の中北部、杭州湾の南岸に位置し、春秋時代に越国の都が置かれたこともある江南地方の著名な古都で、中国で最初に認定された歴史文化都市の1つです。

◆ 文豪魯迅の生誕地「名士の郷」

近代文学の文豪である魯迅の生誕地であり、旧居や魯迅が学んだ私塾「三味茶屋」のほか、魯迅の作品に登場した咸亨酒店、塔子橋、土谷祠、長慶寺など、当時の様子をそのまま現在に伝えています。魯迅のほかにも数々の名士を輩出し、「名士の郷」と称されています。

◆ 紹興酒の産地

2500年前から作られている中国を代表するお酒「紹興酒」が有名です。紹興酒は黄酒や老酒とも言われ、浙江省紹興市の鑑湖の湧水を使って、製造後3年以上の貯蔵熟成期間を経て製品化した黄酒のことをいいます。同様の製法で作られた黄酒や老酒であっても、紹興市で作られたもの以外は紹興酒と呼ぶことはできません。



2021年 開催都市

敦煌市 (中国)

〔人口〕20万人
〔面積〕31,200km²

敦煌市は中国北西部甘粛省に属し、かつてシルクロードの分岐点としてヨーロッパへ繋がる唯一の道として栄えました。世界遺産に登録された莫高窟や自然豊かな見どころを有する都市です。

◆世界遺産「莫高窟」

鳴沙山東麓の絶壁にある莫高窟は「千仏洞」とも呼ばれる仏像の石窟で、前秦（366年頃）から、千年にわたって掘り続けられ、現在では大小492の石窟に彩色塑像と壁画が保存される仏教芸術の聖地です。

◆広大な自然保護区

敦煌市は国家級自然保護区を2つ、省級地質遺跡自然保護区を1つ有しており、その大きさは7,880km²で全市の面積の25%にもものぼっています。



2021 东亚文化之都・敦煌
Cultural City of East Asia 2021 DUNHUANG

2020年・2021年 開催都市

順天市 (韓国)

〔人口〕28万人
〔面積〕910km²

順天市は、大韓民国の南端の全羅南道東部圏に位置する人口28万人の都市です。文化や観光、教育など様々な分野で高く評価されている都市です。

◆「文化都市」順天

ユネスコ世界文化遺産の仙岩寺(ソナムサ)やユネスコ世界文化遺産暫定リストに登録されている樂安邑城(ナガンウプソン)、松廣寺(ソングァンサ)などの歴史・文化資源だけでなく、様々な種類の文化財を保有する都市です。また、順天湾国際交響楽祭、順天湾世界動物映画祭といった国際文化行事や公演など、街じゅうに文化芸術が花開く都市です。

◆「エコロジー都市」順天

順天市は、ラムサール条約湿地都市に認定されました。また大韓民国第1号国家庭園に指定された順天湾国家庭園やユネスコ世界自然遺産に登録された順天湾湿地があります。市全域が生物圏保存地域に登録され、平和と幸運を象徴するナベヅル1000羽以上が飛来し、国内外において名実共にエコロジー都市の地位を確立している都市です。



동아시아 문화도시
2021 순천

Ⅲ つなぐ

人をつなぐ。

未来をつなぐ。



新型コロナが猛威を奮う中、

文化芸術のチカラで、人を、まちを、元気にしたい

2020年3月1日、市内で初めて新型コロナウイルス感染症の陽性患者が確認されました。世界中で拡大防止対策を模索する中、プレ事業や3月28日に予定していた開幕式典など、それまで準備していた多くのイベントは延期・中止を余儀なくされ、開催日程、内容の見直し、関係者との再調整に追われていきました。

街から人の流れ、活気、明日への希望が失われていく中、先行きが見通せず、不安に苛まれるこのような時だからこそ、「文化芸術のチカラで、人を、まちを、元気にしたい」との思いから、アーティスト支援、感染拡大防止対策といった新たな事業を立ち上げるなど、一歩ずつ歩みを進めていくこととなりました。

人とのつながりを感じてほしい… **人をつなぐ。**

アートでつなぐ未来プロジェクト

新型コロナの影響で多くの文化芸術活動が制限される中、地域の文化の灯を絶やすことなく、未来につないでいくことを目指し、市ゆかりのアーティスト等の文化活動を支援しました。また、市民が外出しなくても文化芸術に触れる機会を提供するため、制作された動画作品は東アジア文化都市北九州公式YouTubeチャンネルで配信しました。

- ◎ 第1弾「北九州を奏でるロードムービー」(委託事業)
- ◎ 第2弾「アーティスト等緊急支援事業」(助成事業) ※採択件数：127件
- ◎ 第3弾「市ゆかりのアーティストからの応援パフォーマンス」(地元文化団体自主制作)

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
[実施日]2020年4月～※配信は6月3日(水)から
[出演者等]531人
[WEB]109,967回(YouTube)



東アジア文化都市北九州
公式YouTubeチャンネル



第1弾： 粉山仁美「アヴェマリア」



第1弾： 加治誠子、黒田征太郎「鳥の歌」



第2弾： 国松あずさ、大賀ななえ、後藤仁美「アマビエ様のナイトルーティーン」



第2弾： 上村貴子「雅～みやび～」



第2弾： ためパフォーマンス「ブリッジイ」



第3弾： 加来徹with北九州グランフィルハーモニー管弦楽団「宇宙戦艦ヤマト」

KitaQ Music Days～ARTでつなぐ新しいカタチ～

コロナ禍においても、市民が安全に文化に触れる機会を創出するため、感染症対策を十分とるなど「新しい生活様式」に即したモデルとなるイベントを開催しました。

市内で活躍するアーティストや学生等による音楽を中心としたステージイベント、地元グルメやアジアフードなど屋台やキッチンカーが勢ぞろいするKitaQマルシェなどを実施しました。また、コロナ禍におけるイベントの新しい楽しみ方の提案としてYouTube配信やJ:COMとクロスFMでサイマルライブ放送を行いました。

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(開催日) 2020年10月17日(土)、18日(日)
(会場) 勝山公園大芝生広場
(出演者・スタッフ等) 445人
(来場者数) 3,596人
(WEB) 3,528回(YouTube)



ステージイベント



KitaQマルシェ



間隔をあけて座席を配置



入場時の検温



イベント開催時における感染症対策マニュアル

コロナ禍において、市民が安心してイベントに参加していただくため、新しい生活様式を踏まえた「イベント開催時における感染症対策マニュアル」を策定しました。また、関連事業者にイベントを再開する際の参考資料として活用していただくため、2020年11月26日(木)に東アジア文化都市北九州公式ホームページにて公開しました。



会期の延長

新型コロナの影響等で2020年の東アジア文化都市事業の多くが中止・延期となりました。このような状況下だからこそ、文化芸術が人の心に響くものであるとの思いから、予定していた事業を可能な限り実施するため、会期の延長を文化庁に要請しました。これを受け、2021年も北九州市が引き続き東アジア文化都市の開催都市として選定されました。

国内開催都市決定通知の授与



(左から)北橋健治北九州市長、宮田亮平文化庁長官(当時)

(開催日)2020年8月4日(火)

(会場)文化庁 長官室

2021年東アジア文化都市宣布式



(左から)萩生田光一文部科学大臣(当時)、北橋健治北九州市長

(開催日)2020年12月20日(日)

(会場)北九州市役所 大会議室

(その他)福岡コロナ警報の発令を踏まえ、関係者のみで開催

パートナーシップ事業(市民企画事業)の期間延長と追加募集(第3・4次募集)

東アジア文化都市北九州の会期延長に伴い、引き続き会期末までの開催機運を盛り上げるとともに、東アジア文化都市のレガシーとして文化芸術の担い手の掘り起こしを図るため、市民企画事業であるパートナーシップ事業について、既に採択された事業の期間延長を認め、さらに追加募集を行いました。

(パートナーシップ事業は86ページに掲載)

第1次募集：2019年9月2日(月)～10月2日(水)

第2次募集：2020年1月10日(金)～3月13日(金)

第3次募集：2021年2月15日(月)～3月15日(月)

第4次募集：2021年6月15日(火)～7月15日(木)

明日を担う若者たちにレガシーを… 未来をつなぐ。

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のリハーサル公開(中学生芸術鑑賞教室)

今後の芸術文化活動の礎となる若い世代に、世界最高峰と称されるウィーン・フィルの生の姿を、最高のオーケストラの魅力を感じてもらおうべく、市内の中学生等1,329人が参加する鑑賞教室(リハーサルの公開)を開催しました。

〔主催〕北九州市
〔開催日〕2020年11月5日(木)
〔会場〕北九州ソレイユホール



©北九州国際音楽祭



©北九州国際音楽祭

「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」ミュージアムツアー for SDGs

持続可能な社会の構築や担い手の育成に向けた取り組みを推進している「SDGs推進校(主に小学3年生)」を対象とした見学ツアーを開催しました。

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
〔開催日〕2021年4月30日(金)、5月6日(木)、7日(金)
〔会場〕東田大通り公園、北九州市立いのちのたび博物館、北九州イノベーションギャラリー、北九州市環境ミュージアム、北九州市立美術館本館
〔参加者数〕9校・455人



東田大通り公園



北九州市立いのちのたび博物館

参加者の声

★こんぼう材やゴミなどで作られた作品を見て、身の回りの物をさいりょうするのがいいと思いました。(小学生)

★いまはまだ、コロナだから(ミュージアムツアーに)いけないと思ったけどいけてうれしかったです。(小学生)

「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」観覧料の減免

次世代を担う若年層の来場を促進するため、会期中、北九州市立いのちのたび博物館及び北九州市立美術館本館における高校生以下の観覧料を減免しました。

〔主催〕北九州市
〔開催日〕2021年4月29日(木・祝)～5月11日(火)
※北九州市立美術館本館は7月11日(日)まで(緊急事態宣言期間中の5月12日(水)～6月20日(日)までは休館)
〔利用者数〕4,350人

「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」参加アーティストによる特別授業

トップアーティストが市内の学校を訪問し、特別授業を開催しました。ミュージアムツアー for SDGsに参加したSDGs推進校では、自分の住む「まち」を考えると、創造性を高めるプログラムを実施しました。また、福岡県立八幡中央高等学校芸術コースでは、新聞紙を切り抜いて川柳を作るワークショップなどを実施しました。



SDGs推進校での授業風景



福岡県立八幡中央高等学校芸術コースでの授業風景

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 [会場・開催日・参加者数]
 ・SDGs推進校(6校・412人)
 2021年4月21日(水)、23日(金)、26日(月)、27日(火)、6月21日(月)、25日(金)、28日(月)、7月12日(月)、14日(水)
 ・福岡県立八幡中央高等学校芸術コース(25人)
 2022年2月3日(木)

参加者の声

★良い作品を作る前には自分自身が楽しいと思える作品にすることが大切なんだと感じました。(高校生)

★身近な物(ゴミ、新聞紙)も視点を変えたら違うもの(価値)として見ることができることを実感しました。(高校生)

長唄ワークショップ

新型コロナの影響で、学校行事の中止や縮小が続く中、次世代を担う子ども達へ文化芸術に触れる機会を提供するため、2021年6月6日(日)の「東アジア文化都市北九州2020▶21 交流式典」の出演者などによる伝統芸能(長唄、三味線、囃子)の体験授業(ワークショップ)を開催しました。

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 [開催日]2021年6月7日(月)
 [会場]北九州市立田野浦小学校(門司区)、則松中学校(八幡西区)
 [出演者・スタッフ等]9人
 [来場者数]248人



参加者の声

★今日はじめて長唄を聞いてすごくいい音だなと思いました。いつかばくも打楽器やしゃみせんをひいてみたいです。(小学生)

★とてもすごいえんそうが目の前で見たことは、ずっとわすれないし、家族にたくさんはなしたいです。この昔からある音楽を、だいにしたいと思いました。(小学生)

★演そうを聞いていると体育館のはずなのに別のところにいるような気がしました。(小学生)

★長唄ときくと、どうしても古臭い、激しさのない、快晴でいい風の吹日に車に乗ってドライブしながら聴かないなど自分のなかでそうイメージ、関連づけていました。この文化芸術体験授業で自分のそういったものが全て間違っただと気づきました。なんだか、とてつもなく新鮮に新しいものを知ったような感覚になれました。(中学生)

★笛にドレミでなく雰囲気を表現するものがあると知り驚きました。(中学生)

★「鏡獅子」では、歌舞伎をイメージして聞くと、獅子の髪あらいが目に浮かびました。息ぴったりの演奏に感動しました。(中学生)

学校給食「東アジア文化都市献立」

市内の子どもたちに日中韓の食文化に触れてもらうため、学校給食において各国の料理をテーマにした献立を実施しました。2021年9月は中国料理から「麻婆豆腐」、10月は韓国料理から「ビビンバ風どんぶり」、11月は日本料理から「さといものみそ汁」を提供しました。また、10月13日(水)には西門司小学校において、東アジアの食文化や提供される料理の紹介を行いました。

(主催)北九州市教育委員会
(開催日)2021年9月~11月
(会場)市内市立小学校、中学校、特別支援学校



学校給食献立レシピコンクール

北九州市内の市立小学校及び特別支援学校小学部の6年生の児童、並びに市立中学校及び特別支援学校中学部の全生徒を対象に毎年開催している「学校給食献立レシピコンクール」。2021年は応募作品の中から、中国及び韓国の料理1品ずつを「東アジア文化都市記念特別賞」に選定。中国料理は「トマトと小松菜のサンラータン」、韓国料理は「ヤンニョム炒め」が受賞しました。選ばれた献立は2022年度中の学校給食で提供される予定です。

(主催)北九州市教育委員会



映画鑑賞の減免

若者に映画の街としての本市の文化を身近に感じてもらうため、アートシネマでの上演作品について、学生の鑑賞を無料としました。(アートシネマは63ページに掲載)

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(開催日)2021年10月2日(土)～11月5日(金)
(会場)小倉昭和館
(学生入場者数)131人

トップアーティストとのセッション

「北九州アニメソングピアノライブ2021」への出演者である「みやけん」氏を講師に招き、高須中学校、霧丘中学校、志徳中学校の吹奏楽部を対象としたアウトリーチ事業を実施しました(霧丘中学校、志徳中学校はオンライン参加)。当日は、みやけん氏の演奏鑑賞、生徒からの質疑応答のほか、高須中学校吹奏楽部とみやけん氏がセッションを行いました。

(北九州アニメソングピアノライブ2021は71ページに掲載)

(主催)北九州市
(開催日)2021年11月10日(水)
(会場)北九州市立高須中学校(若松区)
(出演者・スタッフ等)100人
(WEB)41,000回(YouTube「みやけんチャンネル」)



オンラインライブペインティング「国境を越える渡り鳥」

交流事業の一環として、本市在住の画家・イラストレーター黒田征太郎氏をコーディネーターに迎え、本市竹末小学校、敦煌市南街小学校、揚州市育才小学西区校をオンラインでつなぎ、渡り鳥をテーマに共同で作品を制作、交流を行いました。(詳細は112・113ページに掲載)

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(開催日)2021年11月18日(木)、19日(金)
(会場)北九州市立竹末小学校(八幡西区)
(出演者・スタッフ等)350人



「日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu」地元高校生の参加

「日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu」では、バーチャルファッションショーを核とした映像作品を制作しました。この映像作品には、東筑紫学園高等学校服飾専攻の学生がペットボトルで制作した「アート コサージュ」が使用されました。また、「日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu」関連イベント^①に参加するとともに、北九州モノレール平和通り駅構内において、「アート コサージュ」を展示^②しました。（日中韓芸術祭2021 in Kitakyushuは125・126ページに掲載）

【主催】

①文化庁、北九州市、東アジア文化都市北九州実行委員会

②東筑紫学園高等学校

【開催日】

①2021年10月25日(月)

②2021年11月28日(日)～12月24日(金)

【会場】

①北九州市立美術館本館

②北九州モノレール平和通駅

【出演者・スタッフ等】

①40人②7人

【来場者数】

①50人※新型コロナの影響を踏まえ、関係者のみで開催

②90,040人



関連イベント(左：都倉俊一文化庁長官等に「アート コサージュ」の説明 右：出演者と記念撮影)



北九州モノレール平和通駅構内での「アート コサージュ」展示

参加者の声

★（落合陽一さんや富永愛さんなど）有名な方が作品を見てくれて、感想を言ってくれたのが嬉しかった。（高校生）

★なかなか体験できないようなことに参加させてもらってほんとにいい体験になったし、今後この経験を何かしらの形で生かしていけたらいいと思った。（高校生）

★自分が作ったものが公共の場（北九州モノレール平和通駅）に展示されて、いろいろな人が立ち止まって見てくれるのが嬉しかった。（高校生）

「KITA9PR部」によるPR

18歳～20代の学生・社会人グループの「KITA9PR部」が出演する、市政ラジオ番組「KITA9PR部のキタナビ!」にて、東アジア文化都市北九州や関連イベントを紹介しました。メンバーは実際に多くの関連イベントに参加し、番組SNSを通じた情報発信も行いました。

また、スピンオフ企画として、「ビブリオバトル」イベントを開催(主催:CROSS FM)し、その模様を特別番組として放送しました。



ラジオ収録



番組SNSでの発信



北九州×東アジア 大食覧会in門司港 参加



まちあるきなぞ解きゲーム「紫川出版の事件簿」参加



「ビブリオバトル」イベント(2021年11月28日(日))

IV 事業報告

- 1 プレ事業
- 2 オープニング事業
- 3 交流式典・開幕式典
- 4 伝統芸能
- 5 ART for SDGs
- 6 メディア芸術
- 7 文学
- 8 その他主催事業
- 9 連携事業
- 10 パートナーシップ事業
- 11 フレンドシップ事業
- 12 交流事業
- 13 閉幕式典
- 14 共同宣言
- 15 国・CCNJ関連事業



IV-1 プレ事業

2019北九州国際音楽祭 エモーショナルー東アジアのめざめー

30年を超える歴史を持つクラシック音楽を中心とした音楽祭です。世界で活躍するアジアにルーツを持つ演奏家のコンサートをはじめ、トップレベルのアーティストによる多彩なラインナップで開催しました。

(主催) (公財)北九州市芸術文化振興財団
(開催日) 2019年10月6日(日)～11月24日(日)
(会場) 北九州市立響ホール、北九州ソレイユホール 他
(出演者・スタッフ等) 400人
(来場者数) 9,202人



東田ミュージアムパーク関連事業

いのちのたび博物館での棟方志功の「版画」の企画展を中心に、イノベーションギャラリーでは「印刷技術」、環境ミュージアムでは「紙の再生」をテーマとした連携企画展を開催しました。

(主催) 東田ミュージアムパーク実行委員会
(開催日) 2019年10月12日(土)～12月22日(日)
(会場) 八幡東区東田地区(北九州市立いのちのたび博物館、北九州市環境ミュージアム、北九州イノベーションギャラリー)
(出演者・スタッフ等) 102人
(来場者数) 35,057人



小倉城新能

小倉城天守閣再建60周年及び小倉城周辺魅力向上事業完成を記念し、「和」をテーマとした四季折々のイベントの一つとして「小倉城新能」を開催しました。

(主催) 小倉城を活用した広域周遊促進事業実行委員会
(開催日) 2019年10月14日(月・祝)
(会場) 小倉城天守閣前広場
(出演者・スタッフ等) 55人
(来場者数) 1,500人





小倉城庭園ライトアップ「和」の灯り展～月の階(きざはし)～

小倉城周辺魅力向上事業完成を記念し、「和」をテーマとした四季折々のイベントの一つとして「小倉城庭園ライトアップ「和」の灯り展～月の階(きざはし)～」を開催しました。



〔主催〕小倉城を活用した広域周遊促進事業
実行委員会
〔開催日〕2019年10月18日(金)～22日(火・祝)
〔会場〕小倉城庭園
〔出演者・スタッフ等〕20人
〔来場者数〕523人



発酵JAPAN in 北九州2019秋

郷土料理の「ぬか炊き」や発酵食品など、本市の食文化を発信するため、マルシェや発酵教室、ワインの試飲会、ステージイベント等を実施しました。また、東アジア文化都市の開催に向けて、東アジアフードの出店や、中国の民族楽器の演奏会等も実施しました。



〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、
北九州市
〔開催日〕2019年11月9日(土)、10日(日)
〔会場〕船場広場、クロスロード
〔出演者・スタッフ等〕20人
〔来場者数〕22,000人



清張生誕110年、ポー生誕210年記念特別企画展 「E・A・ポーと松本清張」

推理小説の始祖と言われ、清張にも影響を与えたポーと東アジアで人気の高い松本清張のミステリーの世界を紹介するとともに、両作家の愛用品などの貴重な品々を展示しました。また、関連イベントとして講演会(2019年11月15日(金))、朗読劇(2019年11月21日(木))を実施しました。



〔主催〕「E・A・ポーと松本清張」展実行委員会
〔開催日〕2019年11月15日(金)～2020年2月
27日(木)
〔会場〕〈特別企画展、講演会〉北九州市立松本清
張記念館
〈朗読劇〉門司赤煉瓦プレイス
〔出演者・スタッフ等〕8人
〔来場者数〕11,984人



北九州国際漫画祭2019

アジアの玄関口として古くから栄えた北九州市の歴史風土と、国境を越えてグローバルに広がる漫画というメディアの特性をふまえ、「漫画を通じた国際文化交流」をテーマに、複数の展示やイベントを複合させ、冬季企画展として開催しました。



〔主催〕北九州市漫画ミュージアム
〔開催日〕2019年11月23日(土・祝)～2020年1月19日(日)
〔会場〕北九州市漫画ミュージアム
〔出演者・スタッフ等〕42人 〔来場者数〕2,130人



アジアMANGAサミット北九州大会

アジアMANGAサミットは、日本・中国・韓国・香港・台湾を中心とした漫画家及び研究者、事業関係者等による国際会議を主体とした国際交流イベントです。北九州大会では、「マンガ・アーカイブ」をテーマとして、各国・地域の代表者による会議の後、共同宣言を採択しました。また、市民を対象とした、サミットに参加の漫画家による作品展等を行いました。



〔主催〕アジアMANGAサミット北九州大会実行委員会
〔開催日〕2019年11月29日(金)～12月2日(月)
〔会場〕北九州国際会議場 など
〔出演者・スタッフ等〕100人
〔来場者数〕12,200人



北九州ポップカルチャーフェスティバル2019

人気の高い漫画やアニメなどの「ポップカルチャー」をテーマとした九州最大級のイベント。声優やクリエイターのトークショー、アニソンライブ、ブース展示などが多くの来場者で賑わい、プレ事業として大きく盛り上がりました。



〔主催〕北九州市
〔開催日〕2019年11月30日(土)、12月1日(日)
〔会場〕西日本総合展示場新館等
〔出演者・スタッフ等〕200人
〔来場者数〕170,000人



新型コロナの影響等により、中止となったプレ事業

合唱組曲「北九州」演奏会

第1部は團伊玖磨作曲の祝典行進曲でプレ事業のオープニングを華々しく飾り、第2部では300人を超える市民合唱で“ふるさと讃歌”合唱組曲「北九州」を雄大に歌い上げる予定でした。

〔主催〕北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団
〔開催日〕2020年2月24日(月・祝)→中止
〔会場〕北九州ソレイユホール

北九州フィルム・コミッション国際映画祭イベント

令和2年度に東アジア文化都市2020北九州のコア事業として開催する「北九州フィルム・コミッション国際映画祭」について、開催概要及びアンバサダー就任にかかる記者発表を、有観客で実施する予定でした。

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
〔開催日〕2020年3月頃→中止
〔会場〕小倉城歴史の道

IV-2 オープニング事業

第19回 全国俳句大会 in 北九州

杉田久女、橋本多佳子など近代俳句の先駆者を育んだまち・北九州市は、毎年、全国俳句大会を開催しています。当大会は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、吟行・前夜祭・俳句大会の実開催は中止としたものの、事前募集投句を表彰する誌上開催の形で実施しました。



〔主催〕全国俳句大会in北九州実行委員会
〔開催日〕誌上開催
〔参加者数〕822人(投句者)

北九州市立文学館リニューアル記念 収蔵品展「北九州の文学者」

リニューアルオープンを記念し、常設展で主に取り上げている6人の文学者の収蔵資料を紹介する展覧会を開催しました。これまでの企画展で紹介してきた原稿等の自筆資料の他、初公開資料や新たな収蔵資料を加え展示しました。



〔主催〕北九州市立文学館
〔開催日〕2020年5月26日(火)～27日(水)、
2020年6月19日(金)～7月26日(日)
〔会場〕北九州市立文学館
〔来場者数〕1,026人

新型コロナウイルスの影響等により、中止となったオープニング事業

プレミアムダイニング「Kitakyushu 一期一会」(仮称)

北九州の料理人と上質の食材を、全国から集まる発信力の高い食通を通じて国内外へ発信する事業を予定していました。

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、
北九州市
〔開催日〕2020年3月19日(木)、20日(金・祝)
→中止
〔会場〕みかど食堂 by NARISAWA(門司港駅2階)

和食で語る。「美味しい!」がつくる未来

ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」を主テーマに、東アジアの食文化の類似性と日本の独自性、北九州市の食文化について理解を深めることを目的としたシンポジウムを予定していました。なお、イベントは中止となりましたが、会場ホテルではシンポジウムとタイアップしたランチメニューを提供しました。

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、
北九州市
〔協力〕リーガロイヤルホテル小倉、小倉城庭園
〔開催日〕2020年3月21日(土)→イベント中止
〔会場〕リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール

東アジア文化都市2020北九州開催記念「小倉城地酒まつり」

東アジア文化都市北九州の開催を記念し、お花見でにぎわう時期に小倉城にて、日中韓の地酒やグルメを楽しめるイベントを予定していました。

〔主催〕地酒まつりこくら春の宴実行委員会
〔開催日〕2020年3月27日(金)～29日(日)、
4月3日(金)～5日(日)→中止
〔会場〕小倉城下 大手門前広場・しろテラス横

第16回小倉城桜まつり

桜の名城として知られる「小倉城」で「ステージショー」や「ふるさとうまいもの市」を開催し、多くの来城者に喜んでいただくイベントを予定していました。

〔主催〕北九州まちづくりマネジメントチーム共同
事業体(指定管理者)
〔開催日〕2020年3月28日(土)、29日(日)→中止
〔会場〕小倉城天守閣前広場

東アジア文化都市北九州2020▶21開催記念「小倉城地酒まつり」

東アジア文化都市北九州の開催を記念し、お花見でにぎわう時期に小倉城にて、日中韓の地酒やグルメを楽しめるイベントを予定していました。

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、
北九州市
〔開催日〕2021年3月27日(土)、28日(日)→中止
〔会場〕小倉城下 大手門前広場

IV-3 交流式典・開幕式典

東アジア文化都市北九州2020▶21 交流式典

東アジア文化都市の事業のスタートと日中韓3都市による交流の始まりを国内外に向けて発信する開幕式典を2020年3月28日(土)に開催する予定にしていたが、新型コロナの感染拡大防止の観点から、国と協議を行い、延期となりました。

2021年6月6日(日)、開幕式典のプログラムを一部変更し、名称を交流式典に改め、日中韓3か国との交流の始まりを記念した「東アジア文化都市北九州2020▶21 交流式典」を開催しました。新型コロナの影響による緊急事態宣言下であったため、関係者のみでの実施となりました。紹興市、敦煌市、順天市から行政団や芸能団の来日はできませんでしたが、各代表からはビデオメッセージをいただきました。また、文化交流公演で紹興市は演劇、敦煌市は中国舞踊、順天市は小鼓踊りなどを映像で披露しました。北九州市は、門司地区を題材とした新作日本舞踊『門司春秋』を披露しました。舞台美術には、今回の公演のために築城則子氏が新たにデザインした小倉織を使用し、北九州市の自然豊かな風景を表現しました。

■ オープニング公演



独唱「小さな空」[翼]

■ 日中韓交流事業開始宣言



北橋健治北九州市長

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市、文化庁
(開催日) 2021年6月6日(日)
(会場) 北九州芸術劇場 大ホール
(出演者・スタッフ数) 86人
(来場者数) 258人
※緊急事態宣言下のため関係者のみで開催
(WEB) 3,978回(YouTube)



【プログラム】

総合プロデューサー：柴田英紀

司会：田畑竜介、池尻和佳子

オープニング公演

独唱「小さな空」[翼]

出演：大西ゆか、永野栄子

主催者挨拶

中韓開催都市挨拶

日中韓交流事業開始宣言

文化交流公演

中国・紹興市

「孫悟空、三度白骨夫人と戦う」

中国・敦煌市

「シルクロードの花吹雪」

韓国・順天市

「グッTIME」

「ジン・ユリム流 立ち踊り小鼓」

「ハグム(奚琴)とギターのための3つの断想

「雪だるま」第3楽章」

「[エピローグ]パングッとキルノリ」

出演：全羅南道立国楽団

日本・北九州市

新作日本舞踊「門司春秋」

作・演出・振付：藤間蘭黄

作曲：四代目杵屋小三郎(坂口あまね)

作調：藤舎呂近

舞台美術素材監修：築城則子

出演：藤間蘭黄、山村友五郎、

長唄囃子青年楽団 清響会

主催者・中韓開催都市挨拶



都倉俊一文化庁長官



盛閑春紹興市長



朱建軍敦煌市長



許錫順天市長

文化交流公演



紹興市公演「孫悟空、三度白骨夫人と戦う」



敦煌市公演「シルクロードの花吹雪」



順天市公演「バンブッとキルノリ」



北九州市公演 新作日本舞踊「門司春秋」

日本 文化交流公演



北九州市公演 新作日本舞踊「門司春秋」

参加者の声



遊生染織工房 主宰 築城 則子さん

藤間蘭黄先生創作の舞台「門司春秋」とイメージを共有するテキスタイルとして、小倉織を使っていたいただき光栄です。

「波」は、関門の風と波打つ海原の勢いを藍色の濃淡に託しました。「松」は、海沿いや街道の松並木の幹の強さと枝葉のしなやかさを茶色と緑で、見守ってきた時間を白地にグレイの線で表現しました。過去、現在、未来と遥かに繰り返される波動と、変遷を見守る時空間を縞が表しました。



小倉織「波」



小倉織「松」



中国・紹興市 開幕式典

〔開催日〕2021年3月31日(水) 〔会場〕紹興大劇院

紹興市の東アジア文化都市活動の幕開けを告げる開幕式典が開催されました。式典では、中国政府から紹興市に東アジア文化都市選定書が授与され、各国政府関係者や東アジア文化都市開催都市代表からの祝辞が送られました。本市は、市長による挨拶動画を配信しました。



中国・敦煌市 開幕式典

〔開催日〕2021年4月8日(木) 〔会場〕敦煌国際コンベンション&エキシビジョンセンター

敦煌市の東アジア文化都市イベントイヤーの幕開けを告げる開幕式典が開催されました。式典では、中国政府から敦煌市に東アジア文化都市選定書が授与され、各国政府関係者や東アジア文化都市開催都市代表からの祝辞が送られました。本市は、市長による挨拶動画を配信しました。



韓国・順天市 開幕式典

〔開催日〕2021年5月14日(金) 〔会場〕順天湾国家庭園(オンライン)

「順天湾、東アジアを抱く」というテーマに基づき、東アジア文化都市の開幕を祝う開幕式典が開催されました。新型コロナの影響により、一般参加者はオンライン配信での観覧となりましたが、開幕パフォーマンス、公式演説、メディアアートショー、開催都市による文化芸術公演、祝賀公演などが行われ、本市からは市長によるメッセージ動画、響ホール室内合奏団による公演動画を配信しました。



IV-4 伝統芸能



伝統芸能
ディレクター

柴田 英杞

(独)日本芸術文化振興会プログラム
ディレクター/北九州市顧問

“伝統は革新の、連鎖” — 東アジアの伝統芸能に未来を託す —

「伝承」と「伝統」は混在して用いられることがありますが、実は似て非なるものです。古来より伝わる様式やしきたりを後世に受け継いで伝えていくことを「伝承」、一方、時代の要請を受け、当代アーティストの新しい発想により、時代の変化に呼応した革新的な創造物を生み出していくことが「伝統」として解釈できます。「未来につなぐ東アジア伝統芸能の饗宴」のコンセプト“伝統は革新の、連鎖”は、日中韓の伝統芸能を主体として「伝承」と「伝統」を立証することにありました。

北九州市は、文化芸術の愛好者を始めとして、国内外で活躍する地元アーティストが多く顕在し、特に中核的な実演家層が厚い贅沢な文化都市ですが、地域文化が自己完結しないよう、絶えず新しい手法や考え方を注入して、その仕掛けをつくることがとても重要です。自分たちとは全く違った価値観を持つアーティストや指導者との創作活動を共にすること、すなわち、他者との共同による「文化の触発性」の機会をいかに創出するかが自治体文化行政に求められています。

本事業では、「伝承」の重要性を地元長唄連中による大合奏と古典の大曲「船弁慶」を最高峰の演奏で披露しました。革新の連鎖を生む「伝統」では、現代邦楽と新曲長唄計3曲を中堅・新進の作曲家に委嘱し、市民文化活動者による創作日本舞踊を当代一の日本舞踊家に振付・演出・出演いただきました。また、ベテランの指導者と地元文化活動者との共演は、重層的なアンサンブルが功を奏し、日中韓のトップ箏曲家による競演は、まさに文化が触発されていく瞬間を共有できました。

コロナ禍で、しかも緊急事態宣言下のもと、過酷な稽古プロセスでしたが、出演者とスタッフが一心同体となり、チームワークで乗り越えることができた振り返ることができません。重く押し掛かる様々なプレッシャーを正のエネルギーに転換し、気力を奮い立たせた関係者の団結力は見事でありました。

濃密な空間やひと時を共にした参加者は、何物にも代え難い共有財産を得ました。それは、「人」という宝です。本公演で生み出された作品を次代につなげてほしい、さらに創意工夫して再演を重ね、作品を成長させてほしい、地元の文化的財産を愛してほしい、未永く。北九州市民を始めとした参加者全員が、本活動をきっかけにさらに大きく羽ばたき、時空を超えて、様々な場所で花開くように願うばかりです。



未来につなぐ東アジア伝統芸能の饗宴

「伝統は革新の、連鎖。」をコンセプトに、伝統芸能を楽しめるステージを開催しました。当日は緊急事態宣言下であったため、客席数の上限を50%に制限し、YouTubeでのライブ配信を行いました。

日中韓でルーツを同じにする楽器「箏」の新曲披露や長唄「元禄花見踊」、「船弁慶」の演奏、トップクラスの日本舞踊家である藤間蘭黄氏と地元の日本舞踊家11名による創作日本舞踊を披露し、伝統芸能の魅力とその素晴らしさを伝えることができました。

Ⅱ プロローグ饗宴～日中韓の伝統楽器による演奏～



「ともに」



「戦台風」



「黄秉冀流伽伽琴散調」



「六段」

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市

〔開催日〕2021年8月29日(日)

〔会場〕北九州芸術劇場 大ホール

〔出演者・スタッフ数〕143人

〔来場者数〕349人

※緊急事態宣言下のため収容率50%以内で開催

〔WEB〕5,413回(YouTube)



【プログラム】

総合プロデューサー：柴田英紀

監修：藤間蘭黄、八代目杵屋勝三郎

司会：葛西聖司

〈第1部〉

I：プロローグ饗宴

～日中韓の伝統楽器による演奏～

「ともに」(共同演奏)作曲・指導：佐野秀典

「戦台風」(中国)

「黄秉冀流伽伽琴散調」(韓国)

「六段」(日本)

・箏(日本)：宮本直美

・古箏(中国)：姜小青

・カヤグム(韓国)：金オル

II：長唄演奏

「元禄花見踊」

出演：杵屋喜三助社中、杵屋勝千吾社中、

杵屋勝藤社中

「船弁慶」

出演：杵勝会を中心としたプロ演奏家

〈第2部〉

III：市民文化活動者等による創作日本舞踊

「鳥獣戯画EMAKI」

作・演出・振付・出演：藤間蘭黄

作曲：四代目杵屋小三郎

作調：豎田新十郎

演奏：「船弁慶」出演者と同じ

出演：市民文化活動者等

IV：エピローグ饗宴

～日中韓の伝統楽器による演奏～

「三色時間」(共同演奏)

作曲・指導：佐野秀典

演奏：プロローグ饗宴と同じ

長唄演奏



「元禄花見踊」



(左から)司会：葛西聖司氏、 杵屋喜三助氏



「船弁慶」

「エピローグ饗宴～日中韓の伝統楽器による演奏～」



「三色時間」

■ 創作日本舞踊「鳥獣戯画EMAKI」



出演者の声



高橋 舞さん
(芸名：藤間勢楽)

流派の枠を超えた舞台上、日本舞踊がもっと好きになりました。

2021年8月「未来につなぐ東アジア伝統芸能の饗宴」で創作日本舞踊「鳥獣戯画EMAKI」に出演しました。この舞台は、長唄や日中韓3ヵ国の伝統楽器による演奏など、伝統芸能の魅力に触れ、味わってもらおうものです。国宝「鳥獣戯画絵巻」に登場する動物を、普段は勝美流、花柳流、藤間流、泉流、坂東流で活動している11人で表現し、踊りました。流派の枠を超えて一つの作品を作るのはとても珍しく、私も初めて。最後の紗幕越しのシーンでは、客席から大きな拍手をいただけて本当に嬉しかったです。コロナ禍での稽古も大変でしたが、刺激的で大変貴重な経験になりました。公演後は日本舞踊をもっと深く知りたくなり、仲良くなった他流派の舞台にも積極的に足を運ぶようになりました。今後は若い世代に日本舞踊の素晴らしさを伝えるため、和傘や扇子などを用いて踊る体験型ワークショップを開催したいと考えています。



小倉城 新能 2020

小倉城を背景とした特設舞台で日本古来の伝統芸能である能を披露しました。
 (第一部) 子ども・留学生等による能楽のステージ
 (第二部) 狂言「昆布売」、能「黒塚」



狂言「昆布売」



能「黒塚」

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 (開催日) 2020年10月3日(土)
 (会場) 小倉城天守閣前広場
 (出演者・スタッフ数) 114人
 (来場者数) 592人
 (WEB) 936回(YouTube)



東アジア文化都市北九州2020 ▶ 21開催記念 「第76期本因坊戦 第4局」

囲碁界最高峰のタイトル戦である「本因坊戦」を8年ぶりに本市で開催しました。緊急事態宣言下であったため大盤解説会などの付帯イベントは中止、対局の様子をオンラインで配信しました。

※なお、2020年7月に予定していた東アジア文化都市2020北九州開催記念「第75期本因坊戦 第6局」は、前局までに勝敗が決したため開催されませんでした。

(主催) 日本棋院、関西棋院、毎日新聞社、東アジア文化都市北九州実行委員会
 (開催日) 2021年6月10日(木)、11日(金)
 (会場) アートホテル小倉ニュータガワ百年の宿 翠水
 (出演者・スタッフ数) 55人
 ※緊急事態宣言下の開催のため無観客開催
 (WEB) 128,530回(YouTube)



本因坊文裕(井山裕太九段)



芝野虎丸王座(当時)



小倉城 薪能 2021

小倉城を背景とした特設舞台で日本古来の伝統芸能である能を披露しました。
 (第一部) 子ども・留学生等による能楽のステージ
 (第二部) ベトナム民族舞踊、狂言「酢薑」、能「土蜘蛛」

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 (開催日) 2021年10月2日(土)
 (会場) 小倉城天守閣前広場
 (出演者・スタッフ数) 79人
 (来場者数) 371人
 (WEB) 143回(YouTube)



能「土蜘蛛」



能楽のステージ



ベトナム民族舞踊



東アジア文化都市北九州2020▶21おもてなしミニコンサート

2021世界体操・新体操選手権北九州大会の開催に合わせ、選手・役員及び関係者を対象とした邦楽(箏・尺八)のミニコンサートを開催しました。新型コロナの影響で市内を周遊できなかった選手団に、日本文化を楽しんでいただきました。

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 (開催日) 2021年10月31日(日)
 (会場) ミクニワールドスタジアム北九州
 メインスタンドコンコース
 (出演者・スタッフ数) 8人
 (来場者数) 119人





ART for SDGs
ディレクター

南條 史生

キュレーター/森美術館特別顧問

「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs 一真のゆたかさのために」は、持続可能な社会を目標に掲げ、よりよい未来の構築を目指す「SDGs(Sustainable Development Goals)」をテーマとした国際的にも新しい取り組みです。

北九州市は2018年、アジア地域で初めて、OECD(経済協力開発機構)によって「SDGs(持続可能な開発目標)」推進に向けたモデル都市に選定されました。そこで「北九州未来創造芸術祭」では、アートを通して、SDGsの目標を可視化し、新しい生き方のヴィジョンを発信することとしました。

SDGsは17の目標と169のターゲットからなっています。それぞれ重要な項目ですが、本芸術祭ではそれをおよそ二つの大きなテーマに絞りました。一つは「地球環境」、もう一つは「社会的包摂」の問題です。

北九州市は、歴史的・地理的にアジアの玄関口として発展し、文化の国際交流が盛んで、多くの文化人が生まれ育った街です。主たる会場となる東田地区は幕末・明治時代から日本の近代化に貢献した官営八幡製鐵所の跡地です。日本事務所などの世界遺産を擁しており、現在では多数の美術館や博物館が集積して文化・芸術の発展を促進する街となっています。さらに2022年にはこの東田地区・旧スペースワールド跡地に娯楽、教育、商業などの機能が融合した新たなまちづくりがスタートします。そこでこの地域はSDGsを語るのには理にかなった場所といえます。

さて日本は古来、自然を愛で、自然と共生する生き方を一つの美学にまで昇華してきました。それは伝統美術に見られる自然への賛歌や日本庭園の自然を模した造形などに見出すことができます。自然に寄り添う美術は19世紀にヨーロッパを席卷した日本趣味=ジャポネズリーの主要なモチーフにもなりました。そのような日本文化の特筆はより良い環境や、平等で多様性をもつ貧困のない社会の実現という「持続可能な世界」の構築に、多大な示唆と貢献をなすものと思われます。

そこで本芸術祭では、廃材を使ったアート、医療につながるアート、最先端のテクノロジーを用いたアートなど、さまざまな作品を招致して、これまでにない独自の選択基準による新しい芸術祭を構成しました。従来のアートの境界を超えて科学・技術、自然、福祉、スポーツといった他領域に関わる作品を意欲的に紹介し、新しい学びとエンターテインメントのプラットフォームをつくりだし、地域社会に「創造性と美」という遺産を残すことを試みました。

また会場の一つである北九州市立美術館では「多様性への道」と題した展覧会を開催しました。この展覧会ではキュレーターの杉本志乃さんに10名の障がいをもつアーティストの作品の共同キュレーションをお願いしました。それに加えて障がい者のためのファッショ、高齢化社会の問題、LGBTや人種とアイデンティティー問題などについて言及する多様な作品が混在し、まさにこれからの社会の一つの姿を描いています。

SDGsの目標は平等で多様性に富み、貧困のない社会の実現とその持続可能性です。日本の美的価値観を刷新し続ける現代のアーティストたちの豊かな表現を通じて、本芸術祭が人々にこうした地球規模の新たな目標への理解を促進し、またその実現への契機となることを期待したいと思います。



北九州未来創造芸術祭ART for SDGs

— 真の豊かさのために —



北九州未来創造芸術祭
ART for SDGs
公式ホームページ

概要



〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
〔共催〕東田ミュージアムパーク実行委員会
〔助成〕内閣府、文化庁
〔開催日〕2021年4月29日(木・祝)～5月9日(日)
※北九州市立いのちのたび博物館は、5月30日(日)まで会期延長
※北九州市立美術館本館は、7月11日(日)まで会期延長
※緊急事態宣言期間中は休止(5月12日(水)～6月20日(日))
〔会場〕東田大通り公園、北九州市立いのちのたび博物館、東田第一高炉跡、北九州イノベーションギャラリー、北九州環境ミュージアム、スペースワールド駅改札前広場、北九州市立美術館本館
〔出演者・スタッフ等〕800人(期間中延べ人数)
〔来場者数〕55,762人
〔WEB〕165,511回(YouTube)



〔総合ディレクター〕
南條 史生(キュレーター、森美術館特別顧問)
〔参加アーティスト〕日中韓から29組
・東田大通り公園
奥中章人、団塚栄喜、淀川テクニク
・北九州市立いのちのたび博物館
落合陽一、ジャン・ワン
・東田第一高炉跡
石井リーサ明理
・北九州イノベーションギャラリー
田中浩也研究室+METACITY(青木竜太)、
ライゾマティクス、和田永
・北九州環境ミュージアム
川口智子、田坂哲郎、鄭慶一
・スペースワールド駅改札前広場
チェ・ジョンファ
・北九州市立美術館本館
井上優、岩本義夫、加地英貴、片山真理、
ユキ・キハラ、紺谷彰男、澤田真一、澤田隆司、
SECOND PLANET、早川拓馬、BABU、
東本憲子、福島あつし、
服は着る葉(鶴丸礼子アトリエ)、ほんままい、
松本寛庸、南村千里、山本作兵衛
(コ・キュレーター 杉本志乃)

北九州市は、市民・企業・行政が一体となった公害克服の取り組みや、環境を軸としたまちづくりなどの取り組みが認められ、SDGsの先進都市として国内外で高い評価を受けています。2018年には、SDGsを推進するアジアの自治体として唯一出席した国連の会議において、18番目の目標として「文化芸術」を提案しました。「文化芸術」は世界中のどのような国や地域にも豊かに存在し、その振興はSDGsの推進に寄与するものだからです。北九州市では、文化芸術の力を観光や産業にも活かす創造的なまちづくりを目指していますが、結果としてそれはSDGsの実現につながっていくと考えています。そこで、文化芸術の力でSDGsの目指す未来のヴィジョンを表現し、世界に向けて発信することで、一人ひとりがSDGsについて考え、よりよい未来に向けて行動を起こすことにつながることを願い、「北九州未来創造芸術祭ART for SDGs」を開催することとしました。



企画発表(2020年10月26日(月))



開会式(2021年4月29日(木・祝))

主な出展作品

東田大通り公園



淀川テクニック《北九州のドーダー/北九州のフクロオオカミ》2021



奥中草人《INTER-WORLD/SPHERE: The three bodies》2021



団塚栄喜《Medical Herberman Cafe Project》2021

北九州市立いのちのたび博物館



落合陽一《環世界の遠近法 一時間と空間、計算機自然と芸術一》2021



落合陽一《環世界の遠近法 一時間と空間、計算機自然と芸術一》2021

東田第一高炉跡



石井リーサ明理《LIGHT X(ライト・クロス)》2021

北九州イノベーションギャラリー



田中浩也研究室+ METACITY(青木竜太)《Bio Sculpture》2021



ライゾマティクス《TT》2021



和田永《BARCODE-BOARDING》2021

北九州市環境ミュージアム



川口智子、田坂哲郎、鄭慶一「こうして、『マチツクリがあった』展」2021

スペースワールド駅改札前広場



チェ・ジョンファ「Gardening」2021

北九州市立美術館本館 「多様性への道」展



市民参加

作品制作や運営において、多くの市民ボランティアや市内高校生・大学生の方々に参画していただきました。また、SDGsの推進に取り組む市内の企業・団体に、資材や役務等を提供していただきました。



作品素材収集のための海浜清掃活動（協力：私たちの未来環境プロジェクト）

〔ボランティア等参加者数〕

延べ500人以上

〔協賛：14社・団体〕

極東ファディ株式会社、株式会社小倉編織、

株式会社小玉商店、山九株式会社、

シャボン玉石けん株式会社、

住化積水フィルム株式会社、株式会社新菱、

株式会社ナフコ、日鉄興和不動産株式会社、

福岡トヨペット株式会社、株式会社フジコー、

株式会社ホログラムサプライ、

株式会社安川電機、株式会社Life is Style

（五十音順）

〔協力：6社・団体〕

イオンモール八幡東、

一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン、

北九州スケートボード協会、

木津川市山城総合文化センターアスピアやましろ、

西日本工業大学、私たちの未来環境プロジェクト

（五十音順）



市内高校生が参加した作品制作（協力：福岡県立八幡中央高等学校芸術コース）



市内大学生が参加した作品構想の検討（協力：西日本工業大学デザイン学部）



作品で使用する産業用ロボットの調整（協賛：株式会社安川電機）



作品で使用する小倉織での実証（協賛：株式会社小倉編織）

参加者の声

★作品制作を手伝い、作品一つを作るのに色々な人が関わっている事を初めて知った。単にセンスがあるだけでは駄目なのだと思った。色々な物や人に関わっていきたいと思う。（高校生）

★（制作協力を通じて）一つ一つの作品をただ見るだけで無く、よく考えて感心しながら見るようになりました。本当に多くの事に触れ、学ぶことができました。SDGsについて話をしたりはするけど、実際に行動するのはなかなか体験できないので、良かったです。この取り組みをもっと多くの人に知ってもらい、みんながSDGsについて興味を持つことができれば良いと思いました。（高校生）

来場促進

次世代を担う若年層の来場を促進するため、「ミュージアムツアー for SDGs」「観覧料の減免」などの取り組みを行いました。
(詳細は25ページに掲載)

サイドイベント

開催期間中、会場付近で各種イベントを開催し、にぎわいを創出しました。また、東田地区内の周遊性を高めるため、グリーンスローモビリティ(電気自動車の小型バス)を運行しました。



会場の周遊を促進するためのスタンプラリー
©'22 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L622368



地元団体企画によるキッチンカー



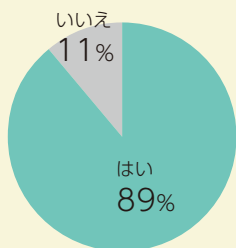
第2回「私のSDGsコンテスト」受賞作品展示



東田地区を周遊するグリーンスローモビリティ

来場者の声

Q イベントに参加してSDGsを意識できましたか?



- ★作品を通して、子ども達にSDGsについて理解を深めてもらえそうなイベントでした。
- ★これからの社会に重要な考え方をいろいろな角度から見せていただき、大変面白かったです。
- ★素晴らしい企画で、地球の環境についてより深く考えるきっかけになりました。

アーカイブ化

新型コロナ等の影響により、来場がかなわなかった方々に対して、デジタル化での一般公開に向けた取り組みを推進しました。

3Dウォークスルー

会場内を撮影して制作された3D空間をブラウザに再現し、会場にいるかのように体験できるもので、自由な角度で作品を鑑賞することができます。また、各所に設定されたアイコンをクリックすると、作品説明やアーティストのコメントを見ることができます。



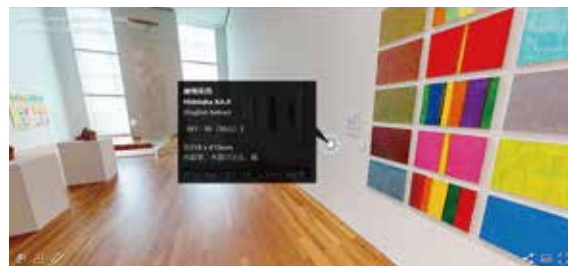
東田大通り公園



北九州市立いのちのたび博物館



北九州イノベーションギャラリー



北九州市立美術館本館



東田大通り公園



北九州市立いのちのたび博物館



北九州イノベーションギャラリー



北九州市環境ミュージアム



スペースワールド駅改札前広場



北九州市立美術館本館

YouTube

作品の映像に加え、ディレクターの南條史生氏によるコンセプト解説やトークショー、特別番組等をYouTubeにて公開しています。



LIGHT X(ライト・クロス)



ディレクター・南條史生氏によるコンセプト解説



東アジア文化都市北九州公式YouTubeチャンネル



オンライントーク(南條史生氏×落合陽一氏)



特別番組「水と緑の物語プロローグ 未来へのコンパス」

レガシー作品

参加アーティストより展示作品の寄贈を受け、本芸術祭の記憶を形(レガシー作品)として後世に引き継いでいきます。

■ 北九州のドードー／北九州のフクロオオカミ



寄贈式(2022年2月3日(木))

制作者 淀川テクニク

作品概要 小倉北区・藍島の浜辺で同地域の方々と拾い集めた漂着物で大型絶滅動物ドードーとフクロオオカミの彫刻を制作しました。時空を超えて出現する色とりどりの大きな動物たちは、ユーモアのある表情を浮かべ、鑑賞者を楽しませると同時に、人間による地球の環境破壊にも注意を喚起させるのです。地球という惑星に暮らす人類の未来についてどう考えるべきかを私たちに問いかけています。

なお、当初設置の東田大通り公園から北九州市立いのちのたび博物館(駐車場ゲート横芝生広場)に移設しました。

設置場所 北九州市立いのちのたび博物館(駐車場ゲート横芝生広場)

■ Bio Sculpture



閉幕後に行われた移設の様子(2021年5月21日(金)撮影)

制作者 田中浩也研究室+METACITY(青木竜太)

作品概要 大型の3Dプリンターに森の深部から採取してきた土壌成分等の自然素材を採用し、それにデジタル技術で新たな形態と構造を与え、「人新世」の時代の社会彫刻を模索しました。グループは「この器で、採取してきた土壌が活性化し、そこに宿っている目に見えない森の生態系が、新たな姿を伴って顕在化したとき、本作は真の意味で完成となるでしょう」と語っています。

なお、当初設置の北九州イノベーションギャラリーのイベントコートから中庭に移設しました。

設置場所 北九州イノベーションギャラリー(2022年4月から「スペースLABO ANNEX」)

※本作品は2022年3月、「第25回文化庁メディア芸術祭 アート部門 ソーシャル・インパクト賞」を受賞しました。

[贈賞理由]

人新世やマルチスपीーズ民俗誌をはじめ、さまざまな分野で生態系の捉え直しが模索されている。こうした議論のなかに、新たな技術をどのように位置づけていくべきかは重要な課題だ。本作は、巨大な3Dプリンターを用いて、苔や微生物の繁殖を促すための生態環境を自然の素材を基に造形している。この作品は、サンゴ礁の復活プロジェクトのような喫緊の課題に直接応えるために動員されるわけではない。むしろ、都市圏のオープンフィールドに設置され、この人工的な造形物が周辺環境にどのように溶け込んでいくのかを、人々が巨視的に見守ることができるように導いている。同時に微細構造にも配慮し、センシング技術によって微生物相や各種生態パラメータ、さらには土の成分などが長期的にどのように変化していくのかもモニターできるようになっている。実践的総合知を伴う新たなメディア芸術の展開として意義深く、ソーシャル・インパクト賞にふさわしい。(岩崎 秀雄)

アーティストのコメント



撮影：蜷川美花

ポスト工業社会に描くメディアアートの形を探している。自然との関係性、計算機以後の新しい自然感、そんなことを考えながら日々を過ごしている。北九州にいと日本の産業革命の頃から始まるポスト工業社会の爪痕や息吹を感じることができる。鉄鋼の重みや環境負荷とレジリエンス、小倉まで足を運べば繁華街の中にある喧騒も北九州独特の色をしている。化石から標本、ボロから最新のタンパク質合成のファッションまで数多くのものをプリコラーージュして表現を続けてきた。数寄とキュレーション、表現とメディアアートと茶文化の間に何かを見出そうとした一年だった。非常に面白く、さまざまな興味が芽生えたことは北九州で過ごした日々のおかげだったと思う。

落合陽一さん

北九州市に2ヵ月半滞在しながら制作しました。素材は、小倉北区・藍島で集めた漂流物です。私たちの未来環境プロジェクト代表の池本さん、ひびき灘漁業協同組合藍島支所藍島地区代表理事の松下さん、藍島自治会会長の濱崎さんにお世話になりました。また、市民ボランティアをはじめ、非常に多くの方々に協力してもらって作品が完成しました。ありがとうございました。

制作に当たり、人類の後ろめたい気持ちを込めて作りました。作品のモチーフとしたドードーとフクロオオカミは人類が滅ぼした動物です。人類の華やかな歴史の裏に、そのようなドロドロしたものがあるんじゃないかなと思っていました。制作中に環境ミュージアムの展示を見学に行きましたが、作品のコンセプトが同じだと感じました。人類の豊かな未来のために、経済・技術の発展はもちろん大事ですが、隠しておきたい、なかったことにしたい記憶も大きなエネルギーになると思います。この作品を未永く愛してほしいと思います。



撮影：藤田和俊

淀川テクニックさん

参加者の声



石川 雅弘さん

ボランティア活動を通じて、“人とのつながり”が広がりました

私は北九州市内のボランティア団体に所属し、さまざまなイベントにボランティアとして参加しています。2021年は、とりわけ「東アジア文化都市北九州2020▶21」との関わりが深い1年でした。「北九州未来創造芸術祭ART for SDGs」では、漂着ゴミを用いた「ゴミアート」や「バルーンアート」の制作に参加。「小倉城竹あかり」には準備から本番、後片づけまで参加し、「関門海峡キャンドルナイト」でも会場設営などの役割を担いました。活動を通じて、アーティストの方をはじめ、たくさんの人とつながることができ、大きな財産になりました。また、これほど大規模な文化事業が北九州市で開かれたこと自体、とても誇らしいと思います。今後も機会があれば、文化芸術イベントのボランティア活動に積極的に参加したいです。

IV-6 メディア芸術



メディア芸術
ディレクター

田中 時彦

北九州市漫画ミュージアム 館長

2年にまたがった「東アジア文化都市北九州2020▶21」も市民の皆様の温かいご支援とご協力のもと無事閉幕することができました。コロナの猛威が収まらず、様々な企画が中止や変更を余儀なくされる中、皆様の熱意と粘り強さで文化都市事業を完遂できたことはあらためて北九州の総合力を強く感じた次第です。ありがとうございました。本報ではメディア芸術コア事業について振り返り、所感を記させていただきます。

本事業を進めるに当たっては、プレ企画より海外との交流事業や本市の強みを活かした様々な企画を立案。特に、北九州のサブカルチャー文化を発揮して九州最大のサブカルイベント「北九州ポップカルチャーフェスティバル」と、3館連携による「SF都市・北九州～未来を描くチカラ」展は、「SF」をどう表現するのか、各館の特徴を活かしたワクワクする企画展でしたが、両者ともコロナの感染拡大で中止になったことは非常に残念でした。

それでも、感染リスクを最大限に抑えながら、各主催者が工夫をこらし、事業展開をした結果、以下のコア事業は北九州のメディア文化を広く発信する成果になりました。

①美術館本館で開催した「GIGA・MANGA展～江戸戯画から近代漫画へ」は、原画や貴重な資料を展示することで江戸から昭和までの戯画、浮世絵、社会風刺漫画などの漫画的表現を検証。子供達にも分かりやすく紹介できました。

②北九州国際漫画大賞はテーマに沿って4コマ漫画を広く世界より募集した国際コンクールです。1000点を超える応募の中から、ジュニア部門と一般部門の優秀作品は漫画ミュージアムで展示。くすつと笑顔になるホットな作品に和まされました。

③日中韓新人MANGA選手権大会は、日中韓の3か国が1年毎に開催する国際大会で今回は北九州市で開催。コロナで対面での開催が出来なかったため、オンラインでの開催でした。各国から選抜された若手漫画家が課題毎に腕を競い合った結果、中国選手が金賞を獲得。優秀作品は漫画ミュージアムで展示し好評を博しました。

④北九州フィルム・コミッション国際映画祭は、「映画の街・北九州」を象徴するイベントとして企画したものの、コロナ禍ではオンライン開催に切り替えての開催になりました。北九州出身俳優のリリー・フランキーさんや光石研さんの貴重な特別番組の紹介やKFC支援映画作品の上映など、この機会で見られない貴重な配信となりました。

また、海外との直接的な文化交流が難しい中、韓国の文化都市開催地・順天市と協力して「(東アジア)絵本&オンラインコミックフェスタ」を順天市で開催。北九州ゆかり作家の作品を提供紹介出来たことは数少ない海外での交流事業の一翼を担ったものとして付け加えておきます。

市民の皆様にはコア事業のみならずパートナーシップ事業においても多くのメディア芸術を参画して頂き、この場をお借りして心より感謝と御礼を申し上げます。



GIGA MANGA 江戸戯画から近代漫画へ

漫画・諷刺画研究家の清水勲氏の漫画史観に沿って、江戸時代中期の浮世絵版画や版本の戯画表現から明治・大正時代の諷刺漫画雑誌やポンチ本、そして昭和戦中期の子ども向け漫画までの約230年間を時系列に展示する、日本漫画の歴史を通観した展覧会を開催しました。



〔主催〕GIGA MANGA展実行委員会
 〔開催日〕2020年9月19日(土)～11月8日(日)
 〔会場〕北九州市立美術館本館
 〔運営スタッフ〕39人
 〔来場者数〕8,754人



第6回 北九州国際漫画大賞

漫画の魅力・ポテンシャルを北九州市から国内外に向けて広く発信し、漫画文化の普及・振興を図るため、4コマ漫画の国際公募コンテストを実施しました。国内をはじめ世界中から、前回コンテストを上回る1,271点もの応募がなされ、受賞作品18点を決定しました。受賞及び優秀作品を公式ホームページにて紹介するとともに、企画展にて作品展示を行いました。



〔主催〕北九州市漫画ミュージアム
 〔開催日〕2021年6月1日(火)～11月26日(金)
 〔会場〕北九州市漫画ミュージアム
 〔審査員・運営スタッフ〕16人

日中韓新人MANGA選手権2021

北九州市が事務局本部を担い、日本・中国・韓国の各国会場をオンラインで繋ぐリモート形式にて開催しました。各国から7名(計21名)の新人漫画家が選手として参加し、当日発表されるテーマに基づいた漫画創作で腕を競い合いました。日本選手が銀賞を受賞。各受賞作品については、企画展にて作品展示を行いました。

(主催)北九州市漫画ミュージアム
(開催日)2021年9月4日(土)~10日(金)
(会場)西日本総合展示場
(審査員・運営スタッフ)33人
(参加者・関係者)35人



参加者の声

★大会にて提示された「再生」というテーマは、結構明るい感じかなと思いましたが、「ほんわり」とした作品を描きました。順位がどうであれ、ここで培った経験を今後活かしていきたいと思っています。



北九州国際映画祭

オンラインを組み合わせた市民参加型の映画祭として、オール北九州ロケ作品の監督を招いたエキストラ交流会、国内支援作4作品、国外支援作1作品の上映会を開催しました。オンラインでは、支援作品の限定配信や本市出身俳優による特別動画の配信などを行いました。



[主催] 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
[開催日] 2021年11月12日(金)～14日(日)
[会場] 市内映画館 等
[出演者・スタッフ等] 37人
[来場者数] 552人
[WEB] 3,955回(YouTube)



登録エキストラの声

★エキストラに参加することで、自分の知らないロケ地も知ることができ、街の魅力を再発見することができました。

★俳優を目指しており、エキストラに参加することでその第一歩を踏み出すことができました。

★エキストラ活動を会社ぐるみで応援してくれて、撮影が急になった時なども快く送り出してくれます。もともと地元を盛り上げたいという気持ちがあるので、エキストラでその活動ができることがうれしいです。

★エキストラを始める前は、家族、職場、介護だけと狭い世界でした。エキストラを始めることで友人もでき、新しい世界が広がりました。エキストラで過ごす時間が生きがいになっています。

新型コロナの影響等により、中止となった事業



北九州ポップカルチャーフェスティバル

人気の高い漫画やアニメなど「ポップカルチャー」をテーマとした九州最大級のイベントです。声優やクリエイターのトークショー、アニソンライブ、ブース展示などのコンテンツを展開する予定でしたが、2020年、2021年ともに中止となりました。

[主催] 北九州市
[開催日] 2020年11月28日(土)、29日(日)→中止
[開催日] 2021年11月27日(土)、28日(日)→中止
[会場] 西日本総合展示場 等

IV-7 文学



文学
ディレクター

今川 英子

北九州市立文学館 館長

本市は大陸への玄関口として古から人・もの・情報が集まり、明治以降は工業都市として発達、その活力が地熱となって様々な文化芸術が育まれた。ことに文字を同じくする漢字文化圏の日中韓においては長い交流の歴史があり、このたびの東アジア文化都市を契機に、文字文化・言語芸術の一層の向上と相互理解を目的に以下の四つの事業を行った。

一つは「詩、踊る」。詩の世界をダンスで表現する舞台芸術。詩は古来より東アジア諸国で詠まれており、当初は日中韓の詩人と舞踊家を招請する予定であったがパンデミックのために国内に限定。結果、北九州出身の著名な詩人、高橋睦郎、平出隆、宗左近の作品世界を、世界的に活躍する田村一行、鈴木ユキオ、浅井信好がそれぞれ舞踏で挑むこととなった。言葉と身体が魂で繋がるこの試みは高い評価を得て、舞台芸術の可能性を拡げた。

二つは「書と文藝」。古代中国を発祥とし、東アジアを経て日本にもたらされた漢字は、平仮名、片仮名など独自の文字文化を創り上げ、文字そのものを芸術の域に高めた「書」も生まれた。ここでは文字の歴史を紹介しつつ、日中韓の秀作交流展をはじめ、友好への願いを「和」の文字に託し、北九州市、揚州市、順天市の市民や子どもたちが描いた「和」を一堂に展示した。さらに市内の書家による北九州ゆかりの文藝の一節を揮毫した「書」作品は、筆と墨による匂い立つ美しさと迫力により表現を際立たせ魅了した。

三つは、「アートシネマ」。映画は芸術表現のみならず歴史、政治、経済、暮らしとあらゆる要素が集約された総合芸術である。北九州市は多くの著名な作家を輩出、彼らの作品は世界的にも注目される監督によって数多く映画化され、それは地元を舞台にしたものもあり、市民のシビックプライドを醸成している。このたびはさらに若い人たちへ新たな映画体験、文学体験の扉を開き、未来を導くものであってほしいことを願い、21作品を選び、映画館他で集中的に無料(小中高大学生)上映した。

四つは「東アジア文学会議2021 地球を聴く—持続可能性と文学ができること」。公害を克服してきた北九州市にふさわしいテーマとして、当初の大規模な計画は縮小されたものの、日本ペンクラブの協力により、1部は浅田次郎による基調講演、2部は杉田久女の生涯をたどり俳人として称揚した朗読劇、3部は地元出身の村田喜代子や平野啓一郎、中国、韓国出身を含め6人の作家や詩人、翻訳家が、環境破壊や新型コロナ感染拡大など様々な危機に瀕した地球と、文学の可能性について語り合った。

以上、全ての事業は新型コロナウイルス禍のために変更を余儀なくされたが、内容的には充実、密度の高いものとなり、市民の一人一人が漢字圏の日中韓の言語芸術の共通性を再認識、相互理解を深める機会となった。これを契機に文化芸術による平和で創造的なまちづくりへの若い人たちの参加を期待したい。



詩、踊る

「詩」×「身体表現」による作品創作を実施しました。北九州出身の3名の詩人が紡ぐ言葉と、国内外で躍進を続ける3名の振付家が身体を通して表出させる世界を披露しました。

宗 左近 × 浅井 信好

「炎える母」

詩：宗 左近 意匠：Ziggy Chen
振付・出演：浅井 信好 照明：福井 孝子
出演：井田 亜彩実 舞台美術：澤井 大



平出 隆 × 鈴木 ユキオ

「HÔKA」

詩：平出 隆『雷滴 その放下』
振付・出演：鈴木 ユキオ
照明：筆谷 亮也



(主催)北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団

(開催日)2020年11月7日(土)

(会場)北九州芸術劇場 中劇場

出演者・スタッフ等)30人

(来場者数)262人

高橋 睦郎 × 田村 一行

「深きより」

詩：高橋 睦郎『深きより 二十七の聲』
振付・演出・美術・出演：田村 一行(大駱駝艦)
出演：大駱駝艦(塩谷智司、小田直哉、坂詰健太、阿蘇 尊)
巫[かななぎ]：高橋 睦郎

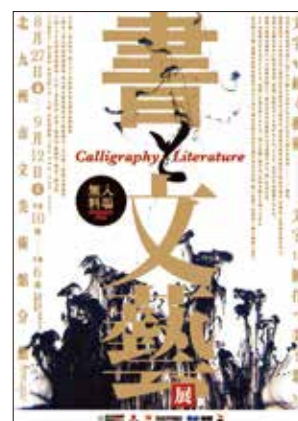




「書と文藝」展

北九州市で育まれてきた多くの文芸作品を「書」を通して紹介するとともに、東アジア文化都市の参加都市である北九州市、紹興市（中国）、敦煌市（中国）、順천시（韓国）の書家や市民の参加により、日本と中国、韓国の文字による繋がりを、作品・資料・ゆかりのある人物などを介して紹介しました。

（主催）東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 （開催日）2021年8月27日（金）～9年12日（日）
 （会場）北九州市立美術館分館
 （協力）北九州市書道連盟、北九書の祭典委員会
 （特別協力）日中韓三国協力事務局
 （出演者・スタッフ等）30人
 （来場者数）1,500人



アートシネマ

本市ゆかりの作家の文芸作品が原作となった映画を連続上映したほか、作家等によるトークイベントを開催しました。また、若者に映画の街としての本市の文化を身近に感じてもらうため、アートシネマでの上演作品について、学生の鑑賞は無料。北九州芸術劇場を会場に、中学生を対象とした映画鑑賞教室も実施しました。

(主催)東アジア文化都市北九州実行委員、北九州市
(開催日)2021年10月2日(土)~11月5日(金)
(会場)小倉昭和館、長崎街道木屋瀬宿記念館、北九州芸術劇場 大ホール
(出演者・スタッフ等)30人
(来場者数)4,656人

第1週	10.2 (sat) - 10.8 (fri)	09:30 無法松の一生 11:30 八月の狂詩曲 13:25 放浪記 15:30 山椒大夫
第2週	10.9 (sat) - 10.15 (fri)	09:30 人のセックスを笑うな 12:00 クワイエットルームにようこそ 14:15 ルート225 16:10 トワイライト ささらざや
第3週	10.16 (sat) - 10.22 (fri)	09:30 サッド ヴァケーション 11:30 百万円と苦虫女 13:45 東京タワー 16:20 東京難民
第4週	10.23 (sat) - 10.29 (fri)	09:30 復讐するは我にあり 12:30 砂の器 14:45 閉鎖病棟 16:55 共喰い
第5週	10.30 (sat) - 11.5 (fri)	09:20 花と龍 11:35 蝸ノ記 14:00 居眠り磐音 16:20 マチネの終わりに 10.23 14:00 まらそん侍



「八月の狂詩曲」ライブトーク



「まらそん侍」ライブトーク



中学生映画鑑賞教室



東アジア文学会議2021

コロナ以降の時代下における文学と東アジアの新たな地域間交流の在り方や可能性などをテーマに、第一線で活躍する日中韓の文芸関係者を招き開催しました。

当日の様子は2022年3月末まで、日本ペンクラブYouTube公式チャンネルにて公開されました。

第一部 基調講演「これまでの文学 これからの文学」
浅田次郎(作家)

第二部 俳句朗詠劇「翔べ久女よ! 天空の果てまで」
脚本・演出：中村敦夫(俳優・作家)
出演：神田松鯉(講師) 中井真恵(女優)

第三部 シンポジウム「地球を聴く～持続可能性と文学ができること」
日本：桐野夏生(作家) 村田喜代子(作家)
平野啓一郎(作家) 吉岡忍(作家)
中国：田原(詩人・翻訳家)
韓国：きむ ふな(翻訳家)
進行：佐藤アヤ子(明治学院大学名誉教授)

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市

(開催日) 2021年9月20日(月・祝)

(会場) 北九州国際会議場

(企画監修) 一般社団法人 日本ペンクラブ

(出演者・スタッフ等) 40人

(来場者数) 284人



第一部 基調講演 浅田次郎氏



第二部 俳句朗詠劇



脚本・演出 中村敦夫氏



神田松鯉氏



中井真恵氏



第三部 シンポジウム



桐野 夏生氏



村田 喜代子氏



平野 啓一郎氏



吉岡 忍氏



田 原氏



きむ ふな氏



佐藤 アヤ子氏

北九州は見ている
異常気象、コロナ禍
なかなか収まらない
何かがおかしい、何かがずれている
北九州は覚えている
古代、この地を大陸と半島と島国の人々が行き交った
近代、ここは国家を支えた鉄の街だった
半世紀前、「青空がほしい」と女たちは立ち上がった
北九州は知っている
人はひたむきに生きてきた
暮らしをみつめ、愛憎に身を焦がし、命を愛おしんだ
その思いが詩歌や文学となり、生の証しとなったことを
北九州は考えている
世界はどうすれば持続可能なのか
人生の充足とは何だろう
ここから生まれる人の証し、文学の可能性は何なのかと

※上記の詩はチラシ・当日パンフレットに掲載されたものです。



街なかリーディング

多くの人に本市ゆかりの作家の作品に触れてもらい、「文学の街・北九州」を発信することを目的に、松本清張の代表作の一つである『点と線』の朗読劇を行いました。



(主催)北九州市立松本清張記念館
(開催日)2020年11月3日(火・祝)
(会場)門司赤煉瓦プレイス 赤煉瓦交流館
(出演者・スタッフ等)12人
(来場者数)68人



IV-8 その他主催事業



まちあるきナゾ解きゲーム「紫川出版の事件簿」

本市における文化観光の魅力の発信及び文化施設の周遊促進を図るため、参加者が「紫川出版」の新人編集者となり、文化観光施設を回遊しながら事件を解決していく謎解きイベントを開催しました。

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(開催日) 2021年11月6日(土)～21日(日)
(会場) 小倉北区文化施設等
(出演者・スタッフ等) 17人
(来場者数) 904人



小倉ブックマルシェ

古書店を中心に、ステイホームの時間を豊かにしてくれる物品などを販売する事業者(雑貨、骨董、レコード、コーヒーほか)などが出店する蚤の市イベント(マルシェ)を開催しました。

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(開催日) 2021年11月26日(金)～28日(日)
(会場) JR小倉駅JAM広場
(出演者・スタッフ等) 30人
(来場者数) 9,000人



挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

交流式典

伝統芸能

ARTISTS

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

交流事業

開幕式典

共同宣言

関係機関

資料

あとかぎ

特別企画

2020北九州国際音楽祭 「ワレリー・ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」

2020年初めからのコロナ禍により、不可能に思えた名門オーケストラの来日公演は、日本とオーストリア両国の官民挙げての協力体制の下、奇跡的に実現することができました。11月5日、北九州ソレイユホールから日本公演はスタート。ウィーン・フィルとしても、コロナ禍、初の国外演奏会となりました。本国を出発する前日にはウィーンでテロが発生。犠牲者を悼んでチャイコフスキーの「悲愴」の演奏前に会場中で黙祷を捧げました。厳戒態勢の中で来日を果たし、北九州市でその一音目を奏でてくれた演奏者及びオーケストラ関係者に改めて敬意を払うとともに、彼らの素晴らしい演奏で会場が一体になり誰もが忘れられない演奏会となったことは言うまでもありません。

【開催】2020年11月5日(木) 19時開演

【会場】北九州ソレイユホール

【主催】(公財)北九州市芸術文化振興財団

【演奏者・スタッフ等】150人

【来場者数】1,677人

- 演奏：ワレリー・ゲルギエフ(指揮)
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
デニス・マツーフ(ピアノ)
- 曲目：プロコフィエフ/バレエ組曲『ロメオとジュリエット』作品64 より
「モンタギュー家とキャピュレット家」「少女ジュリエット」「仮面」
「ジュリエットの墓の前のロメオ」
プロコフィエフ/ピアノ協奏曲第2番 短調 作品16
チャイコフスキー/交響曲第6番 短調 作品74「悲愴」
- 料金：S席30,000円 A席25,000円 B席20,000円 C席15,000円 D席10,000円



ワレリー・ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 デニス・マツーフ(ピアノ) 2020年北九州公演



ワレリー・ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 2020年北九州公演

来場者の声

★北九州市にウィーン・フィルハーモニーが来てくれて嬉しい。

★夢のような美しさでした。今まで聴いたコンサートで最も素晴らしかった！

★プロコフィエフの第2番ありがとうございました。チャイコフスキーの「悲愴」、悲しみと優しさに溢れていました。

★ウィーン・フィルを北九州市で聴けるこの幸運を与えて下さった北九州市の芸術熱度の高さに今回初めて触れました。今後も注目し、楽しみにしたいと思います。



松本清張記念館 特別企画展

「松本清張と東アジアⅡ 韓国・中国の清張(書店)と作家の歩いた(風景)」

2010年に開催した「松本清張と東アジアⅠ」展から11年が経過し、その間に韓国・中国での清張受容と翻訳の研究は大きく進展しました。その研究成果をもとに、両国で読まれ続ける清張文学を「翻訳と受容」の観点から捉えなおすとともに、作家・歴史家・ジャーナリストの松本清張が歩いた中国・韓国の風景を紹介しました。



(主催)北九州市

(開催日)2021年9月14日(火)~12月15日(水)

(会場)北九州市立松本清張記念館

(来場者数)2,761人



北九州×東アジア大食覧会in門司港

食の宝庫である北九州の食材を使った、人をつなぎ食をつなぐ、北九州×東アジアの食の祭典です。メイン会場の門司港レトロ中央広場、親水広場では「食」とステージイベントを開催。また、門司港エリア一帯では、各国開催都市を紹介するフォトスポットを設置し、散策しながら子どもから大人まで東アジアの文化を楽しく学べるイベントとなりました。



(主催)北九州市

(開催日)2021年11月6日(土)、7日(日)

(会場)門司港レトロ地区一帯

(出演者・スタッフ等)180人

(来場者数)8,000人



北九州アニメソングピアノライブ2021

YouTubeなどで活躍中のピアニストによるアニメソングのコンサートイベントを開催しました。懐かしの昭和アニメのメロデーから話題のアニメソングまで、ソロ演奏やピアノ2台によるデュオなど、会場が一体となり盛り上がりました。また、有料動画配信も実施し、海外のアニソンファンにも楽しんでいただくことができました。

[主催]北九州市
[開催日]2021年11月28日(日)
[会場]北九州市立響ホール
[出演者・スタッフ等]52人
[来場者数]503人
[WEB]1,434人(オンラインチケット購入数)



(左から)みやけん氏、森下唯(a.k.a ピアニート公爵)氏、松井咲子氏、Animenz氏

■ コンサートの模様



挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

PR事業
オンライン事業
交流式典
開募式典

伝統芸能

ARTISTS

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

パートナーシップ
フレンドシップ
事業

交流事業

開募式典

共同宣言

関連事業

資料

あとかぎ

連携事業



事業名		
開催日	会場	①出演者・スタッフ等 ②来場者数 ③WEB再生回数等 ④その他

ジャスフィ・ツェン～部屋から届く物語～展		
2020年5月18日(月)～9月25日(金)	現代美術センターCCA北九州 CCAギャラリー	①6人 ②132人

コレクション展I 特集 シュルレアリスムを感じる7つの要素		
2020年5月19日(火)～30日(土) 6月19日(金)～7月26日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②1,688人

第5回北九州国際漫画大賞		
2020年6月1日(月)～12月4日(金)	北九州市漫画ミュージアム	①16人 ④1,259人(4コマ漫画の国際公募コンテスト、応募作品総数)

フジフィルム・フォトコレクション展 日本写真史をつくった101人「私の1枚」		
2020年6月19日(金)～7月26日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②4,017人


檜山荘子ども俳句大会(各学校で表彰)		
募集期間2020年7月6日(月)～9月7日(月) ・表彰式11月7日(土)	生涯学習総合センターでの表彰式は中止。 各学校に賞状・盾を発送し、表彰。	①4,380人(参加者)


ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ		
2020年7月25日(土)～9月6日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②9,705人


コレクション展II 特集 現代アート・セレクション		
2020年8月8日(土)～2021年2月7日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②12,500人


ことばとイメージ 巨匠たちと読む物語		
2020年9月5日(土)～10月11日(日) 10月17日(土)～11月29日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②3,431人


松本清張記念館 企画展「直筆原稿で見る-『点と線』のダイナミズム」		
2020年9月11日(金)～2021年1月11日(月・祝)	北九州市立松本清張記念館	②3,597人

 各区 文化祭		
2020年9月12日(土)～2021年3月7日(日)	市内文化施設	①550人 ②12,922人


 第42回西日本陶磁器フェスタ		
2020年9月18日(金)～22日(火・祝)	西日本総合展示場	①1,000人 ②30,765人


 2020日中韓新人MANGA選手権		
2020年9月18日(金)～24日(木)	西日本総合展示場	①33人 ②35人


 エコライフステージ2020		
2020年10月1日(木)～11月30日(月)	オンライン開催及び環境ミュージアム、水環境館ほか	①77人 ②22,500人 ③17,700回(YouTube) ④57,800回(J:COM・ホームページ・SNS)

 2020北九州国際音楽祭		
2020年10月3日(土)～11月14日(土)	北九州市立響ホール、西日本工業倶楽部 他	①200人 ②2,934人


 画業30周年記念 小畑健展 NEVER COMPLETE		
2020年10月3日(土)～12月6日(日)	北九州市漫画ミュージアム	①42人 ②5,011人


 アジア女性会議-北九州		
2020年10月8日(木)	オンライン配信 (視聴会場)北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	①20人 ②14人 ③427回

 門司港バナナ博物館2020		
2020年10月9日(金)～11日(日)	旧門司税関	①10人 ②3,719人


 文化庁メディア芸術祭 北九州展		
2020年10月9日(金)～18日(日)	旧大連航路上屋	①90人 ②2,102人 ③676回(ウォークスルーVR UniqueVisits)


 東京藝術大学スーパークローン文化財展		
2020年10月9日(金)～11月3日(火・祝)	旧大連航路上屋	①104人 ②4,430人


 2020北九州国際音楽祭 教育プログラム 小学生・幼稚園鑑賞教室		
2020年10月9日(金)	市内小学校・幼稚園	①9人 ②196人


 第15回皿倉山健康ウォーク		
2020年10月11日(日)	東田大通り公園	①180人 ②1,136人


 中学校芸術鑑賞教室①舞台鑑賞教室 ②音楽鑑賞教室Aプログラム ③音楽鑑賞教室Bプログラム		
2020年①10月14日(水) ②10月20日(火) ③11月5日(木)	①黒崎ひびしんホール 大ホール ②北九州市立響ホール ③北九州ソレイユホール	①188人 ②2,205人


 第44回北九州市都市緑化祭		
2020年10月18日(日)	北九州市立響灘緑地(グリーンパーク)	①79人 ②11,188人


 北九州フードフェスティバル2020		
2020年10月24日(土)、25日(日)	船場広場、クロスロード、紫川沿岸	①150人 ②9,400人 ④49,360回(特設Webサイトの10月PV数)


 こくらハロウィン2020		
2020年10月25日(日)	小倉都心部	①10人 ②600人


 まろのSP日記～北九州市編～		
2020年10月30日(金)	北九州市立響ホール	①65人 ②122人


 門司港アートワーフ		
2020年11月1日(日)～29日(日)	門司港レトロ地区	①121人 ②11,596人


 【特別企画】2020北九州国際音楽祭「ワレリー・ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」		
2020年11月5日(木)	北九州ソレイユホール	①150人 ②1,677人


 ひとみらい交流ウィーク		
2020年11月11日(水)～17日(火)	コムシティ	①49人 ②6,925人 ④1,500人(Facebook)


 第33回わっしょい百万夏まつり 秋のオンラインVer.		
2020年11月14日(土)	小倉城庭園ほか	①80人 ③56,000回(YouTube)


 第28回ふくおか県民文化祭2020俳句大会		
賞状・商品送付 2020年11月20日(金)	誌上大会	①2,715人

 福岡ユネスコ文化講演会(令和2年度)		
2020年11月21日(土)	北九州市立文学館	①10人 ②67人 ④400回(HP)


 小倉ブックフェス(令和2年度)		
2020年11月21日(土)~12月20日(日)	北九州文学サロン	①10人 ②3,282人

 北九州市障害者芸術祭 作品展		
2020年11月24日(火)~29日(日)	北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー	①50人 ②563人


 松本清張記念館開館22周年記念「塩田武士 講演会」		
2020年11月28日(土)	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	①1人 ②190人


 石炭の記憶保存事業		
記念講演会:2020年12月12日(土) 記念写真展:2021年3月17日(水)~26日(金)	若松市民会館、若松駅など	①22人 ②800人 ③3,700回(Facebook)


 シヨーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ		
2020年12月12日(土)~2021年1月31日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②11,244人


 北九州国際漫画祭2020		
2020年12月19日(土)~2021年1月24日(日)	北九州市漫画ミュージアム	①42人 ②466人


 奇想の浮世絵師 歌川国芳~魅惑の演出スペクタクル		
2021年1月5日(火)~2月28日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②12,708人


 コレクション展Ⅲ 特集 野見山暁二		
2021年2月20日(土)～4月11日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②2,580人


 第20回 全国俳句大会in北九州(誌上開催)		
2021年3月7日(日)	※誌上開催	①853人


 東日本大震災復興支援紫川大歌声喫茶		
2021年3月10日(水)、11日(木)	紫川水上ステージ(紫江's前)	①20人(実行委員のみで開催)


 Ready to アートシネマ vol.1		
2021年3月13日(土)	小倉昭和館	①6人 ②130人


 北九州空港開港15周年感謝祭		
2021年3月14日(日)	北九州空港	①20人 ②200人


 デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉		
2021年3月20日(土)～5月10日(月)	北九州市漫画ミュージアム	①42人 ②2,487人


 北九州芸術祭		
2021年3月30日(火)～9月30日(木)	市内文化施設	①350人 ②15,451人


 再興 第105回院展		
2021年4月21日(水)～5月11日(火)	北九州市立美術館本館	①39人 ②3,036人


 画家たちの自画像展 藤田嗣治から草間彌生まで		
2021年4月24日(水)～5月11日(火)、 6月8日(火)～20日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②2,157人


 ART×音楽 for SDGs		
2021年4月29日(木・祝)～6月13日(日)	北九州市立響ホール	②1,500人


 北九州・産業都市の軌跡		
2021年4月29日(木・祝)～5月30日(日) ※ただしコロナ緊急事態宣言のため実際は5月11日(火)まで。	北九州市立いのちのたび博物館、環境ミュージアム、鶴屋	②20,000人


 コレクション展I ハロー!ミュージアム!		
2021年4月29日(木)～5月11日(火) 6月22日(火)～7月11日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②4,714人


 ジャズと二胡でつなぐ東アジア		
2021年5月30日(日)	北九州市立響ホール	①28人 ②302人


 Ready to アートシネマ vol.2		
2021年6月19日(土)	小倉昭和館	①5人 ②110人


 ザ・フィンランドデザイン展		
2021年6月26日(土)～8月29日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②18,612人

 響ホールフェスティバル2021		
2021年6月12日(土)、13日(日)	北九州市立響ホール	①80人 ②502人


 北九州芸術劇場プロデュース／市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥2021」		
2021年7月4日(日)	北九州芸術劇場 中劇場	①53人 ②273人


 檜山荘子ども俳句大会(各学校で表彰)		
募集期間2021年7月5日(月)～9月6日(月) ・表彰式11月6日(土)	生涯学習総合センターでの表彰式は中止。 各学校に賞状・盾を発送し、表彰。	①5,886人(参加者)


 浮世絵に見る歌舞伎の世界		
2021年7月17日(土)～8月15日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②2,884人

 星野道夫写真展 一悠久の時を旅する一		
2021年7月17日(土)～9月20日(月・祝)	北九州市立文学館	①34人 ②6,118人

 ひとまち+アーツ協働事業		
2021年7月21日(水)～2022年1月21日(金)	北九州芸術劇場、北九州YMCA学院	①2人 ②16人


 コレクション展Ⅱ 特集 動物たちのいるところ		
2021年7月31日(土)～10月24日(日) 11月2日(火)～2022年1月23日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②10,390人


 海辺の憩い・にぎわい TRIAL PROJECT		
2021年8月1日(日)～9月30日(木)	第一船溜まり(門司港レトロ)、延命寺臨海緑地 ほか23か所	①6人 ②244人


 響ホールリサイタルシリーズ小林沙羅		
2021年9月4日(土)	北九州市立響ホール	①26人 ②113人


 第34回わっしょい百万夏まつり in ミクニワールドスタジアム北九州 ハイブリッドVer.		
2021年9月5日(日)	ミクニワールドスタジアム北九州	①694人 ③約175,000回(YouTube)


 松本清張記念館 特別企画展「松本清張と東アジアⅡ 韓国・中国の清張〈書店〉と作家の歩いた〈風景〉」		
2021年9月14日(火)～12月15日(水)	北九州市立松本清張記念館	②2,761人

 第43回西日本陶磁器フェスタ		
2021年9月16日(木)～20日(月・祝)	西日本総合展示場新館	①1,000人 ②31,889人


 各区 文化祭		
2021年9月16日(木)～2022年3月13日(日)	市内文化施設	①550人 ②約13,000人


 響ホールワンコインシリーズ 森山陽介・弘中優大・小山哲平		
2021年9月17日(金)	北九州市立響ホール	①27人 ②108人


 北九州ミュージックプロムナード2021		
2021年9月17日(金)～2022年3月31日(木)	市内各所	①404人 ②1,000人 ③3,172回


 美術館・漫画ミュージアム連携事業 「好き」を形にする。フィギュアの世界		
2021年9月18日(土)～10月31日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②8,754人


 三沢厚彦 ANIMALS 2021 IN KITAKYUSHU		
2021年9月18日(土)～11月7日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②7,228人


 2021北九州国際音楽祭 教育プログラム 小学生鑑賞教室		
2021年10月6日(水)	市内小学校	①7人 ②170人


 中学校芸術鑑賞教室①音楽鑑賞教室Aプログラム ②音楽鑑賞教室Bプログラム ③舞台鑑賞教室		
2021年①10月1日(金) ②11月5日(金) ③11月12日(金)	①②北九州市立響ホール ③北九州芸術劇場 大ホール	①55人 ②2,808人


 2021北九州国際音楽祭		
2021年10月2日(土)～11月13日(土)	北九州市立響ホール、西日本工業倶楽部 他	①250人 ②3,666人


 Global Offshore Wind Summit - Japan 2021		
2021年10月7日(木)、8日(金)	北九州国際会議場ほか	①70人 ②700人 ③340人


 門司港バナナ博物館2021		
2021年10月8日(金)～10日(日)	旧門司税関	①20人 ②2,406人


 こくらハロウィン2021		
2021年10月9日(土)	小倉都心部	①20人 ②600人


 シンポジウム「東アジアの中の邪馬台国—清張邪馬台国論の現在」		
2021年10月10日(日)	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	①4人 ②120人


 鉄の都のものがたり —釜石と八幡—		
2021年10月15日(金)～11月28日(日)	北九州市立いのちのたび博物館	②6,845人


 第45回北九州市都市緑化祭		
2021年10月17日(日)	北九州市立響灘緑地(グリーンパーク)	①129人 ②6,633人


 小倉ブックフェス(令和3年度)		
2021年10月23日(土)～11月21日(日)	北九州文学サロンほか	①10人 ②3,443人


 詩の水脈 ー北九州 詩の100年ー		
2021年10月23日(土)～2022年1月30日(日)	北九州市立文学館	①40人 ②5,190人


 エコライフステージ2021		
2021年10月29日(金)～11月30日(火)	オンライン開催及び島郷市民センター、大里東市民センター、環境ミュージアム	①96人 ②2,983人 ③47,000回(YouTube) ④107,017回(J:COM、ホームページ・SNS)


 北九州港開港記念マンス		
2021年10月30日(土)～11月21日(日)	門司港(西海岸・レトロ地区)	①40人 ②21,000人 ④4,533回(特設HP)


 アジア女性会議-北九州		
2021年11月5日(金)	オンライン配信 (視聴会場)北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	①21人 ②6人 ③270回

 北九州×東アジア大食覧会in門司港		
2021年11月6日(土)、7日(日)	門司港レトロ地区一帯	①180人 ②8,000人


 福岡ユネスコ文化講演会(令和3年度)		
2021年11月6日(土)	北九州市立文学館	①10人 ②40人 ④386回(HP)


 まちなかイルミネーション		
2021年11月12日(金)～2022年1月7日(金)	八幡駅周辺	①90人

 第29回ふくおか県民文化祭 俳句大会		
2021年11月14日(日)	北九州国際会議場 メインホール	①2,761(投句2,721人) ②120人


 松本清張記念館開館23周年記念「坂上泉 講演会」		
2021年11月14日(日)	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	①1人 ②120人


 ひとみらい交流ウィーク		
2021年11月15日(月)～21日(日)	コムシティ、黒崎商店街	①43人 ②40,515人 ④1,448回(Facebook)


 北九州市障害者芸術祭 ステージプログラム		
2021年11月21日(日)	ウエルとばた 大ホール	①100人 ②1,200人


 北九州市障害者芸術祭 作品展		
2021年11月23日(火・祝)～28日(日)	北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー	①50人 ②496人


 アジア低炭素化センター10周年成果報告会		
2021年11月24日(水)	リーガロイヤルホテル小倉 4階 ロイヤルホール	①28人 ②100人 ③528回(YouTube)

 第76回福岡県美術展覧会(県展)北九州展		
2021年11月24日(水)～28日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②2,274人


 こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界展		
2021年11月27日(土)～2022年1月23日(日)	北九州市立美術館分館	①26人 ②15,847人

 北九州アニメソングピアノライブ2021		
2021年11月28日(日)	北九州市立響ホール	①52人 ②503人 ③1,434回(オンラインチケット購入数)

 北九州国際漫画祭2021		
2021年12月11日(土)～2022年1月30日(日)	北九州市漫画ミュージアム	①42人 ②3,552人

 ロートレックとベル・エポックの巴里-1900年		
2021年12月18日(土)～2022年2月6日(日)	北九州市立美術館本館	①39人 ②8,461人

 九州交響楽団第九公演		
2021年12月25日(土)	北九州ソレイユホール	①200人 ②950人

 ジーモpresents2021レトロXmasコンサート		
2021年12月25日(土)	旧門司税関	①35人 ②170人

新型コロナウイルスの影響等により、中止となった連携事業

 北九州芸術祭	2020年4月～9月※全34部門中28部門が中止	市内文化施設
 再興 第104回院展	2020年4月頃	北九州市立美術館本館
 若松あじさい祭り	2020年6月中旬	高塔山公園
 響ホールフェスティバル2020	2020年6月27日(土)、28日(日)	北九州市立響ホール
 (仮称)世界遺産登録5周年記念シンポジウム	2020年7月5日(日)	北九州イノベーションギャラリー
 第44回北九州少年少女合唱祭	2020年7月5日(日)	戸畑市民会館
 絵本作家いわむらかずおの世界	2020年7月18日(土)～9月22日(火・祝)	北九州市立文学館
 オペラ「トゥーランドット」公演	2020年7月18日(土)、19日(日)	北九州芸術劇場 大ホール
 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会	2020年7月22日(水)	(晴天)北九州市立大蔵小学校 (雨天)同体育館
 北九州市長杯ストリートダンスコンテスト2020	2020年8月～9月	小倉駅前セントシティ北側広場(公開空地)
 北九州ミュージックプロムナード2020	2020年8月～10月	市内各所
 北九州市ジュニアオーケストラ国際交流事業	2020年8月中旬	中国揚州市

新型コロナの影響等により、中止となった連携事業(つづき)

 第27回北九州将棋フェスティバル	
2020年9月12日(土)、13日(日)	北九州国際会議場
 新・BS日本のうた	
2020年9月24日(木)	北九州芸術劇場 大ホール
 (仮称)旧本事務所ライトアップイベント	
2020年秋頃	官営八幡製鐵所、旧本事務所、眺望スペース等
 くきのうみ花火の祭典	
2020年10月3日(土)	洞海湾、若戸大橋周辺
 3館連携事業「SF都市・北九州」アートのなかのSF—現実から想像／創造へ展	
2020年10月3日(土)～11月29日(日)	北九州市立美術館分館(北九州市立文学館、北九州市漫画ミュージアム)
 3館連携事業「SF都市・北九州」日本SF 文学クロニクル	
2020年10月3日(土)～11月29日(日)	北九州市立文学館(北九州市立美術館分館、北九州市漫画ミュージアム)
 八幡駅前ウインターフェスタ2020	
2020年11月14日(土)～2021年1月8日(金)	八幡駅周辺
 令和2年度北九州市小学生合唱フェスティバル	
2020年11月21日(土)	黒崎びびしんホール 大ホール
 北九州市障害者芸術祭 ステージプログラム	
2020年11月22日(日)	ウェルとばた 大ホール
 (仮称)Mojikou イルミネーションライブ2020	
2020年12月12日(土)～25日(金)	旧門司税関
 響ホールリサイタルシリーズ ニュウニュー	
2021年1月16日(土)	北九州市立響ホール
 令和2年度北九州市中学生合唱フェスティバル	
2021年2月6日(土)	ウェルとばた 大ホール
 (仮称)釜石連携企画展	
2020年度	北九州市立いのちのたび博物館

 第16回皿倉山健康ウォーク	2021年5月16日(日)	東田大通り公園
 若松あじさい祭り	2021年6月13日(日)	高塔山公園
 第45回北九州少年少女合唱祭	2021年7月4日(日)	戸畑市民会館 大ホール
 北九州市長杯ストリートダンスコンテスト2021	2021年8月～9月	小倉駅前セントシティ北側広場(公開空地)
 北九州市ジュニアオーケストラ国際交流事業	2021年8月中旬	中国
 第27回北九州将棋フェスティバル	2021年9月11日(土)	北九州国際会議場
 オペラ「ラ・ボエーム」公演	2021年9月11日(土)、12日(日)	北九州芸術劇場 大ホール
 北九州空港まつり	2021年9月26日(日)	北九州空港内
 ホラシスアジアミーティング	2021年秋頃	北九州国際展示場
 第49回全国消防救助技術大会	2021年10月9日(土)	【陸上会場】勝山公園 【水上会場】グローバルマーケットアクアパーク桃園(桃園市民プール)
 (仮称)旧本事務所見学バスツアー	2021年10月～12月※毎月1回程度	官営八幡製鐵所旧本事務所
 くきのうみ花火の祭典	2021年10月16日(土)	洞海湾、若戸大橋周辺
 北九州海外マンガフェスタ2021	2021年11月27日(土)、28日(日)	西日本総合展示場
 トイレのうんちく展	2021年12月22日(水)～2022年2月13日(日)	北九州市立いのちのたび博物館

IV-10 パートナーシップ事業

北九州市内全体で開催機運を盛り上げるため、市民の方々が企画・実施する文化芸術の取り組みやイベントについて、2つの区分を設け、公募・助成を行いました。

	東アジア文化都市 発信プログラム	東アジア文化都市 参加プログラム
対 象	○ 期間中、北九州市内で実施される文化芸術事業 ○ 基本方針(5つの宣言)のいずれかに合致する文化芸術事業 さらに次の2点を満たす事業 ① 東アジアとの相互理解に資する文化芸術事業 ② 多くの集客が見込まれ本市が誇る文化を国内 外に発信する文化芸術事業 ※「東アジア」の範囲は日中韓に限らず、アジア全域を含めます。	
助成額	助成額：補助対象経費の3分の2以内 限度額：300万円	助成額：補助対象経費の3分の2以内 限度額：30万円
採択数	21事業	76事業
内、実施数	13事業	51事業

新型コロナの影響等により、採択した97事業の内、64事業が実施、33事業が中止となりました。

発信プログラム



箏ルネッサンス北九州

休眠箏と休眠人材を掘り起こし、公開レッスンやコンサートを通して一流の演奏家から指導を受けて舞台で共演。アジアの演奏家とも共演。YouTube、街中演奏、記録誌、DVDなどで発信。ワークショップでは斬新な企画を立てました。

- ① 休眠箏贈呈式
- ② 箏作曲演奏家「吉崎克彦」先生による公開レッスン・箏ルネッサンス北九州コンサート
- ③ 街中演奏
- ④ 次代へつなぐ新生ワークショップ



〔主催〕NPO法人和楽啓明
 〔開催日〕2020年4月～2021年6月
 〔会場〕①市内小学校②黒崎ひびしんホールリハーサル室・大ホール③イオンモール八幡東、黒崎コムシティマーメイド広場④八幡西生涯学習総合センター 大会議室
 〔出演者・スタッフ等〕560人
 〔来場者〕581人
 〔WEB〕2,900回(YouTube)



KITAKYU JAZZ STREET zero・zero spring・zero summer

当初2020年5月17日(日)開催予定だったKITAKYU JAZZ STREETは新型コロナウイルス感染拡大のため延期。その代替イベントとしてKITAKYU JAZZ STREET zeroを開催しました。(zero・zero spring・zero summerとして3度開催)。万全の感染症対策を講じ、多くのアーティストがゲスト出演しました。



〔主催〕KitakyuJazzStreet実行委員会
〔開催日〕2020年11月1日(日)、2021年3月27日(土)、7月24日(土)
〔会場〕Live & Grill beyond、あるあるCity(小倉北区)
〔出演者・スタッフ等〕60人
〔来場者〕180人



WAKAZONOタウンパレード

全国に先駆けた新しいまちづくり「インクルーシブコミュニティ」の実現を目指し、誰でも参加できて楽しめるパレードを実施しました。若園地区の住民等、未就学児から車椅子を利用する高齢者まで多くの方々が参加しました。



〔主催〕WAKAZONOタウンパレード実行委員会
〔開催日〕2021年4月25日(日)
〔会場〕みなみっこ通り(JR城野駅から若園四丁目公園まで)
〔来場者〕200人



Oma Meeting

廃倉庫を利用してアート空間を制作、エキシビジョンを開催しました。館内にはスケートボードセクションに見立てたアート作品を中心に、北九州にゆかりのあるアーティストの作品を配置、その作品全てに廃棄されたゴミを利用しました。またマルシェも開催し、食を通じて地方と都市の人々との交流を図りました。



〔主催〕UMIE+
〔開催日〕2021年10月16日(土)～10月24日(日)
〔会場〕元JA農業センター(小倉南区合馬)
〔出演者・スタッフ等〕25人
〔来場者〕700人
〔その他〕560回(Instagram)



挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

アート事業

交流式典

伝統芸能

ARTISTS

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

パートナーシップ事業

パートナーシップ事業

交流事業

開式式典

共同宣言

関係事業

国CONJ

資料

あとがき



第3回小倉城竹あかり

小倉の名産でもあり、同時に厄介者でもある竹を、放置竹林から切り出し、中国、韓国そして日本の神話や伝承文化の象徴で有る「龍」を作成。それを第3回「小倉城竹あかり」のメインオブジェとして飾りました。この様に竹を国際親善に利用しながら、SDGs未来都市の達成の一助となる様に創作いたしました。



〔主催〕小倉城竹あかり実行委員会
〔開催日〕2021年10月23日(土)～31日(日)
〔会場〕小倉城天守閣広場など
〔出演者・スタッフ等〕50人
〔来場者〕40,000人



やはたアートフォレスト2020～パレットの樹～ 関連企画「遠賀川神話の芸術祭2020」

遠賀川周辺流域は、東アジアの玄関口として、博多的那津(奴国)とともに栄えました。かつて古遠賀淵にあった岡水門(おかのみなと)は日本書紀にも記載されています。稲作を最初に受け入れた地域と云われ、古代の民間伝承も数多く見受けられる中で、遠賀川流域はまた大陸文化がいち早く伝わり、独自に豊かな社会を築いた歴史があります。大陸文化が交差した遠賀川流域である北九州で、北九州、山口のアーティストが交流の場として、独自の地域性を表現した現代美術の展覧会を開催しました。



〔主催〕八万湯プロジェクト実行委員会
〔開催日〕2021年11月7日(日)～28日(日)
〔会場〕響ホール、JICA九州、他6か所
〔出演者・スタッフ等〕25人
〔来場者〕1,500人



朝鮮通信使～雨森芳洲・誠信の交わり～

江戸時代に復活した「朝鮮通信使」は、隣国同士の友好・交流を目的としました。「雨森芳洲」は、第8次・9次朝鮮通信使の折衝役として活躍。両国の架け橋となった雨森芳洲とその時代背景や人との関わり「誠信」について学びました。



〔主催〕北九州文化連盟
〔開催日〕2021年11月20日(土)、21日(日)
〔会場〕北九州芸術劇場 大ホール
〔出演者・スタッフ等〕82人
〔来場者〕1,130人





関門海峡キャンドルナイト

北九州市門司港レトロ地区・下関市駅前・唐戸地区を会場とした関門海峡を挟んだ2都市を回遊させた夜の賑わいを演出。

11月20日(土)には、浪漫灯彩(門司港のイルミネーション)の点灯式なども合同で開催されました。

5分で渡れる関門海峡を舞台に、両市が灯りで埋め尽くされ、カバーエリア・開催規模としては、日本最大級のキャンドルイベントとなりました。



(主催) (一社)BASEMENT北九州
〔開催日〕2021年11月20日(土)～23日(火・祝)

〔会場〕門司港レトロ 親水広場及び周辺
〔来場者〕20,000人

〔その他〕荒天の為、21日～23日は点灯中止。



くるくるお皿フェスタ

中国・韓国・日本の伝統的な皿回しや、スポーツ皿回しのパフォーマンスステージをメインに、皿回し段位認定や、皿回し体験、ミニマルシェ、大道芸のパフォーマンスステージなど「皿回し」をキーワードに、多くの人々と交流できるイベントでした。



(主催) 日本スポーツ皿回し連盟

〔開催日〕2021年11月28日(日)

〔会場〕門司赤煉瓦プレイス

〔出演者・スタッフ等〕25人

〔来場者〕250人

〔WEB〕200回(録画配信)



日中文化芸術の融合パフォーマンス舞台 【神・技・体 神隠しの都】

現代サーカス舞台 「神・技・体 神隠しの都」

日本の伝統芸能である大道芸や中国雑技などを交えた日中交流の懸け橋となるようなパフォーマンスステージを展開しました。



(主催) 大道芸人KAJI(梶栗正充)

〔開催日〕2021年12月4日(土)

〔会場〕北九州芸術劇場 中劇場

〔出演者・スタッフ等〕30人

〔来場者〕324人

挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

オンライン事業
交流式典開幕式典

伝統芸能

Art for Social

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

パートナーシップ
事業

フレンドシップ

交流事業

開幕式典

共同宣言

国と国
関連事業

資料

あとがき



北九州グランフィルハーモニー管弦楽団 サン=サーンス交響曲第3番『オルガン付』 第2回定期演奏会

ドヴォルザークのチェロ協奏曲では、宮田大氏の素晴らしい独奏を堪能できました。サン=サーンスの『オルガン付』は、北九州市民の手で遺したパイプオルガンとの壮大なシンフォニーで、オルガンを持つ北九州市の文化を誇り高くアピールできました。



〔主催〕(特非)北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

〔開催日〕2021年12月11日(土)

〔会場〕北九州ソレイユホール

〔出演者・スタッフ等〕74人

〔来場者〕645人



2021朝韓中日文化芸術公演「チャンチ」

福岡朝鮮歌舞団の結成55周年を記念した公演を北九州芸術劇場中劇場にて開催しました。日本や中国などの七つの芸術団体と共に「朝韓中日の友好」を演出し、朝鮮の伝統芸術をはじめ朝鮮民謡アリラン、日本の童謡赤とんぼ、アメージンググレースを掛け合わせたオリジナル作品「はじまり」を披露しました。



〔主催〕福岡朝鮮歌舞団

〔開催日〕2021年12月18日(土)

〔会場〕北九州芸術劇場 中劇場

〔出演者・スタッフ等〕225人

〔来場者〕455人

〔WEB〕100回(vimeo)



チャンチャン劇団第29回定期公演

発足30年目を迎える知的障害者の劇団です。韓国との5回目の文化交流は、コロナ禍で予定の友情出演はかなわず、メッセージのみの参加となりました。当日は、はじける団員の演技と待ち望んでくださったお客様の熱い応援と一体となり、思い出深い公演になりました。



〔主催〕NPO法人ChanChan夢企画

〔開催日〕2021年12月28日(火)

〔会場〕北九州芸術劇場 大ホール

〔出演者・スタッフ等〕42人

〔来場者〕300人



参加プログラム

**みんなのすみたいまち おえかきキャラバン
2020 楽しみは、いつもの暮らしの中にある
(住みたいまち、北九州)**

自然豊かな北九州の四季を、いまここにいる子どもたちが体験して描きました。コロナ禍、子供たちと活動しながら季節を巡り、たくさんの活動会場で、描いてきました。北九州育ちの皆さんなら、きっと懐かしい思い出や風景。うごく であう=>きもちもうごく=>えがいたりあrawしたりしたい=>つたえたい。活動の記録を子ども達や参加者と一緒に描き重ね、その集合体は結果、子どもたちの住みたいまち、なかまと今ここにいる、わがまち北九州。今の北九州の自然の中の子供達の様子を、ごらんいただけます。



〔主催〕(特非)あそびとまなび研究所
〔開催日〕2020年7月～2021年12月
〔会場〕【作品展示】北九州市立水環境館、若松ポート東スタンド、グリーンパーク都市緑化センター、黒崎コムシティマーメイド広場、環境ミュージアム
【作品制作活動】玄海青年の家、もじ少年自然の家、水環境館、夜宮青少年センター など
〔出演者・スタッフ等〕600人
〔来場者〕70,000人



東アジア文化都市北九州
公式Instagramでの紹介
記事(動画あり)

**アズ漫画☆イラスト展～アジア! 集合～**

毎年開催のアズ展の2020年テーマを「アジア」とし、連動した同人誌「あずVol.23」と別冊の画集を発行しました。展示会には、アジアのクリエイター34人(作品40点)及びアズメンバー36人(作品83点)が参加しています。



〔主催〕アズ漫画研究会
〔開催日〕2020年7月15日(水)～21日(火)
〔会場〕北九州市芸術劇場 市民ギャラリー
〔出演者・スタッフ等〕72人
〔来場者〕193人

**朗読劇「黒い雨ー八月六日広島にて 矢須子」**

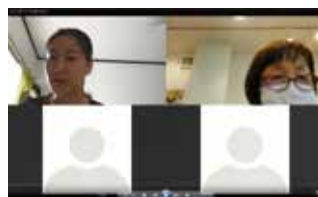
「黒い雨」をもたらした戦争とは何か、女優・奈良岡朋子氏が語る朗読劇として、未曾有の惨事に巻き込まれながらも、平常心を失わずに暮らしを営む人びとの様子を描いた作品を上演しました。



〔主催〕北九州市民劇場
〔開催日〕2020年7月18日(土)
〔会場〕北九州芸術劇場 中劇場
〔出演者・スタッフ等〕8人
〔来場者〕383人

**北九州市のアニメ・マンガ・映画による
日本文化体験プログラム**

松本零士「新竹取物語1000年女王」の関連ポスターや漫画の展示を行いました。また、日本・中国の大学生を交えた北九州市のアニメ・マンガ・映画のシンポジウム「ポップカルチャーの国際性」を実施し、討論を行いました。



〔主催〕荻原桂子
〔開催日〕2020年7月23日(木・祝)～25日(土)
〔会場〕北九州文学サロン
〔出演者・スタッフ等〕9人
〔来場者〕10人
〔WEB〕6人(オンライン参加者)



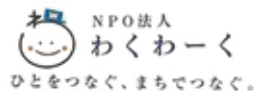
come! experience asian culture (さあ、アジアの文化を体験しよう!)

アジアを中心とした外国の文化や伝統、歴史を衣・食・音から体験し学ぶ3つの企画を実施し、多世代・多様な人々の交流に繋いでいきました。

- ①バリナイト…バリ舞踊の鑑賞と衣裳、楽器の体験～アジアの料理と共に～
- ②民族衣装から見る暮らしと文化～中東に起源を持つ楽器演奏と共に～
- ③ピアノと二胡のコンサート～中国茶や健康茶と共に～



〔主催〕NPO法人わくわーく
 〔開催日〕2020年7月31日(金)、10月24日(土)、11月21日(土)
 〔会場〕ココクル平野*くるくるスペース(八幡東区)
 〔出演者・スタッフ等〕17人
 〔来場者〕113人
 〔WEB〕943回(Facebookライブなど)



北九州ページェント

真夏の夜の勝山公園(小倉城庭園横)において、劇団青春座による「ギリシャ悲劇 オイディプース王」と神洲太鼓による「和太鼓演奏」を2部構成で開催しました。開演直前まで降っていた雨も止み、幻想的な空間を創り出しました。



〔主催〕劇団青春座
 〔開催日〕2020年8月9日(日)
 〔会場〕勝山公園(小倉城庭園横)
 〔出演者・スタッフ等〕40人
 〔来場者〕122人



「杉田久女生誕130年・久女の句を書く」

俳人杉田久女は結婚とともに小倉に住み、大正・昭和の女性俳句の草分け的存在として活躍した女性です。その俳句を書き作品として展示した書作展を開催しました。



〔主催〕大塚婉嬢
 〔開催日〕2020年10月7日(水)～11日(日)
 〔会場〕インテリアギャラリーオリーブの木(門司区)
 〔出演者・スタッフ等〕2人
 〔来場者〕150人



島田亜希子マリンバコンサートVol.14 「アジアの歌」

1部は「東アジアのマリンバ曲」2部は「アジアのうた」をテーマにし、二胡に青島出身の陳琦さん、朗読に北九州出身の戸次隆子さんをゲストにお迎えし「皇帝とナイチンゲール」の音楽劇を演奏しました。



〔主催〕島田亜希子
 〔開催日〕2020年10月23日(金)
 〔会場〕北九州芸術劇場 小劇場
 〔来場者〕110人



小倉織2020

小倉織に携わる事業者による小倉織協同組合の発足を記念し、小倉織の今を発信する企画展を開催。「東アジア文化都市北九州2020▶21 交流式典」の舞台美術に小倉織生地が使用され、SDGs活動に賛同したオリジナルの小倉織も誕生しました。作家の帯や手織り作品、日常使いのバッグ、小物等、多彩な小倉織の世界をご紹介します。



〔主催〕小倉織協同組合
〔開催日〕2020年10月28日(水)～11月3日(火・祝)
〔会場〕小倉井筒屋 新館1階
〔出演者・スタッフ等〕20人
〔来場者〕1,000人



RISING SUN International Film Festival (RISING SUN 国際映画祭)

32か国から応募された国際色豊かな作品から厳選された72本の映画作品を3日間に渡り上映。SNSを活用し、映画作成者やサポーターとコミュニケーションを図り、国際映画祭や北九州市の情報を世界に発信しました。



〔主催〕RSIFF Organization group
〔開催日〕2020年11月6日(金)～8日(日)
〔会場〕BRICK HALL、門司麦酒煉瓦館
〔来場者〕160人



創作日本舞踊「もっとふれて日本文化! つなごう東アジア!」

北九州市発祥の創作日本舞踊の流派の市民により主に北九州に縁のある演目や韓国、中国の曲に振付けをして創作日本舞踊を披露しました。北九州市の創作日本舞踊という芸能が市民をはじめ、留学生や遠方の方々に観賞してもらうことができました。



〔主催〕若竹会・安永容子
〔開催日〕2020年11月7日(土)
〔会場〕若松市民会館 大ホール
〔出演者・スタッフ等〕61人
〔来場者〕500人
〔WEB〕479回(YouTube)



松本梨香さんと語るわっしょい生会議 ～アニメがつなぐ北九州とアジアの未来～

歌手・声優として海外、アジアで活躍されている松本梨香さんと北九州市内の中学生から社会人の男性2名女性2名がポップカルチャーにおける北九州の未来と問題点、そして若者の将来についてオンラインにて語りあいました。



〔主催〕北九州さぶがるちゃ〜協会
〔開催日〕2020年11月14日(土)
〔会場〕※オンライン開催
〔出演者・スタッフ等〕15人
〔WEB〕1,000回(配信視聴者数)

北九州さぶがるちゃ〜協会



子どもと留学生の能楽とアジアの 芸能交流会

子ども及び留学生の能楽教室を開催しました。また、留学生を新たに募集して留学生能楽体験講座も開催しました。子どもと留学生による能楽の発表やベトナムの民族舞踊、中国の二胡演奏などアジアの芸能を披露しました。



〔主催〕子どもに能楽を勧める会(英扇会)
〔開催日〕2020年11月21日(土)、22日(日)
〔会場〕レディスやはた 能舞台
〔出演者・スタッフ等〕50人
〔来場者〕104人



「鉄染」展

『鉄の街の鉄の染物』をテーマに、北九州の特色を表現した染物「鉄染」の染め方を動画製作、配信。自宅でも「鉄染」を体験できるようにしました。1月30日(土)からは展覧会も開催し、染め方を記載したレシピを来場者に配布。ワークショップ希望者には2~3名ずつの完全予約制にて染色体験を実施しました。



〔主催〕UMIE+ 伊東英美
〔開催日〕2021年1月30日(土)~2月14日(日)
〔会場〕ウミエギャラリースペース(小倉北区)
〔出演者・スタッフ等〕2人
〔来場者〕150人
〔WEB〕1,385回



おしゃれコンサート(春の風に乗って~ モンゴルから始まる音の旅~)

モンゴル出身の馬頭琴奏者を招聘し、「未来」会員とのコラボ演奏会を開催しました。(第一部:馬頭琴とピアノによる演奏とトーク、第二部:ピアノ連弾や独奏)モンゴル・中国・日本・アメリカ・ヨーロッパの音楽の旅を舞台上でのMC解説と共に会場と一体化して進めました。



〔主催〕ピアノ演奏グループ「未来」
〔開催日〕2021年4月10日(土)
〔会場〕ウエルとばた 中ホール
〔出演者・スタッフ等〕20人
〔来場者〕127人



SPRING CONCERT~ライブコンサート~

吹奏楽のコンサートで、日本の文化・サブカルチャーやアジアの民族音楽とコラボレーションし、観客の方に日本文化を身近に感じて貰ったり、民族文化の可能性を感じて貰いました。また、親交のある韓国の吹奏楽団に演奏会の映像を配信し、国外にもこの取り組みを発信しました。



〔主催〕コンフォート・ウインドアンサンブル
〔開催日〕2021年5月3日(月・祝)
〔会場〕黒崎びびしんホール 大ホール
〔出演者・スタッフ等〕70人
〔来場者〕120人
〔WEB〕5,536回(YouTube)



紙芝居のチカラ

世界に類を見ない日本の紙芝居文化を広めるため、ピーマンみもと先生、遠山昭雄先生などによる紙芝居上映のワークショップ、本市在住の絵本作家・木版画家の山福朱実さんとギタリストの末森樹さんのデュオによる語り「水はみどろの宮(石牟礼道子著)」などを楽しんでいただきました。



〔主催〕瀬尾寿巳雄
〔開催日〕2021年5月8日(土)
〔会場〕旧古河鉱業若松ビル
〔来場者〕45人



フリーペーパー「さらくらのふもとにて」 発行事業

八幡東区にて個店を営んでいる人や、文化・芸術を発信している魅力的な人又は場所を一冊のフリーペーパーにまとめ、北九州の魅力や八幡東区から発信します。北九州内外の様々な場所に置いていただきこれからも人の手から手へ広がり続けます。

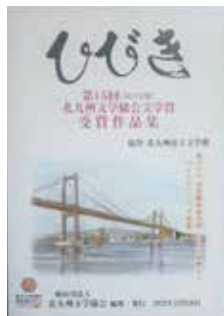


〔主催〕佐野美智子
〔開催日〕発行:2021年4月 配布:2021年6月
〔会場〕※冊子配布
〔その他〕16店(掲載店)



北九州文学協会文学賞第15回記念

北九州文学協会の主催する「北九州文学賞」において、「東アジア文化都市」開催を記念し、特別賞を設定。部門ごとに広く全国から作品を公募し、入賞作品集を発行しました。



〔主催〕(一社)北九州文学協会
〔開催日〕2021年6月15日(火)～8月15日(日)
〔会場〕※誌上開催
〔出演者・スタッフ等〕24人
〔来場者〕284人



明日と結び合う伝統-MIZUHIKI-

日本文化「水引」の伝統技術を駆使しつつ、現代のテイストを加味した新しい水引作品の社中展です。地元北九州市での開催ということで、市花ひまわりや戸畑提灯大山笠をモチーフにした大作を展示し、日中韓英の解説も付け、北九州の文化の理解を深めていただきました。アンケート調査にも多数ご協力頂き、伝統文化の未来に繋がるパワーとヒントを頂戴致しました。



〔主催〕水引道結心胡子流 弥都波の会
〔開催日〕2021年7月14日(水)～20日(火)
〔会場〕北九州芸術劇場 市民ギャラリー
〔出演者・スタッフ等〕18人
〔来場者〕480人

第13回 夢追いJAZZコンサート～人をつなぐ 未来をつなぐ 音楽でつなぐ月～

ビッグバンドのジャズと和太鼓とのコラボによるジャズの2部構成により、東アジア文化都市行事として開催しました。特に、今年はコロナ禍の開催であり、来場者には様々な制限を課しましたが、整然と秩序を保ちJAZZを楽しんでいただきました。渾身の演奏に取り組んだ奏者に拍手は鳴りやみませんでした。



〔主催〕夢追いコンサート実行委員会
〔開催日〕2021年7月18日(日)
〔会場〕北九州芸術劇場 大ホール
〔出演者・スタッフ等〕66人
〔来場者〕565人

祝前進座九十周年+北九州市民劇場 特別公演

創立90周年の劇団前進座を迎え、広く市民の皆さんに観ていただくことで舞台芸術への関心を高めたいとの思いで実施しました。

演目

- ・松本清張朗読劇シリーズ『或る「小倉日記」伝』
- ・『歌舞伎ことはじめ』



〔主催〕北九州市民劇場
〔開催日〕2021年8月11日(水)
〔会場〕北九州芸術劇場 中劇場
〔出演者・スタッフ等〕12人
〔来場者〕835人

「東アジア文化都市北九州2020▶21」指定記念能楽とアジア芸能交流大会

「東アジア文化都市北九州2020▶21」の指定記念として、能楽大会を開催。能・狂言の上演だけでなく、子どもや留学生による仕舞や狂言の上演や中国・ベトナム・モンゴルなどの伝統芸能公演、能楽の世界を紹介する展示などを実施しました。



〔主催〕北九州能楽連盟
〔開催日〕2021年8月21日(土)
〔会場〕レディスやはた
〔出演者・スタッフ等〕108人
〔来場者〕55人

やはたアートフォレスト2021～パレットの樹～

2018年にスタートした本事業は、日頃から八幡東区内の様々なエリアで地域振興等に注力する芸産官学民組織が連携し、“誰もがみんな、アーティスト”をコンセプトとした市民の文化交流のきっかけとなるアートイベントを区内各所で展開しました。



〔主催〕やはたアートフォレスト実行委員会
〔開催日〕2021年9月1日(水)～11月28日(日)(※「緊急事態宣言」が発令されたため、9月中は開催を中止。)
〔会場〕八幡東区内各所
〔出演者・スタッフ等〕30人
〔来場者〕300人





wonder Japanese culture ～日本文化を体験し、知り、深める～

日本在住の外国人の方に日本の民族衣装である着物や、甲冑等の着付け体験、日本舞踊体験を通して日本民族文化を味わっていただきました。甲冑体験では、それぞれ好きな武将の甲冑を来てもらい、写真撮影を行ったり、着物を着て町中を練り歩いたり、新型コロナウイルス感染症に関する制約がかかる中、日本文化を体験していただきました。



〔主催〕黒田二十四騎保存会
〔開催日〕2021年9月～12月
〔会場〕小倉・黒崎付近
〔出演者・スタッフ等〕40人



「東アジア文化都市北九州2020▶21」 開催記念 日中書の祭典

「東アジア文化都市北九州2020▶21」の開催を記念して、同じ漢字文化圏である日本と中国の書家による展覧会の開催と時代を担う若い世代の書道交流に取り組み、書道をととした国際文化交流を図るとともに、北九州市の書道文化の発展を期待して「日中書の祭典」を開催しました。

①第26回呉昌碩先生生誕祭、花房小・昌碩小友好校作品交換式②呉昌碩嫡孫呉民先生生書画展③第4回昌碩小学書画作品展



〔主催〕北九書の祭典委員会
〔開催日〕①2021年9月11日(土)
②2021年9月8日(水)～12日(日)
③2021年12月2日(木)～5日(日)
〔会場〕①頓田貯水池 呉昌碩先生胸像前
②③北九州市立美術館 アネックス
〔出演者・スタッフ等〕114人
〔来場者〕1,300人(内訳①100名②400名③800名)



第6回北九州つながり寄席 ～きく磨・いちか・文太三人会～

アジアの方に伝統芸能である「落語と講談」をオール北九州市出身の落語家(林家きく磨師匠・橘家文太さん)と講談師(田辺いちかさん)による寄席形式(生のお囃子と太鼓は田村かよ師匠社中)で開催しました。



〔主催〕つながり寄席
〔開催日〕2021年9月19日(日)
〔会場〕高見神社(八幡東区)
〔出演者・スタッフ等〕14人
〔来場者〕92人



みんなであうコンサート

小さな子供から高齢者まで、皆が楽しめる楽曲を独唱や合唱で歌いました。コロナ禍でしたが、出演者もお客さまも共にマスク着用で歌い、久しぶりの音楽に浸ることができたと喜んでいただきました。



〔主催〕宮崎希世子
〔開催日〕2021年9月23日(木・祝)
〔会場〕ウェルとばた 中ホール
〔来場者〕80人



ベラミ万博

ご来場いただいた皆さんに、『資料展』『写真展』『スケッチ展』『映像展』を開催しました。無名のアーティストの存在を知っていただき、密にならず、自由に楽しんでいただけたのではないかと思います。

<https://youtu.be/FI1pyAPdAAI> 当日の様子をご覧ください。



〔主催〕Hoshisora Film
〔開催日〕2021年9月26日(日)
〔会場〕ベラミ山荘(若松区)
〔出演者・スタッフ等〕4人
〔来場者〕23人
〔WEB〕593回(Instagram, YouTube)



「YOUTOPEER(ゆうとぴあ)」～こちらつながり研究所～

年齢の異なる19名の出演者たちが、コロナ禍でのワークショップを経て、～2年前は確かにそこにあった「つながり」について研究発表を行う～というオリジナル作品に出演。コロナ禍ならではの工夫を組み込みながら、コロナ前・コロナ禍・コロナ後を思い描きながら、芝居や踊りで表現しました。



〔主催〕ダンスゲキダン-i-wol
〔開催日〕2021年10月9日(土)
〔会場〕北九州市立こどもの館
〔出演者・スタッフ等〕19人
〔来場者〕63人



中国民族コンサートの実施事業

中国大連市と北九州市の国際文化交流を行う目的で、来日し演奏する予定でしたが、コロナ禍で来日できなくなった中国民俗音楽芸能団の北九州市民のための演奏を中国で録画し、その映像を一般の市民も視聴できるイベントとして実施し、北九州市民と中国の文化との交流の促進に寄与しました。



〔主催〕(特非)北九州市大連交流協会
〔開催日〕2021年10月15日(金)
〔会場〕※YouTube配信
〔出演者・スタッフ等〕12人
〔WEB〕130回(YouTube)



お気に入りのブックカバーに出逢う・京町

北九州のクリエイター7名による作品の展示とそれらをブックカバーにして配布する事で、北九州の新たな文化芸術を見つけ、その魅力発信と共にデザイナー育成に繋げ、同サロンにて配布することで、広く「文学の街」北九州の発信と市民への認知拡大の機会とします。

ブックカバーの配布対象は、北九州文学サロンが立地する京町銀天街への来街者をメインターゲットとし、銀天街の各店舗内に本事業を紹介するPOPを掲示するとともに、店舗スタッフによる声掛けにより、本事業への市民の参画を促進し、インバウンドの視点から、外国人対応として、パスポート等確認出来る物の提示でも、ブックカバーを進呈しました(一人1枚)。



〔主催〕京町銀天街協同組合
〔開催日〕2021年10月23日(土)～11月20日(土)
〔会場〕北九州文学サロン
〔来場者〕1,667人





大正琴ひまわりコンサート

日本の伝統文化「大正琴」により、日本の代表的な唱歌や民謡、歌謡曲、韓流ドラマ主題歌、インドネシア民謡するなど、数十曲を演奏しました。また、東アジアとの文化交流として、中国「二胡」、モンゴル「馬頭琴」の演奏も紹介しました。



〔主催〕北九州大正琴文化連盟
〔開催日〕2021年10月29日(金)
〔会場〕ウェルとばた 大ホール
〔出演者・スタッフ等〕103人
〔来場者〕147人



雅楽の夕べ

大陸はシルクロードをルーツとする雅楽は、我が国の伝統音楽となっております。演奏だけの管弦だけでなく3曲の舞楽の舞も披露致しました。2曲は市民が実際舞台を踏み、伝統文化を身近に感じていただけました。



〔主催〕北九州雅楽振興後援会
〔開催日〕2021年10月31日(日)
〔会場〕足立山妙見宮 神楽殿(小倉北区)
〔出演者・スタッフ等〕25人
〔来場者〕250人



まちなかストリートライブ2021with東アジアミュージックフェア

まつり起業祭にあわせてのイベント予定でしたが、まつり起業祭が中止となったため、単独で実施。八幡製鐵所のおひざ元の商店街での賑わい事として、20組のミュージシャンによる演奏を行いました。

※2021年は、官営八幡製鐵所の操業開始120年の節目の年でした。



〔主催〕中央町連絡協議会・結(まちなかストリートライブ実行委員会)
〔開催日〕2021年11月6日(土)、7日(日)
〔会場〕八幡中央区商店街 ふれあい広場
〔出演者・スタッフ等〕94人
〔来場者〕600人



森鷗外「舞姫」の世界とミニコンサート

北九州ゆかりの作家・森鷗外の処女作「舞姫」を平易な現代語で解説し、尺八による和の世界やオリジナル曲を交え、その世界観を空間的に浮かび上がらせる舞台作品を発表しました。



〔主催〕北山会
〔開催日〕2021年11月7日(日)
〔会場〕ケイトミュージックカフェ(小倉北区)
〔出演者・スタッフ等〕7人
〔来場者〕8人
〔WEB〕9回(ツイキャス)



「P・A・L・M 北九州」Life and the Natural environment展 in 水環境館

北九州で活躍中の作家たちによる「生命・自然環境」をテーマとした芸術文化イベントです。作家、写真家、農業家による作品展示と北九州市内幼稚園児たちの制作作品展示。事業開催期間中に講演会を開催しました。講演会では絵本読み聞かせの実演や、農業の未来についてのお話、また、写真家による家族向け写真撮影会を開催しました。



〔主催〕桑木良
〔開催日〕2021年11月8日(月)～12月12日(日)
〔会場〕北九州市水環境館
〔出演者・スタッフ等〕6人
〔来場者〕100人



東アジア文化麺類学会

東アジアが発祥の麺文化を掘り下げるために、講演と麺料理の実演を行いました。「中国料理盛青」の林卓氏と趙佳楠氏、「文化麺類学研究所」所長の田中幹哉氏をお呼びし、巨過市場の食材を使ってそれぞれ刀削麺と大學うどんを作っていただきました。参加者は麺に関するディープな情報を得た後に、実食や他の参加者との交流を楽しんでいました。



〔主催〕大學堂
〔開催日〕2021年11月17日(水)、23日(火・祝)
〔会場〕大學堂(巨過市場内)
〔出演者・スタッフ等〕12人
〔来場者〕27人
〔WEB〕423回



MAP玄関口プロジェクト2021

台湾の作家らと、砂糖をテーマに門司と台湾で調査を行い、映像作品を制作・上映しました。関連イベントとして、台湾と門司の歴史的な関係を学ぶ講演会やアーティスト・トークを行いました。



〔主催〕門司港アート・プラットフォーム
〔開催日〕2021年11月21日(日)
〔会場〕BRICK HALL(門司区)
〔出演者・スタッフ等〕10人
〔来場者〕62人
〔その他〕550回(SNS)



うたのコンサート

日本の歌8曲、海外の愛唱歌の中では東アジア文化都市にちなんで韓国の歌アリラン、ドイツ歌曲、歌・クラリネット・ピアノの三重唱(シュポアー作曲)やクラリネットのソロ、祈りをテーマにアヴェ・マリアなどを披露しました。



〔主催〕室北昌子
〔開催日〕2021年11月21日(日)、28日(日)
〔会場〕北九州芸術劇場 小劇場
キッチンさんらいず(戸畑区)
〔出演者・スタッフ等〕29人
〔来場者〕170人



令和3年「堀川開削着工400周年記念俳句大会～堀川と歩む歴史の一里塚～」

令和3年は、堀川が開削着工され400年の年でした。これを記念し、巡り合う歴史や自然を体験しながら堀川の新たなページを彩る俳句大会を開催しました。堀川吟行句会を皮切りに、堀川に縁の深い折尾地区の高校生参加による初心者俳句教室、11月28日の俳句大会では優秀作品の表彰とともに堀川に関する記念講演会を実施しました。その後、優秀作品はフォト俳句を作成し、堀川の歴史紹介パネルと共にコムシティにおいて展示しました。

- ①堀川吟行句会(俳句愛好者向け)
- ②初心者俳句教室(高校生向け)
- ③俳句大会
- ④フォト俳句&堀川歴史物語展



[主催]八幡西俳句協会
 [開催日]①2021年11月23日(火・祝)
 ②2021年11月27日(土)③2021年11月28日(日)④2021年12月10日(金)～28日(火)
 [会場]①折尾駅～折尾高等学校～吉田車返のみ跡～河守神社～中間唐戸～寿命唐戸～長崎街道木屋瀬宿記念館②折尾高等学校多目的教室③ホテルクラウンパレス北九州サファイアールーム④コムシティ3階黒崎駅側入口付近
 [出演者・スタッフ等]10人
 [来場者]5,093人
 [その他]39回(Instagramのいいね!)



講談・映画にみるアジアの絆(金印～遣唐使～そして未来へ)

東アジアとの交流の証「金印物語」を立体講談で面白おかしく、映画「空海-KU-KAI-」で日中の繋がりをドラマチックに体感し、神田紅の講談「柳原白蓮」で伝統話芸の世界を堪能し、また白蓮と北九州のゆかりも知らしめることができました。



[主催]シネクラブサポート会
 [開催日]2021年11月27日(土)
 [会場]小倉昭和館
 [出演者・スタッフ等]12人
 [来場者]123人



「花鳥風月」による東アジア文化体験講座

古河鉦業若松ビル全館を利用し、2階のホールでは東アジア地域の伝統織物の特徴についての講座、また現地の生産者に出向き選び抜かれた「中国茶」や「台湾茶」の特徴や美味しい淹れ方についての講座を各20分ずつ開きました。実際の中国茶、伝統織物を展示し見たり手にとっていただきました。その後、1階ホールで二胡、ピアノ、尺八についてのコンサートを聞き、楽器の構造や歴史などを説明したり、プロの演奏家による生演奏でのアジア音楽を中心に鑑賞いただきました。

会場全体には東アジア文化の雰囲気を出すため織物や小物などを使って会場装飾したり、生花を飾ることでその香りも楽しんでいただきました。



[主催]花鳥風月
 [開催日]2021年11月28日(日)
 [会場]旧古河鉦業若松ビル
 [出演者・スタッフ等]12人
 [来場者]87人



アルチュール・ランボー 詩と手紙 in 北九州市立美術館

フランスの詩人「アルチュール・ランボー」の詩と手紙を題材にしたアートパフォーマンス作品をアーティスト「花野純子」が北九州市立美術館で実演。

パフォーマンスは撮影し、映像作品として、YouTubeやツイッターで公開中。



[主催]花野組北九州
 [開催日]2021年12月11日(土)
 [会場]北九州市立美術館 アトリウム
 [出演者・スタッフ等]4人
 [来場者]30人
 [WEB]503回(YouTube、Twitter)
 [その他]アーティスト「花野純子」公式サイトで作品詳細を掲載。



親子で楽しむ落語会

日本の伝統文化である落語を生で子どもたちや大人の方々に楽しく伝え、興味を持っていただくためにプロの噺家桂宮治師匠を迎え開催しました。



〔主催〕(特非)古典落語を守る会
〔開催日〕2021年12月12日(日)
〔会場〕北九州芸術劇場 小劇場
〔出演者・スタッフ等〕13人
〔来場者〕50人



琵琶朗読劇 平家物語抄録「波の下の都」 at門司港三宜楼

平家物語の「灌頂巻」を原作に、地元関門エリアのシーンや人物描写を丁寧に描いたオリジナル琵琶朗読劇 平家物語抄録「波の下の都」を2年半ぶりに上演。またネット同時配信も販売して全国から感動の声が寄せられました。



〔主催〕関門時間旅行事務局
〔開催日〕2021年12月19日(日)
〔会場〕三宜楼 百畳間(門司区)
〔出演者・スタッフ等〕12人
〔来場者〕69人
〔WEB〕47回
〔その他〕Zoomで双方向配信。生ライブは常時20名ほど、アーカイブではVimeoにアップロード。



昔と今をつなぎ、日本と世界に伝統文化 を伝える無声映画の活動弁士付き上映

忠臣蔵の物語、名匠溝口監督の作品、東アジア文化都市にちなんだ作品、洋画など様々な無声映画を活弁士の語りと楽士の三味線の音色と歌声で楽しみ、日本の伝統話芸の世界を堪能。

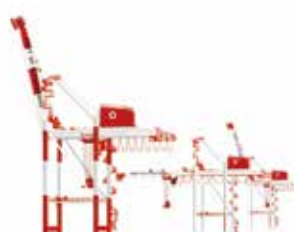


〔主催〕シネクラブサポート会
〔開催日〕2021年12月19日(日)
〔会場〕小倉昭和館
〔出演者・スタッフ等〕8人
〔来場者〕105人



私たちの住むECOとARTの街、北九州 「東アジア文化都市北九州2020▶21」 日常を切り取ってARTにしよう

A Study of 北九州(北九州の習作)
北九州の景色をモチーフにワークブックを制作。日常のなかから見つける/見立てるといったARTの視点に触れる機会を提供する目的。ワークブックは、子ども食堂の団体を通して無料配布しました。



〔主催〕nuritashi
〔開催日〕2021年12月発行、配布ブックの作成
〔会場〕※冊子配布
〔その他〕300部(発行部数)



北九州朗読フェスティバル

北九州在住者を中心として朗読活動を行っているメンバーが日替わりで出演する朗読イベント。朗読を通じて文学に触れることを目的とし、師走の慌ただしい時期ではあったが朗読のすばらしさを来場者に伝えることができました。



〔主催〕北九州朗読同好会
〔開催日〕2021年12月22日(水)～26日(日)
〔会場〕北九州市立文学館
〔出演者・スタッフ等〕20人
〔来場者〕93人



北九州カルチャーデイズ_UPDATE_KITAKYUSHU

「つなげる、つくる、とどける」をテーマに、小倉の複数のイベント&カルチャースポットが協働して、音楽やアート、マルシェ、ワークショップなどを全8会場にて同時多発的に開催しました。



〔主催〕UPDATE KITAKYUSHU 推進協議会
〔開催日〕2021年12月26日(日)
〔会場〕メガヘルツほか全8会場
〔出演者・スタッフ等〕60人
〔来場者〕400人



アジアと火をテーマとした音楽・ダンス・アートの映像作品

人がひとを想う気持ちを「火」、「光」に乗せた映像作品を制作しました。東アジアの文化を音楽・アート・ダンスと多方面から表現することができました。動画はYouTube (<https://www.youtube.com/watch?v=y405b9ltD-Mg>)で公開しています。



〔主催〕西山恭子
〔開催日〕2021年12月公開
〔会場〕※YouTube公開
〔出演者・スタッフ等〕2人
〔WEB〕17回(YouTube)



★コロナで開催をあきらめようと思いましたが、支援があったので開催に踏み切ることができました。

★コロナの影響があったものの、予定どおり実施することが出来ました。補助金のお陰で、内容を充実することができ、多くの方に喜んでもらえました。

新型コロナの影響等により、中止となったパートナーシップ事業 —— 【発信プログラム】



時代を超え、国境を越えて繋がる
うたう街、つむぐ音、響きある心ー《歓喜の歌》演奏会

日中韓のソリストを招いた地元楽団の演奏会

〔主催〕北九州グランフィルハーモニー管弦楽団
〔開催日〕2020年4月29日(水・祝)
〔会場〕北九州ソレイユホール



野鳥と芸術がつなぎ創造する「住みよいまち」づくり～スラバヤ市と
北九州市の環境・芸術グリーンネットワークのための種まき～

スラバヤ市からアーティストを招聘し、作品の制作・展示。ワークショップの開催等

〔主催〕北九州ビオトープネットワーク研究会
〔開催日〕2020年6月～9月
〔会場〕響灘ビオトープ(若松区)



北九州市民映画祭～アジアの空
(Kitakyushu citizens screening asian movies festival)

市内映画館を中心とした各所でアジア映画の特集上映や映画監督を招いてのトークショー等

〔主催〕北九州しねま研究会
〔開催日〕2020年10月～11月
〔会場〕市内各所



音と舞で紡ぐアジアの絆

アジアの音楽舞踊公演やワークショップ、伝統料理紹介などの複合企画

〔主催〕(社福)北九州市社会福祉協議会
〔開催日〕2020年11月2日(月)、3日(火・祝)
〔会場〕ウェルとばた



北九州市大学生演劇合同公演

市内大学演劇部の学生による演劇の制作・上演。大学演劇部のネットワークを構築する。

〔主催〕北九州市大学生演劇ネットワーク準備委員会
〔開催日〕2020年12月1日(火)
〔会場〕黒崎ひびしんホール 中ホール



北九州48映画コンペティション

国内外の映画制作者を対象に48時間で北九州にまつわる映画を作成するコンペティションを開催。作品は市内で上映するとともに、YouTubeにも掲載し、北九州のPRにつなげる。

〔主催〕K48 Organization Group
〔開催日〕2021年9月17日(金)～19日(日)
〔会場〕BRICK HALL(門司区)または小倉昭和館



渡辺知子一座♪生命が光る／あたり前の奇跡

美術や文化を通じて、街に住む人達と合馬地区の人たちがつながっていく様子を発信する。

〔主催〕渡辺知子
〔開催日〕2021年9月17日(金)～30日(木)
〔会場〕ウェルとばた 大ホール



ライブシアター2021「白象くんがやってきた」

市民参加でつくる演劇上演。タイの民族舞踊やインドネシアのガムラン演奏などを取り入れ実施

〔主催〕白象くんがやって来た実行委員会
〔開催日〕2021年11月14日(日)
〔会場〕黒崎ひびしんホール 大ホール

新型コロナの影響等により、中止となったパートナーシップ事業 —— 【参加プログラム】



地域活性化まちなかかがやき作品展

商店街等での障害者アートの展示

〔主催〕(公財)北九州市身体障害者福祉協会

〔開催日〕2020年6月～7月

〔会場〕きくわか通り 等(小倉南区)



演劇公演『エピソードII』

東アジアの文化を織り込んだ観客参加型の演劇上演

〔主催〕エピソード開催委員会

〔開催日〕2020年4月18日(土)

〔会場〕BRICK HALL(門司区)



音楽の絆 ～第5回北九州市ジュニアOBオーケストラ演奏会～

北九州市ジュニアオーケストラOBと、留学生などによるコンサート

〔主催〕北九州市ジュニアOBオーケストラ

〔開催日〕2020年5月5日(火・祝)→

2021年5月4日(火・祝)

〔会場〕ウェルとばた 大ホール



ハープレンズ森ん子結成20周年コンサート～アジアの楽器の可能性を世界に広げよう～

大正琴・文化箏と二胡によるコンサート

〔主催〕ハープレンズ森ん子

〔開催日〕2020年5月23日(土)

〔会場〕ウェルとばた 大ホール



留学生による男茶会～チーム茶道2020～「宇宙由来の雨」

留学生による茶会の開催

〔主催〕NPO法人 学研都市留学生支援ネットワーク

〔開催日〕2020年6月21日(日)

〔会場〕小倉庭園



愉快的仲間たちコンサート

音楽とダンスを専門に活動するメンバーによるコンサート。日本やアジアの音楽を中心としたプログラム

〔主催〕松本優哉

〔開催日〕2020年7月1日(水)～12月31日(木)

〔会場〕各区市民センター1か所(予定)



東アジア文化交流会

アジア各国の民間団体による舞踊公演、楽器演奏や民族衣装の試着体験

〔主催〕北九州アジア悠友会(北九州アジア倶楽部)

〔開催日〕2020年8月1日(土)

〔会場〕八幡東区JICA体育館又は小倉北区ムーブ練習場



第11回学生平和太鼓フェスティバル

学生による小倉祇園太鼓や韓国の伝統楽器、沖縄エイサーなどの演舞。来場者とともに音楽の力で平和について再考する。

〔主催〕太鼓と平和を考える学生連絡協議会

〔開催日〕2020年8月9日(日)

〔会場〕紫江's前水上ステージ



大里赤煉瓦縁日2020

大里赤煉瓦縁日への豊前神楽の招聘

〔主催〕NPO法人 門司赤煉瓦倶楽部

〔開催日〕2020年8月22日(土)、29日(土)

〔会場〕赤煉瓦プレイス 交流館(門司区)

新型コロナの影響等により、中止となったパートナーシップ事業——【参加プログラム】(つづき)



広い河の岸辺コンサート

ケーナやハープのコンサート。アジアや世界の音楽をテーマに開催

〔主催〕広い河の岸辺コンサート実行委員会

〔開催日〕2020年8月23日(日)

〔会場〕北九州市立子どもの館 子どもホール



北九州フルートアンサンブルコンサート～ヤオヤオ・リウ氏を迎えて

中国のフルート奏者を招いてのコンサート

〔主催〕北九州フルートアンサンブル

〔開催日〕2020年8月30日(日)

〔会場〕旧大連航路上屋 ホール



大体2mm「中庭の迷子」

高校演劇部員へのリーチを目的とした演劇上演

〔主催〕大体2mm

〔開催日〕2020年9月1日(火)

〔会場〕枝光本町商店街アイアンシアター(八幡東区)



劇団言魂九州ツアー 北九州公演

九州戯曲賞を受賞した地元若手劇団によるオリジナル作品の上演

〔主催〕劇団言魂

〔開催日〕2020年9月5日(土)、6日(日)

〔会場〕枝光本町商店街アイアンシアター(八幡東区)



北九州スカイランタンフェスティバル

風船とLEDライトを用いたスカイランタンを打ち上げるフェスティバル

〔主催〕(一社)門司港まちの情報センター

〔開催日〕2020年9月21日(月・祝)、22日(火・祝)

〔会場〕門司港レトロ 親水緑地



第8回 東田サステナブル国際会議～サステナブル社会に貢献する芸術を楽しく体験～

海外の専門家や市内・海外の学生によるディスカッションや交流。SDGsに貢献するアート・芸術をテーマにした国際会議の開催

〔主催〕東田サステナブル国際会議実行委員会

〔開催日〕2020年10月24日(土)、25日(日)

〔会場〕北九州市環境ミュージアム及び周辺施設



二番目の庭#019「大選挙」

観客参加型の選挙ゲームを取り入れた演劇公演

〔主催〕二番目の庭

〔開催日〕2020年10月30日(金)～11月1日(日)

〔会場〕小倉北区施設



北九州ミケランジェロの会第5回M展 異色美術家7名の個性

地元アーティストによる現代アートを中心とした展示、シンポジウムの開催

〔主催〕北九州ミケランジェロの会

〔開催日〕2020年11月1日(日)～15日(日)

〔会場〕d³ Gallery(小倉北区)



東アジア2020「絆」コンサート

北九州市で活動する作詞作曲家・演奏家等によるオリジナル作品の演奏・朗読及び参加者との地元の歌の合唱を行う。また、中国・韓国の音楽曲目の演奏紹介を行う。

〔主催〕詩・童謡を愛する会

〔開催日〕2020年11月21日(土)

〔会場〕黒崎ひびしんホール 中ホール



Japanese Musical「僧清虚PriestSeikyo」
没後170年公演(仮)

部埼灯台が建てられる以前の江戸時代後期、岬に火を燈し多くの船を救った僧清虚の史実を音楽劇で上演

[主催] 偉人「僧清虚」没後170年プロジェクト
[開催日] 2020年12月1日(火)
[会場] 三宣楼(門司区)



2020朝韓日中文化芸術公演「TOPPA!!」

東アジアの平和と共生をテーマに在日コリアン、韓国人、日本人、中国朝鮮族と一緒に企画制作するコンサートの実施

[主催] 福岡朝鮮歌舞団
[開催日] 2020年12月22日(火)
[会場] 北九州芸術劇場 中劇場



無形文化遺産 『狂言へのお誘い』

無形文化遺産の狂言(能楽)を広く普及啓発するため、五世茂山忠三郎並び重要無形文化財保持者の河原康生ほか能楽協会会員による「口真似」「仏師」「武悪」の三曲を上演するとともに市内小中高生や社会人による狂言や小舞の上演

[主催] 北九州狂言愛好会
[開催日] 2021年5月16日(日)
[会場] ウェルとばた 大ホール



第75回北九州合唱祭

市内の様々な合唱団が一堂に会し、それぞれの特色を生かした演奏を行う。

[主催] 福岡県合唱連盟北九州支部
[開催日] 2021年6月6日(日)
[会場] 北九州市立響ホール



マンドリンコンサート「東アジアの風」
～フェッロ・マンドリーノ北九州 第78回定期演奏会～

東アジアの楽曲で選曲したマンドリンコンサート。市民からも奏者を公募

[主催] フェッロ・マンドリーノ北九州
[開催日] 2021年9月19日(日)
[会場] ウェルとばた 大ホール



日・韓交流展「玄海の窓」

日韓の作家による絵画を主とした作品展を開催し、相互理解促進や、交流を図る。

[主催] 日・韓交流展「玄海の窓」
[開催日] 2021年9月22日(水)～28日(火)
[会場] 北九州芸術劇場 市民ギャラリー



石川晃・長哲也 フレンドリーファゴットコンサート

北九州市近郊のプロ・アマ・学生の参加を呼び掛けるファゴットアンサンブルのコンサート

[主催] 音楽復興プロジェクトKUROKa-Wa
[開催日] 2021年11月20日(土)
[会場] 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

IV-11 フレンドシップ事業

北九州市内全体で開催機運を盛り上げるため、事業の冠付けやロゴマークの使用にご協力いただける取り組みを募集しました。

対象事業

- (1)対象期間 2020年3月1日(日)から2021年12月31日(金)まで
 (2)対象事業 次のいずれかに該当する事業
- ・北九州市内に拠点を有する法人またはこれに準ずる団体(任意団体を含む。一定の規約を有し、代表者が明らかである団体)が実施する事業
 - ・北九州市の後援を受けている事業
 - ・連携中枢都市圏「北九州都市圏域」で開催される文化芸術事業で、自治体が主催又は共催する事業

募集期間

2021年11月末まで随時受付

認定件数

認定19件(内、新型コロナの影響により8件中止)

ロゴマーク



第2回 小倉城竹あかり

[主催]小倉城竹あかり実行委員会
 [開催日]2020年10月31日(土)~11月3日(火・祝)
 [会場]小倉城等
 [来場者数]9,704人



関門海峡キャンドルナイト

〔主催〕(一社)門司港まちの情報センター
 〔開催日〕2020年11月21日(土)～23日(月・祝)
 〔会場〕門司港レトロ親水広場、大連友好記念館等
 〔来場者数〕30,000人



焼かないれんがのものがたり

〔主催〕(特非)北九州市の文化財を守る会
 〔開催日〕2021年1月17日(日)～2月6日(土)
 〔会場〕旧百三十銀行ギャラリー(八幡東区)
 〔来場者数〕202人



公開講座「ミュージアムの舞台裏:マンガ原画保存の最前線」

〔主催〕北九大文化資源調査隊(北九州市立大学文学部)
 〔開催日〕2021年1月20日(水)
 〔会場〕※オンライン開催(Zoom)
 〔来場者数〕84人
 〔その他〕Zoomによる公開講座



ムーブフェスタ2021

〔主催〕ムーブフェスタ2021実行委員会
 〔開催日〕2021年7月3日(土)～24日(土)
 〔会場〕北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
 〔来場者数〕29,088人





キッズチャレンジエキスポ×伝統文化「歌舞伎のおしごと体験」

〔主催〕(一財)仁泉指導会
 〔開催日〕2021年7月24日(土)～25日(日)、8月21日(土)～22日(日)
 〔会場〕北九州市ユースステーション(八幡西区)、菅原神社(小倉北区)
 〔来場者数〕58人
 〔WEB〕398人(Zoom、YouTube)
 ※新型コロナの影響等により、菅原神社はオンライン開催のみ



皿倉山サタデーナイトライブ

〔主催〕皿倉登山鉄道(株)
 〔開催日〕2021年9月4日(土)～10月30日(土)※毎週土曜日9日間
 〔会場〕皿倉山展望台2階ラウンジ
 〔来場者数〕992人
 〔その他〕9月は新型コロナの影響により中止



「杉田久女没後75年・久女の句を書く」大塚婉嬢書作展

〔主催〕大塚婉嬢
 〔開催日〕2021年10月27日(水)～11月1日(月)
 〔会場〕ボイスアート画廊部(小倉北区)
 〔来場者数〕150人



世界平和パゴダ登録有形文化財認定記念 関門海峡合唱団「平和と祈りの合唱コンサート」

〔主催〕牟田裕
 〔開催日〕2021年11月3日(水・祝)
 〔会場〕世界平和パゴダ(門司区)
 〔来場者数〕50人



ムーブ映画祭

[主催] 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
 [開催日] 2021年12月4日(土)
 [会場] 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ(小倉北区)
 [来場者数] 191人



公開講座「川が育てた豊かな文化ー紫川とここにいる私ー」

[主催] 北九大文化資源調査隊(北九州市立大学文学部)
 [開催日] 2021年12月15日(水)
 [会場] 北九州市立大学(小倉南区)
 [来場者数] 55人
 [WEB] 65人(ライブ配信視聴)



IV-12 交流事業



オンラインライブペインティング

国境を越える渡り鳥



本市在住の画家・イラストレーター黒田征太郎氏をコーディネーターに迎え、本市竹末小学校、敦煌市南街小学校、揚州市育才小学西区校をオンラインでつなぎ、互いの文化の紹介や渡り鳥をテーマに共同で作品を制作するなどの交流を行いました。

(主催) 東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
(開催日) 2021年11月18日(木)、19日(金)
(会場) 北九州市立竹末小学校
(参加者) 350人



最初に東アジアの人達と手をふったときはとても楽しかったです。住んでいるところは全然ちがっても、楽しいと思う気持ちなどの感情などの感じ方はみんないっしょなのかなと思いました。



オンラインで中国・韓国の小学生とやり取りする様子

黒田さんの絵のこだわり・勉強になったことをいかにして力強そうな鳥の絵をかくことができました！



コーディネーターの黒田征太郎氏

4分以内で鳥の絵を書いて、難しかったけど面白かったです。



絵と音楽は好きなようにやろうぜ！

黒田征太郎さんの、そうぞう力がはば広いと思いました。中国の敦煌、揚州市とクイズをしたり、絵を描いたりしてコロナでも、中国の敦煌と揚州の人と交流して、遠くでも友達になれるもんだな〜と、感じました。それに、言葉が通じなくても仲よくすることができるんだな〜と思いました。



中国とオンラインでつながって、黒田征太郎さんの絵にそって、自由に絵を書きました。中国の人達と勉強するのはとてもきんちょうしてこわかったけれど、手をふったりして仲を深めたりできてとても楽しかったです。黒田さんは、とてもとくちょうてきな絵をかいていてとてもおもしろかったです。シンプルな絵は細い線がかいたり、強いかんじの絵をかくときはふとい線でかかれたりしてて形もさまざまでおもしろかったし勉強になりました。



北九州市立竹末小学校

中国は敦煌市と揚州市は同じ中国の中にあるのに、ぜんぜんちがうんだなあと思いました。学校の広さ、文化などもちがったのでびっくりしました。

同じ物を書くのでも、まったくちがうものになるのを見て、人と人は全然ちがうことを、思った。そして、中国の子どもたちは、とても絵がきれいで、ぼくの比じゃないと、わかった。外国の子どもたちと交流することができてとてもよかった。



敦煌市南街小学校



約3000kmもはなれた人たちとオンライン通信で話せるなんてすごいなと思いました。あと、中国の学校は、日本の何倍もあることがわかりました。



揚州市育才小学西区校

中国の学校は生徒と先生の数がとても多くて、びっくりしました。あと、校庭が広くて、いろいろなスポーツができて楽しそうでした。





写真展「#放課後ダッシュ」

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市

〔開催日〕2021年11月5日(金)～14日(日)

〔会場〕北九州市立美術館分館

〔出演者・スタッフ等〕30人

〔来場者〕765人

直接交流することができない中でも、北九州市の魅力の再発見や中韓の開催都市について知るきっかけを作る取り組みとして、東アジア文化都市の学生や若手フォトグラファーが撮影した写真のほか、Instagramで公募した作品を展示する写真展を開催しました。





日中韓書道篆刻作品展

2020年の東アジア文化都市開催都市である、日本・北九州市、中国・揚州市、韓国・順天市で活躍する書家の作品を展示する巡回書道展を開催しました。

■ 日本・北九州市

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
 〔開催日〕2021年11月26日(金)～30日(火)
 〔会場〕旧大連航路上屋 〔出展者〕75人 〔来場者〕122人



■ 中国・揚州市

〔主催〕揚州市
 〔開催日〕2020年11月20日(金)～28日(土)
 〔会場〕揚州美術館 〔出展者〕75人



■ 韓国・順天市

〔主催〕順天市
 〔開催日〕2021年4月30日(金)～5月16日(日)
 〔会場〕順天湾国際湿地センター 〔出展者〕75人





2020年世界運河都市フォーラム

〔主催〕揚州市、
世界運河歴史文化都市機構(WCCO)
〔開催日〕2020年9月28日(月)
〔会場〕揚州コンベンションセンター

「世界の運河都市における文化観光産業の持続的な繁栄と発展」をテーマに、中国国内及び世界中の運河都市の代表や研究者等が集まり、基調講演や事例共有を行うフォーラムが開催されました。本市からは、動画で市長による本市の環境施策や文化観光施策についてのプレゼンテーションを行いました。



東アジア文化都市図書館連合文献ポスター展

〔主催〕紹興市
〔開催日〕2021年8月4日(水)
〔会場〕紹興博物館

中国の東アジア文化都市と北九州市・韓国の順天市が参加し、各都市の文化のシンボルである図書館が所蔵する文献や作家等を紹介するポスターを展示しました。本市からは、松本清張に関する資料を展示しました。



〔再掲〕「書と文藝」展

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、
北九州市
〔開催日〕2021年8月27日(金)～9月12日(日)
〔会場〕北九州市立美術館分館
〔協力〕北九州市書道連盟、北九書の祭典委員会
〔特別協力〕日中韓三国協力事務局
〔出演者・スタッフ等〕30人
〔来場者数〕1,500人

北九州市で育まれてきた多くの文芸作品を「書」を通して紹介するとともに、東アジア文化都市の参加都市である北九州市、紹興市(中国)、敦煌市(中国)、順天市(韓国)の書家や市民の参加により、日本と中国、韓国の文字による繋がりを、作品・資料・ゆかりのある人物などを介して紹介しました。
(詳細は62ページに掲載)



(東アジア)絵本&オンラインコミックフェスタ

絵本や漫画、イラストなどの作品展示や、似顔絵やアクセサリー作りなどのワークショップ、コンサートなどを楽しめるイベントが開催されました。本市からは、韓国で大変人気のある「銀河鉄道999」の作者・松本零士氏をはじめとした北九州ゆかりの作家の作品の展示や、近年の代表的な日本漫画を単行本で体験できるコーナーの出展を行いました。

(主催) 順천시
(開催日) 2021年10月1日(金)、2日(土)
(会場) 順天グローバルウェプトゥーンセンター周辺
(出展者) 5人



日中韓青少年芸術祭

青少年たちが「Love yourself」というテーマの元に、各国の文化を共有し交流するプログラムが行われました。本市からは則松中学校箏曲部が公演を披露したほか、三か国の青少年約80名が演奏やダンスでコラボレーションする公演に上津役中学校のダンス部が参加しました。

(主催) 順천시
(開催日) 2021年11月6日(土)
(会場) 順天湾生態文化教育院
(出演者・スタッフ等) 45人



東アジア文化都市青少年文化作品展

中国、日本、韓国の4都市合計83名の美術・書道作品をバーチャル美術館に3D展示しました。本市からは、八幡中央高校芸術コース生徒の美術作品及び書塾日月の生徒による書道作品を出展しました。

(主催) 敦煌市
(開催日) 2021年11月20日(土)~2022年5月20日(金)
(会場) オンライン
(出展者) 20人



IV-13 閉幕式典

東アジア文化都市北九州2020▶21 閉幕式典

2年にわたる東アジア文化都市の成果の振り返りや今後の交流につなげる共同宣言、2022年開催都市である大分県への引継式など、東アジア文化都市北九州2020▶21を締めくくる閉幕式典を開催しました。

新型コロナの影響により、紹興市、敦煌市、順天市から行政団や芸能団の来日はできませんでしたが、各都市代表者からはビデオメッセージ、各都市芸能団からは公演映像をいただきました。

式典には多くの市民の方々に参加いただき、オープニングでは書道パフォーマンス『未来永劫』を、フィナーレでは音楽と語りのステージ『秋冬-春夏』を披露しました。

主催者・中韓開催都市挨拶



都倉俊一文化庁長官



胡敏紹興市副市長



朱建軍敦煌市長



許錫順天市長

事業統括



北橋健治北九州市長

日本・次期開催都市 引継式



(左から)北橋健治北九州市長、黒田秀郎大分県副知事

〔主催〕東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市、文化庁
〔開催日〕2021年11月28日(日)
〔会場〕北九州芸術劇場 大ホール
〔出演者・スタッフ等〕281人
〔来場者数〕711人
〔WEB〕5,323(YouTube)



【プログラム】

総合プロデューサー：柴田英紀

司会：田畑竜介、池尻和佳子

オープニング公演

書道パフォーマンス「未来永劫」

出演：福岡県立八幡中央高等学校芸術コース書道部

主催者挨拶

中韓開催都市挨拶

事業総括

共同宣言調印式

文化交流公演

中国・紹興市

「孫悟空、三度白骨夫人与戦う」

中国・敦煌市

「又見敦煌 ～敦煌との再会～」

韓国・順天市

「農楽ノリのパングッ」

「順天ナベツル舞」

「パンソリ：順天歌」

「相思夢」

「花扇舞(ファンソム)」

「天・地・人」

出演：ファンギョンハ芸術団

日本・次期開催都市(大分県) 引継式

文化交流公演

日本・北九州市

地元アーティスト等によるフィナーレステージ「秋冬-春夏」

構成・演出：泊篤志

音楽アドバイザー：関原弘二

出演：

松村秀明(指揮)

中村太地(コンサートマスター)

山口恭子

福岡県立八幡高等学校放送部

認定NPO法人 響ホール室内合奏団

(特非)北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

北九州マリンパオーケストラRIM

北九州音楽協会

北九州市ジュニアオーケストラ

小倉祇園太鼓保存振興会

北九州市少年少女合唱団

北九州市小倉少年少女合唱団

北九州少年合唱隊

その他賛助出演

■ オープニング公演 書道パフォーマンス『未来永劫』



出演者の声

★本来、2つ上の先輩がパフォーマンス（2020年3月28日開幕式典で披露）する予定だったので、私達が出来るのかとても不安でしたが、本番では1番良いパフォーマンスができました。（高校生）

★工夫したことは、すべての墨の濃度を同じにしたことです。一つでも違うと、書いた時の書き具合がバラバラになってしまうからです。（高校生）

★今までで1番の出来で、本番中にも関わらず涙がこみ上げてきました。長い期間をかけて作り上げたものが完成するというのは、私達には初めてでとても達成感を味わうことのできる舞台となりました。（高校生）

★今回のような、たくさんの人と関わることができるようなイベントが、どんどん増えていって欲しいと思いました。（高校生）

■ 中国・韓国 文化交流公演



紹興市公演「孫悟空、三度白骨夫人と戦う」



敦煌市公演「又見敦煌～敦煌との再会～」



順천시公演「ファンギョンハ芸術団による公演」

■ 日本 文化交流公演 北九州市公演 地元アーティスト等によるフィナーレステージ『秋冬-春夏』



【冒頭】シベリウス ヴァイオリン協奏曲より



【秋】坂本龍一『シェルタリング スカイ』



【冬】スヴィリドフ『吹雪』より〈トロイカ〉《婚礼の儀式》



【春】シュトラウス『春の声』



語り



小倉祇園太鼓



【夏】『歓喜の歌-世界はふたたび手を携える-』ベートーヴェン 交響曲第9番より



カーテンコール

出演者の声

★カーテンコールの時にお客様の笑顔を見てとてもうれしかったです。うれしさと達成感で胸一杯でした。(高校生)

★プロの方々と共演はたくさんの驚きや発見があって新鮮でした。(高校生)

★久しぶりにマスクなしで歌えて最高に気持ちよかったです。(高校生)

★慣れないドイツ語でしたが、Zoomでのオンライン練習での音とりを重ねていったことを活かし、バスの方々と良いハーモニーを奏でることができたと感じました。(中学生)

★みんなといっしょに歌って楽しかったです。もっとがっしょうの友だちがほしいです。(小学生)

★生まれ育った北九州がとても誇らしく思えました。(高校生)

来場者の声

★閉幕式典ですがオープニングでの書道パフォーマンスはエネルギーを感じてすばしかったです。

★久しぶりの生の3時間、大満足でした。

★語りの「音楽は聞くもの」ではなく「観て感じるもの」という言葉、とても良かったです。久しぶりに楽しめました。

★コロナが発生して以降、自分が動くことで、病気を広めてはいけないと思い、動かないことが善となり、すっかり塞ぎこんでいました。懸命に準備してきた所属団の演奏会も次々に中止になり、やる気が落ちました。今回はそんな辛い思いをしてきたのは自分だけではないのだとわかり、それが涙になりました。閉幕式典ではありましたが、気持ちの上では今までがリセットされて、文化を盛り上げていくスタートになったと思います。文化都市の交流ですが、自分達の住んでいる土地の文化を改めて見直す機会になりました。



中国・紹興市 閉幕式典

〔開催日〕2021年12月7日(火) 〔会場〕紹興大劇院

東アジア文化都市紹興のフィナーレとなる閉幕式典が開催されました。式典では政府関係者等の挨拶のほか、日中韓の開催都市代表からの祝辞、紹興市を代表する舞台芸術である紹劇の公演が行われました。



中国・敦煌市 閉幕式典

〔開催日〕2022年3月8日(火) 〔会場〕飛天劇院

東アジア文化都市敦煌のフィナーレとなる閉幕式典が開催されました。政府関係者等からの祝辞や文化交流公演などが行われました。本市からは、市長による祝辞動画や響ホール室内合奏団による公演動画を配信しました。



韓国・順천시 閉幕式典

〔開催日〕2021年11月19日(金) 〔会場〕順天部邑城南門広場

2021東アジア文化都市順天、190日間の集大成となる閉幕式典が開催されました。今後も交流を継続していこうという意思を込め、韓国や順천시を代表するアーティストの公演や文化交流公演などが行われました。本市からは、市長による祝辞動画や市内で撮影されたプロモーションビデオの放送を行いました。



IV-14 共同宣言

2021年11月28日(日)に開催した「東アジア文化都市北九州2020▶21閉幕式典」で共同宣言調印式を行いました。日本・北九州市、中国・紹興市及び敦煌市、韓国・順天市の4都市において1年間で得られた成果や知見、経験を共有し、今後の継続的な交流の促進や連携、東アジアの文化の国際発信力の強化などに関する「東アジア文化都市2021共同宣言」を採択しました。



(左から)朱建軍敦煌市長、北橋健治北九州市長、許錫順天市長



東アジア文化都市2021共同宣言

日本国北九州市、中華人民共和国紹興市、中華人民共和国敦煌市及び大韓民国順天市は、2021年東アジア文化都市として多彩な文化芸術事業を展開するとともに、コロナ禍の中、ウェブを活用した相互交流などにより、互いの文化を理解し、友好の絆を深めてきた。4都市においてこの1年間で得られた成果や知見、経験を共有し、今後の継続的な交流発展に関する議論を通じて、以下の項目について、協力連携して取り組むことを宣言する。

- 1 4都市は、文化・芸術分野における都市間交流、産業・観光等様々な分野における民間レベルによる継続的な交流を促進し、その活性化を図る。
- 2 4都市は、東アジア文化都市発展のため互いの知見や経験を共有し、相互理解を深めるとともに、協力して事業を推進するよう努める。
- 3 4都市は、持続可能な都市の発展を進めるとともに、東アジア文化都市ネットワークの構築、東アジアの文化の国際発信力の強化を図る。

この宣言文は、日本語、中国語、韓国語で各都市分を作成し、いずれも同等の効力を持つ。

2021年11月28日



IV-15 国・CCNJ関連事業



創造都市政策セミナー in 北九州

創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の参加団体(自治体など)を対象に、創造都市の普及・啓発と創造都市を担う人材の育成を目的としたセミナーを北九州市で開催しました。今回は、東アジア文化都市北九州において「SDGs」をテーマに開催する「北九州未来創造芸術祭ART for SDGs」を紹介するとともに、創造都市推進の取り組みを通じたSDGsの実現について、基調講演及びパネルディスカッションによる意見交換を実施しました。

※創造都市ネットワーク日本(Creative City Network of Japan)



北橋健治北九州市長による開会のあいさつ



ART for SDGsディレクター・南條史生氏による基調講演

(主催)北九州市、文化庁、CCNJ
(開催日)2021年3月29日(月)
(会場)北九州国際会議場(オンライン)
(出演者・スタッフ等)10人
(WEB)30人(Zoom)

■ 第12回 日中韓文化大臣会合(2021年東アジア文化都市宣布式)

2021年の日本の東アジア文化都市開催都市である北九州市において、「第12回日中韓文化大臣会合」が開催されました。日中韓3か国の文化担当大臣が文化交流・協力等についてオンラインで意見交換を行いました。会合では、コロナ禍での文化芸術活動の発展・継承を守り抜くとともに、3か国での文化協力事業の推進等について合意し、その成果を盛り込んだ「北九州宣言」が発出されました。そして、2022年の東アジア文化都市開催都市として、大分県(日本)、温州市・済南市(中国)、慶州市(韓国)が選定されました。

また、会合に先立ち、北橋健治北九州市長は萩生田光一文部科学大臣(当時)と面会し、「東アジア文化都市事業が市民の心に残る文化の祭典となるよう、官民一体となって取り組みたい」として協力を求め、国・北九州市が一体となって、東アジア文化都市事業に取り組むことで一致しました。

(主催)文化庁
(開催日)2021年8月30日(月)
(会場)リーガロイヤルホテル小倉 エンパイアルーム
(出演者・スタッフ等)50人
※新型コロナの影響を踏まえ、関係者のみで開催



(左から)中国・日本・韓国



(左から)北橋健治北九州市長、萩生田光一文部科学大臣(当時)

■ 第2回 東アジア文化都市サミット

日中韓の東アジア文化都市の首長が一堂に会し、各都市における取り組みを紹介するとともに、今後の文化交流の促進方策について議論しました。今回は、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、オンラインと会場からの参加の双方を取り入れたハイブリット形式により開催しました。また、オブザーバーとして、ASEAN文化都市や欧州文化首都も参加しました。



〔主催〕文化庁、北九州市、東アジア文化都市北九州実行委員会

〔開催日〕2021年10月25日(月)

〔会場〕北九州国際会議場 国際会議室他

〔出演者・スタッフ等〕80人

〔参加者数〕99人※新型コロナウイルスの影響を踏まえ、関係者のみで開催

■ 日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu

概要

日中韓芸術祭は、日中韓の優れた伝統文化と現代の芸術的発展の成果を紹介することを目的に、芸術団等の出演による3か国の共同事業として、2014年以降毎年、日中韓文化大臣会合主催国(東アジア文化都市開催都市)で開催されています。2021年度の日中韓芸術祭は日本(北九州市)開催となり、2021年春に開催した「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」からコンセプトを引き継ぎ、メディアアーティストの落合陽一氏の総合演出により、日中韓3か国が共同してバーチャルファッションショーを核とした映像作品を制作しました(2022年3月5日(土)公開)。「デジタル時代に花開く、時空間を超えたパッチワーク」をテーマに、日中韓の装いの土着性や、その文化の根底に流れるサスティナビリティを共通のコンセプトとし、地理的な距離を越えて一つの場に集結している映像作品を制作しました。また、東筑紫学園高等学校服飾専攻の学生がペットボトルで制作した「アート コサージュ」が映像作品の中で使用されています。(詳細は29ページに掲載)



〔主催〕文化庁、北九州市、東アジア文化都市北九州実行委員会

〔特別協力〕中華人民共和国文化・観光部、大韓民国文化体育観光部

〔総合演出〕落合陽一

〔スーパーアドバイザー〕南條史生(北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs総合ディレクター)

〔出演〕

・日本：富永愛、Dulmi (Ayano Dulmi Obata)、Keishan、我妻マリ、マメ山田、Rabu

・中国：曾玲玲(ズンリンリン)、李博文(リーボーウオン)、張伊寧(ツァンインニン)、牟蒙愛(ムーモンアイ)、楊新旭(ヤンシンシュ)

・韓国：수민(スミン)、최현준(チェヒョンジュン)、신현지(シンヒョンジ)、정소현(チョンソヒョン)、김철희(キムソルヒ)、배윤영(ペユンヨン)

〔衣装〕

・日本：YUIMA NAKAZATO、襦袢(アミューズ ミュージアム)、Snow Peak

・中国：楊貝貝

・韓国：VEGANTIGER、C-ZANN E、CARUSO、NOHANT、DEW E DEW E、ULKIN

〔音楽〕ケンモチヒデフミ

〔映像監督・製作〕bird and insect

〔プロデュース〕金森香(一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL)

〔制作〕株式会社NHKプロモーション、株式会社precog

〔制作協力〕株式会社エモハウス

〔機材協賛〕株式会社セイビ堂、

株式会社Life is Style(3D Phantom)

〔小道具協力〕東筑紫学園高等学校服飾専攻

〔会場協力〕北九州市立美術館

関連イベント(日本側映像の展示・収録)

北九州市立美術館本館のアトリウムに最新鋭3Dホログラム映写機「3Dファントム」を設置し、日本側映像によるバーチャルファッションショーのインスタレーションを展示・収録しました。また、総合演出の落合陽一氏や出演モデルの一人である富永愛氏らが集い、オープニングセレモニーやトークショーを開催しました。



オープニングセレモニー(記念撮影)



日本側映像の展示



トークショーの様子
(左から)落合陽一氏、富永愛氏、辰巳清氏

関連イベント(映像作品公開記念トーク)

2022年3月5日(土)に映像作品が公開されたことを記念して、総合演出の落合陽一氏や出演モデルの一人であるDulmi氏によるトークイベントを開催しました。また、イベント内では3Dファントムの実演や完成した映像作品の披露を行いました。

このイベントの様子が完成した映像作品は、東アジア文化都市北九州公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。



(左から)落合陽一氏、金森香氏



(左から)Dulmi氏、落合陽一氏

〔開催日〕2021年10月25日(月)

〔会場〕北九州市立美術館本館 アトリウム他

〔出演者・スタッフ等〕40人

〔来場者数〕50人

※新型コロナの影響を踏まえ、関係者のみで開催
(WEB)5,874回(YouTube)

〔出演〕都倉俊一文化庁長官、北橋健治北九州市長、落合陽一(総合演出)、南條史生(スーパーアドバイザー)、富永愛(モデル)、辰巳清(アミューズミュージアム館長)、中里唯馬(デザイナー)、中村崇之(日本環境設計株式会社「BRING」ブランドデザイナー)、山井梨沙(株式会社スノーピーク代表取締役社長)、東筑紫学園高等学校服飾専攻

〔開催日〕2022年3月6日(日)

〔会場〕北九州市立いのちのたび博物館 ガイド館

〔出演者・スタッフ等〕30人

〔来場者数〕100人

※まん延防止等重点措置等期間のため、収容率50%以内で開催

〔出演〕落合陽一(総合演出)、Dulmi(モデル)、金森香(プロデューサー)



東アジア文化都市北九州
公式YouTubeチャンネル

V 資料

- 1 広報
- 2 実施体制
- 3 事業収支
- 4 評価分析
- 5 事業経過一覧



V-1 広報

事業PRポスター・チラシ

国内選定都市決定ポスター



開催決定ポスター・チラシ



開幕ポスター



2021年秋 ポスター・チラシ



※この他、会期延長ポスターも作成。

基本構想・基本計画

基本構想



基本計画



実施計画



実施計画(改訂版)



※この他、基本計画(概要版)リーフレットも作成。

年間プログラム

2020年春夏版(リーフレット)



2020年秋冬版(チラシ)



2021年秋冬版(リーフレット)



※この他、2021年概要版(チラシ)、2021年春夏版(リーフレット)も作成。

東アジア文化都市北九州 プロモーション映像
(2020年2月17日(月)~2021年12月31日(金))

「人をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズに『北九州市 時と風の博物館』に市民の方々が投稿した写真や、北九州市の見どころを撮影した映像を盛り込みました。これまでのまちの歴史も、未来の北九州市も、人の手によってつくられていくという姿を表現しています。



東アジア文化都市北九州
公式YouTubeチャンネル



関連イベントに参加した著名人が
出演するCM動画も作成しました。



応援大使

(2020年2月15日(土)~2021年12月31日(金))

日本発のキャラクターとして、中国・韓国を含むアジアでの人気が高く、国内外の多くのファンを持つ、株式会社サンリオの「ハローキティ」。北九州マラソン2020EXPOで、そのハローキティを東アジア文化都市北九州の「応援大使」に任命しました。様々なイベントに応援大使として出演するなど、東アジア文化都市北九州と一緒に盛り上げてくれました。



北九州×東アジア 大食覧会 in 門司港でのステージイベント



応援大使任命式(2020年2月15日(土))
(左から)北橋健治北九州市長、ハローキティ

©'22 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L622368

プレスリリース・市長定例記者会見

東アジア文化都市事業に関する話題事項について、適宜メディア向けにプレスリリースするとともに、市長の定例記者会見において定期的に情報発信を行いました。



ノベルティグッズ

東アジア文化都市北九州を広く周知するため、ロゴマークやメインビジュアルを用いたノベルティを制作しました。イベントの来場者へ配布し、日常的に使用してもらうことで、PR効果を高め、認知度向上につなげました。また、コロナ禍ならではの消毒スプレーなども制作しました。



ピンバッジ



クリアフォルダー



消毒スプレー



携帯用ハンドソープ



紙袋

ハローキティ×東アジア文化都市北九州コラボグッズ

東アジア文化都市北九州の応援大使であるハローキティとのコラボグッズを制作し、イベントの来場者や出演者の記念品として配布しました。子どもやファミリー層にも広くPRしました。



ウェットティッシュ



マスク



ピンバッジ



うちわ

©'22 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L622368

その他グッズ等

スタッフや北九州市職員がロゴ入りの封筒や名刺を使用してPRを行ったほか、メインビジュアルが西日本宝くじのデザインにも採用されました。



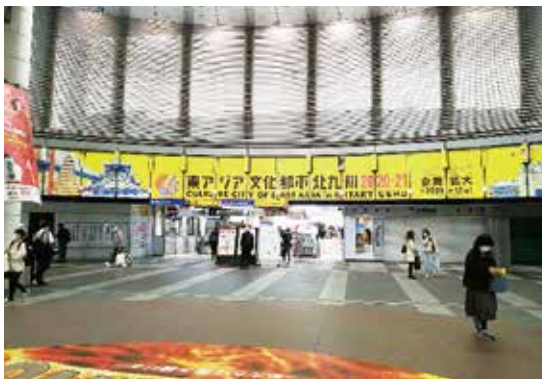
シール広告を作成し、市役所庁舎内や公用車、文化施設等に貼付



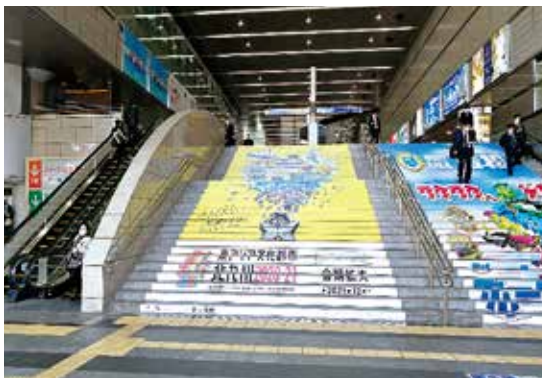
第2346回 西日本宝くじ

屋外広告等

小倉駅改札上(シール)



小倉駅階段(シール)



小倉駅モノレール橋脚(幕)



ミクニワールドスタジアム北九州(横断幕)



黒崎駅ペDESTリアンデッキ(シール)



北九州空港(横断幕)



北九州モノレール(ラッピング)



北九州市営バス・西鉄バス北九州(ラッピング)



北九州市役所壁面(パネル広告)



北九州市立美術館本館(のぼり旗)



西日本シティ銀行街かどギャラリー(展示)



巨過市場(懸垂幕・のぼり旗)



市民センター(のぼり旗)



中央図書館(展示コーナー)



北九州市役所(木製看板)



区役所・文化施設(横断幕)



区役所・文化施設(パネル)



この他、勝山公園(懸垂幕)、魚町銀天街(のぼり旗・懸垂幕・タペストリー・ポスター)、船場広場(テーブル・ベンチ装飾)、北九州市役所(横断幕・エレベータ扉広告)、大型商業施設(ポスター)など、多数実施しました。

ビジョン

東アジア文化都市北九州 プロモーション映像などを市内外の街頭ビジョンにて放映しました。

小倉駅JAM広場



- ◎ リバーウォーク北九州
- ◎ 小倉駅北口 ペDESTリアンデッキ
- ◎ 北九州市役所
- ◎ 博多駅(筑紫口)
- ◎ 各区役所ロビー
- ◎ JR九州各駅 他

小倉駅コンコース



巨過市場



雑誌・新聞等

雑誌や新聞へ、広告や事業を紹介する記事を掲載しました。また市政だより(北九州市の広報紙)では、個別のイベントの案内のほか、表紙特集や連載コラム掲載等によりPRしました。



テレビ

関係者が出演して東アジア文化都市北九州のPRを行いました。

- ◎ふるさとWish (KBC九州朝日放送 2019年9月)
- ◎今日感テレビ (RKB毎日放送 2020年1月26日(日)) 他



トコワカ
(RKB毎日放送 2020年3月14日(土))

北九州市の市政テレビ番組では開催期間中に複数回テーマとして取り上げられました。

- ◎あっぱれ!北九州 (FBS福岡放送 2018年11月25日(日))
- ◎今日の焦点・北九州 (FBS福岡放送 2021年11月21日(日)) 他



今日の焦点・北九州
(FBS福岡放送 2021年4月18日(日))

東アジア文化都市北九州を多くの方により深く知っていただくため、特別番組を制作・放送しました。

- ◎東アジア文化都市2020北九州
(J:COM北九州 2020年3月31日(火))
- ◎未来へのBridge ~東アジア文化都市・北九州の挑戦
(KBC九州朝日放送 2021年11月27日(土)) 他



つながるアジアカルチャー 北九州から世界へ
(テレビ西日本 2021年11月20日(土))

番組内のPRコーナーにスタッフが出演して事業のPRを行いました。

- ◎今日感テレビ伝言板 (RKB毎日放送 2020年2月13日(木))
- ◎アサデス。 (KBC九州朝日 2021年10月29日(金)) 他



タダイマ!
(RKB毎日放送 2021年10月29日(金)~11月26日(金) 毎週1回)

ラジオ

スポットCMの放映のほか、スタッフや関係者が番組に出演して事業のPRを行いました。

- ◎発信!かがやきステーション
(Air Station Hibiki 2020年1月9日(木))
- ◎北橋市長のハートフルトーク
(FM KITAG 2020年3月、9月、2021年4月、11月)
- ◎KITA9PR部のキタナビ!
(CROSS FM 2021年9月19日(日)、11月28日(日)) 他
- ◎My Favorite KITAKYUSHU ワイド
(Air Station Hibiki 2021年11月26日(金)) 他



事業PRイベント



北九州看板娘による街頭PR(2021年8月)



ブース出展の様子(2021年9月 西日本陶磁器フェスタ)



小倉城ライトアップ(2019年7月)



小倉城ライトアップ&ムービングライトショー(2021年11月)



船場広場トリックアート(2021年11月)



街頭サンプリング(小倉駅JAM広場 2021年10月)

● 出前講演

高校、大学、企業、民間団体等を訪問し、事業のPRを行いました。

(一部オンライン)

年度	講演回数
2018	1回
2019	6回
2020	4回
2021	2回

● SNS 講座

市民の皆様へ東アジア文化都市北九州をSNSで大いに盛り上げてもらうため、コピーライターの中村圭氏による講座を開催しました。

〔開催日〕

2019年12月21日(土)

〔会場〕

fabbit北九州

北九州市立大学

(北方キャンパス)

九州女子大学



WEB・SNS

●公式ホームページ

2019年12月17日より公式ホームページを開設し、事業概要や中国・韓国の開催都市の紹介、関連イベントのお知らせや開催報告、中止や延期といった情報を随時掲載し、情報発信を行いました。



東アジア文化都市北九州
公式ホームページ

ページビュー数	240,675回
ニュース	97件
イベント掲載	244件
レポート	51件

(2019年12月17日(火)~2021年12月31日(金))



●SNS (Twitter・Facebook・Instagram)

各種SNSを通じて、イベントのお知らせや開催報告を迅速に発信したほか、北九州市や中国・韓国の開催都市の文化の話題、出演者の生き生きとした表情などをお伝えしました。

SNS	Twitter	Facebook	Instagram
フォロワー	482人	373人	483人
投稿件数	836件	704件	681件
インプレッション	3,424,749回	146,542回	205,206回
エンゲージメント	57,524回	14,086回	18,494回

※全て2019年12月開設

※インプレッション=閲覧回数、エンゲージメント=「いいね」等の反応の回数

(2022年1月18日時点)



● YouTube

公式YouTubeチャンネルでは、プロモーション動画やイベントを紹介する動画のほか、公演のライブ配信や中国・韓国向けに翻訳を加えた動画、「アートでつなぐ未来プロジェクト」の動画公開など、コロナ禍における新しい文化芸術の接触機会の創出や、文化交流につながるコンテンツを多く配信しました。



東アジア文化都市北九州
公式YouTubeチャンネル

公開設定	公開動画本数		再生回数	
	合計	公開中	合計	公開中
総動画本数	207本	191本	353,467回	152,956回
一般の動画	199本	189本	337,042回	149,438回
ライブ配信動画	8本	2本	16,425回	3,518回

(2022年1月18日時点)

市職員による YouTube広報

イベントのPRや出演者へのインタビュー、記録映像など事務局スタッフが自ら動画を制作(撮影・編集)しYouTubeに公開しました。

総制作動画数	18本(一部、公開終了)
総動画再生数	5,098回(2022年3月1日時点)



本因坊戦前日の様子を囲碁好きの市職員がレポート



展示会の見どころを市職員がレポート



制作者・出演者へ見どころを取材



市民参加者へ意込みをインタビュー



小倉城ライトアップの記録映像

フィナーレ・閉幕後

東アジア文化都市事業の軌跡を振り返り、未来につないでいくためのメッセージを
広告、PV等で展開するとともに、事業を振り返るパネル展等を開催しました。

■ ポスター

文化施設等に掲出



■ 新聞広告

ポスターと同じデザインで地元紙に広告を掲載
2021年12月27日(月) 読売新聞
同28日(火) 朝日新聞、毎日新聞、西日本新聞

■ 屋外広告

市役所前看板広告



懸垂幕(巨過市場)



市役所1階ロビー
大型広告



■ 閉幕記念ムービー



東アジア文化都市北九州
公式YouTubeチャンネル

■ 市政だより

参加したアーティストからのメッセージや市民の感想を掲載しました。



■ 未来につなぐパネル展(2022年2月～3月)

- ◎ 関門海峡ミュージアム 4階 プロムナードデッキ
2月1日(火)～28日(月)
- ◎ リバーウォーク北九州 1階 キャニオンウォーク
2月1日(火)～28日(月)
- ◎ 市役所本庁舎 1階 市民ホール
2月1日(火)～3月25日(金)(土日祝除く)
- ◎ サンリブシティ小倉 1階 フェスタコート
2月3日(木)～13日(日)
- ◎ サンリブ若松 1階 催事会場
3月17日(木)～20日(日)
- ◎ イオンモール八幡東 1階 ひまわりの広場
(閉幕記念ムービーなどの放映や記念品なども展示)
3月27日(日)～30日(水)
- ◎ いのちのたび博物館 オープンギャラリー
2月27日(日)～3月6日(日)
(「日中韩芸術祭2021 in Kitakyushu」関連イベントで併催)
- ◎ コムシティ 3階 マーメイド広場
2月1日(火)～28日(月)
- ◎ ウェルとばた 2階 交流プラザ
2月1日(火)～28日(月)



コムシティ会場



サンリブシティ小倉会場

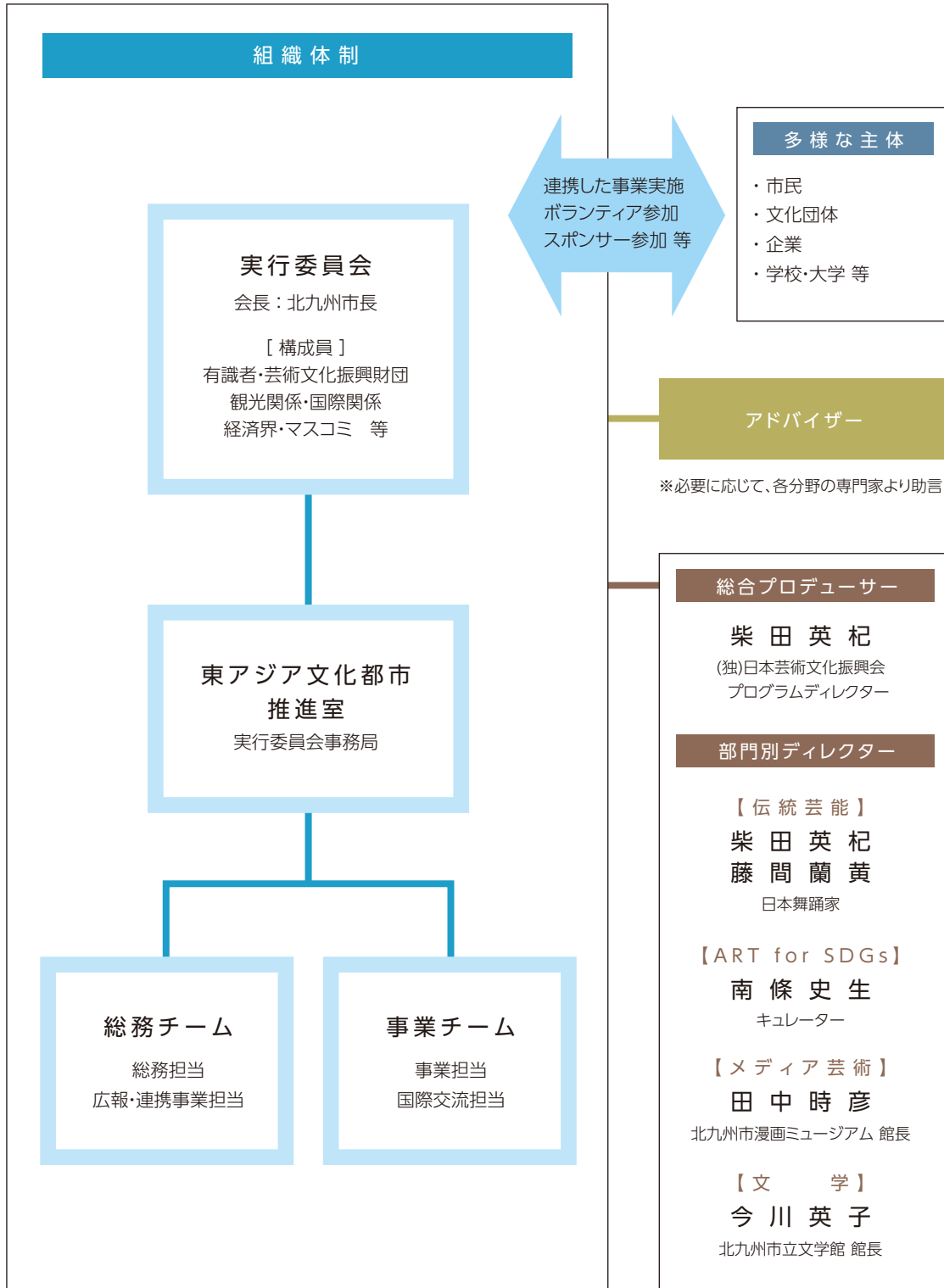


イオンモール八幡東



V-2 実施体制

■ 体制図



■ 実行委員会名簿

◎：会長 ○：副会長

区分	所属・役職等	第1回 (2019.3.27)	第2回 (2019.8.6)	第3回 (2020.1.17)	第4回 書面開催 (2020.5)	第5回 (2020.8.20)	第6回 書面開催 (2021.2)	第7回 書面開催 (2021.5)	第8回 書面開催 (2022.5)
北九州市アーツ ディレクター	北九州文化連盟 顧問				井生 定巳				
	北九州市立文学館 館長				今川 英子				
	(一社)北九州文学協会 理事長／北九州市顧問				後藤 みな子				
	北九州市立大学 特任教授				○ 近藤 倫明				
芸術文化	(独)日本芸術文化振興会プログラム ディレクター／北九州市顧問				柴田 英紀				
	北九州市立自然史・歴史博物館 館長		上田 恭一郎				伊澤 雅子		
	(公財)北九州市芸術文化振興財団 専務理事	田島 裕美			柴田 邦江				
	(公財)北九州市芸術文化振興財団 理事長								久保山 雅彦
	(公財)北九州市身体障害者福祉協会 理事長				柴田 泰博				
	門司港美術工芸研究所 理事長				城水 悦子				
	北九州市漫画ミュージアム 館長				田中 時彦				
	北九州市民劇場 事務局長				民谷 陽子				
経済	北九州市立美術館 館長			西村 勇晴				後小路 雅弘	
	(一社)北九州青年会議所 理事長	野上 裕貴			小嶋 慶		竹内 陽平		藤井 栄太
	(一社)北九州青年経営者会議 会長		藤田 拓之			堤 一		田代 秀穂	
国際	北九州商工会議所 会頭				利島 康司				津田 純嗣
	(公財)北九州国際交流協会 理事長				高城 壽雄				
観光・交通 まちづくり	(公財)アジア女性交流・研究フォーラム 理事長				堀内 光子				
	東田ミュージアムパーク実行委員会 委員				井上 龍子				
	(公財)北九州観光コンベンション協会 専務理事		柏木 康彦				近藤 晃		
	北九州タクシー協会 会長				田中 亮一郎				
	(公財)日本賃貸住宅管理協会 副会長				濱村 美和				
マスコミ・ 学識経験者	北九州市女性活躍・WLB推進幹事会 委員				吉水 請子				
	西日本リビング新聞社北九州支社 編集長	植田 詩生							
	九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究 センター 所長／北九州市男女共同参画審議会 会長				大島 まな				
	NHK北九州放送局 局長	大木 潤			大曾根 聡子				西東 大
学生	北九州市立大学文学部 教授				田部井 世志子				
	北九州若者会議 代表				木村 紗彩				
福岡県	北九州若者会議 理事			小林 宙夢				宇都宮 一花	
	福岡県人づくり・県民生活部長	重松 典子			山田 信吾			徳永 吉之	
北九州市	北九州市長				◎ 北橋 健治				
	北九州市市民文化スポーツ局長				久保山 雅彦			柏井 宏之	
監事	北九州商工会議所 専務理事				羽田野 隆士				
	北九州市会計室長		石井 佳子		榎尾 美栄子			山本 浩二	

■ 実行委員会 開催実績

2018年8月8日(水)の国内開催都市決定後、東アジア文化都市の開催に向け、市を代表する文化芸術、経済、国際、観光分野等の関係者による芸産学官が連携した実行委員会を立ち上げました。

開催日	場 所	議 題
第1回	2019年3月27日(水) ホテルクラウンパレス小倉 香梅	【実行委員会設立準備会合】 (1)東アジア文化都市2020北九州 実行委員会会則について 【第1回実行委員会】 (1)副会長の選任について (2)監事の選任について (3)東アジア文化都市2020北九州 基本構想について (4)平成31年度事業計画・予算について
第2回	2019年8月6日(火) ホテルクラウンパレス小倉 香梅	(1)東アジア文化都市2020北九州 基本計画の策定について
第3回	2020年1月17日(金) 小倉リーセントホテル 玄海	(1)東アジア文化都市2020北九州 実施計画の策定について
第4回	2020年5月 書面開催	(1)令和元年度 事業報告について (2)令和元年度 決算について (3)令和2年度 事業計画(案)について (4)令和2年度 予算(案)について
第5回	2020年8月20日(木) リーガロイヤルホテル小倉 エンパイアルーム	(1)東アジア文化都市2020北九州 会期の延長について
第6回	2021年2月 書面開催	(1)東アジア文化都市2020北九州実行委員会 会則の改正について (2)東アジア文化都市北九州 実施計画の改訂について
第7回	2021年5月 書面開催	(1)令和2年度 事業報告について (2)令和2年度 決算について (3)令和3年度 事業計画(案)について (4)令和3年度 予算(案)について
第8回	2022年5月 書面開催	(1)事業報告について (2)令和3年度 決算について (3)実行委員会の解散及び会則の廃止について

■ 推進本部会議 開催実績

市内組織としては、北九州市長を本部長、副市長・教育委員会教育長を副本部長、全局区室長を構成員とする「東アジア文化都市推進本部」を設置し、東アジア文化都市2020北九州に向けて全庁的な推進体制を構築しました。

開催日	議 題
第1回	2019年4月5日(金) (1)「東アジア文化都市推進本部」の設置について (2)東アジア文化都市2020北九州 基本構想について
第2回	2019年9月4日(水) (1)東アジア文化都市2020北九州 基本計画の策定について
第3回	2020年1月31日(金) (1)東アジア文化都市2020北九州 実施計画の策定について
第4回	2020年8月25日(火) (1)東アジア文化都市2020北九州 会期の延長について
第5回	2021年2月26日(金) (1)東アジア文化都市北九州2020▶21 実施計画の改訂について

■ 推進本部部会 開催実績

東アジア文化都市推進本部部会として、各関係課長をメンバーとする開催支援部会、機運醸成・レガシー構築部会、インバウンド／シティ・プロモーション部会を設置しました。各関係部署の事業との連携について検討し、東アジア文化都市事業を推進しました。

	開催日	議題
第1回	2019年5月10日(金)	(1)東アジア文化都市推進本部の設置について (2)東アジア文化都市2020北九州 基本構想について (3)プレ・オープニング事業及び連携事業の照会について
第2回	2019年9月26日(木)	(1)東アジア文化都市2020北九州 基本計画の策定について (2)ロゴマークの使用について (3)パートナーシップ事業の公募について
第3回	2020年11月17日(火)	(1)東アジア文化都市北九州の今年度の取組と今後の予定について (2)東アジア文化都市との連携について

■ 実務者会議 開催実績

第11回日中韓文化大臣会合における開催都市の決定後、日本・北九州市、中国・揚州市、韓国・順天市は、開閉幕式典をはじめ、3都市交流事業などの予定や費用負担などを話し合うため、実務者会議を開催しました。3都市が連携し、事業を円滑に推進するため、情報共有や課題検討など行いました。また、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響により、各開催都市での実務者会議は開催できませんでしたが、オンライン等を活用しながら、密に連絡を取り合い、情報共有や交流事業を実施しました。

会議実績	開催日	参加都市	場所	議題
第1回	2019年8月30日(金)	北九州市 揚州市 順天市	韓国仁川広域市	(1)開閉幕式典について (2)交流事業について (3)交流事業実施にかかる費用負担について (4)3か国の伝統楽器を活用した楽団の構成について
第2回	2019年11月28日(木)	北九州市 揚州市 順天市	中国揚州市	(1)開閉幕式典について (2)交流事業について (3)民間文化団体の交流支援について

会議実績	開催日	参加都市	場所	議題
第1回	2019年4月26日(金)	北九州市 順天市	韓国仁川広域市	(1)東アジア文化都市2020北九州の事業について (2)東アジア文化都市2020順天の事業について
第2回	2020年1月15日(水)	北九州市 順天市	日本北九州市	(1)開幕式典について (2)順天市との交流事業について
第3回	2020年1月31日(金)	北九州市 順天市	韓国順天市	(1)開閉幕式典について (2)順天市との交流事業について
第4回	2020年12月17日(木)	北九州市 順天市	オンライン	(1)東アジア文化都市2021の事業について (2)中国開催都市との協議状況について
第5回	2020年12月28日(月)	北九州市 順天市	オンライン	(1)東アジア文化都市2021の事業について (2)中国開催都市との協議状況について
第6回	2021年1月12日(火)	北九州市 順天市	オンライン	(1)東アジア文化都市2021の事業について (2)中国開催都市との協議状況について
第7回	2021年1月25日(月)	北九州市 順天市	オンライン	【市長によるオンライン面談】 (1)新年あいさつ (2)東アジア文化都市事業紹介

V-3 事業収支

■ 収 入

単位：百万円

	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	3カ年度 合計
北九州市負担金 ※一部に文化庁補助金等を活用	154	209	234	598
文化庁委託費	0	42	149	191
福岡県負担金	0	10	0	10
前年度繰越金	—	44	94	138
合 計	154	305	477	937

※各年度の合計額は百万円未満四捨五入
※3カ年度分は各年度合計の後に四捨五入、合計値と一致しない場合がある

■ 支 出

単位：百万円

	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	3カ年度 合計
プレ・オープニング事業、開・閉幕式典、 コア事業、交流事業	55	153	385	594
市民企画事業(パートナーシップ事業)	0	6	23	29
広報運営	46	21	56	123
アーティスト支援	0	27	0	27
管理運営費	9	4	13	26
事業費合計	110	211	477	799
繰越額	44	94	0	138
合 計	154	305	477	937

※各年度の合計額は百万円未満四捨五入
※3カ年度分は、合計後に四捨五入のため、合計値が一致しない場合がある

V-4 評価分析

東アジア文化都市北九州2020▶21開催にあたり、3つの事業目標を掲げていました。また、これと同時に、市政モニターアンケート、イベント参加者アンケート、パートナーシップ事業主催者アンケートなどにより様々な情報を収集してきました。

本報告書では、これらの結果から主要なものをとりまとめ、掲載しています。

事業目標

「参加」による創造都市の実現

芸産学官+市民のオール北九州で取り組み、文化芸術を通じて市民のシビックプライドを醸成します。

「交流」による創造都市の実現

多様な交流を通じて東アジアとの相互理解や新たな価値を生み、アート之力による文化観光を振興します。

「発信」による創造都市の実現

北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し、国内及び国際的な評価を獲得します。

■ 成果指標の達成状況

《アウトプット》

目標	成果指標	目標値	実績値
参加	主催・連携事業数 ^{※1}	90件	126件
交流	交流派遣者数	500人	0人 ^{※2}
発信	SNS発信数	240件	2,428件

※1：式典、コア事業、主催事業、連携事業、交流事業の実施事業数合計

※2：新型コロナウイルスの影響で中国・韓国への渡航制限があり、相互派遣ができなかったため

《アウトカム》

目標	成果指標	目標値	実績値
参加	総来場者数	150万人	164万人（※このうち、オンライン参加者を除いた実来場者数は99万人）
交流	交流人員数	2,000人	(1,350人) ^{※3}
発信	エンゲージメント数	24,000件	443,571件
	文化芸術を「身近に感じることがある」と思っている市民の割合	2019年(41.1%)+10%	2022年8月公表予定

※3：オンライン等での交流人員数

■ 経済波及効果 1,602百万円（北九州市立大学調べ）

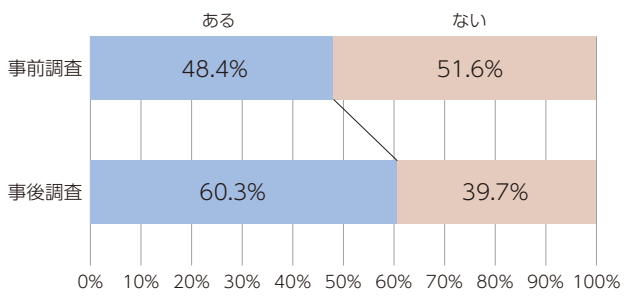
■ パブリシティ効果 1,973百万円（九州博報堂調べ）（調査期間：2019年10月～2022年12月）



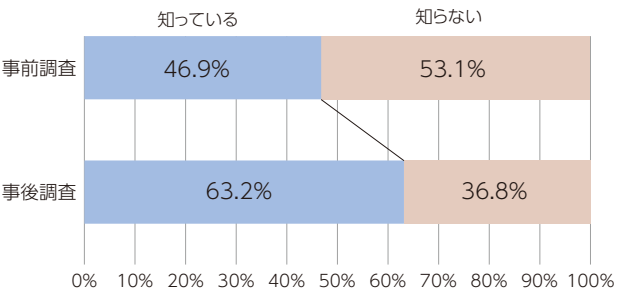
市政モニターアンケート集計

〔事前調査〕	〔事後調査〕
調査期間 2021年1月25日(月)～2月10日(水)	調査期間 2022年1月17日(月)～31日(月)
回答者数 128名(回収率 85.9%)	回答者数 136名(回収率 90.7%)

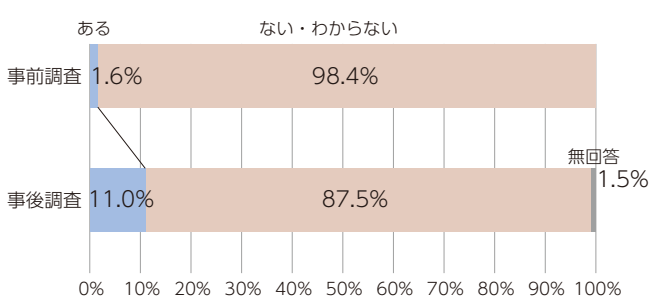
■ ロゴマークを見たことがあるか



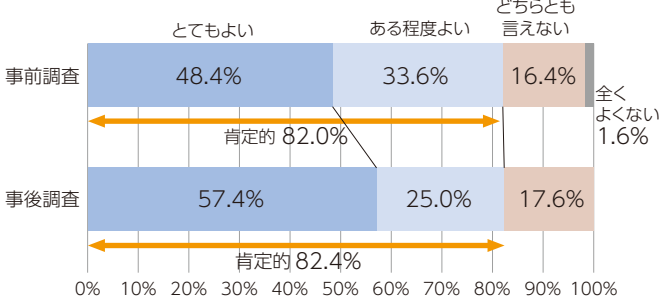
■ 東アジア文化都市の認知度



■ 東アジア文化都市イベントへ参加したことがあるか



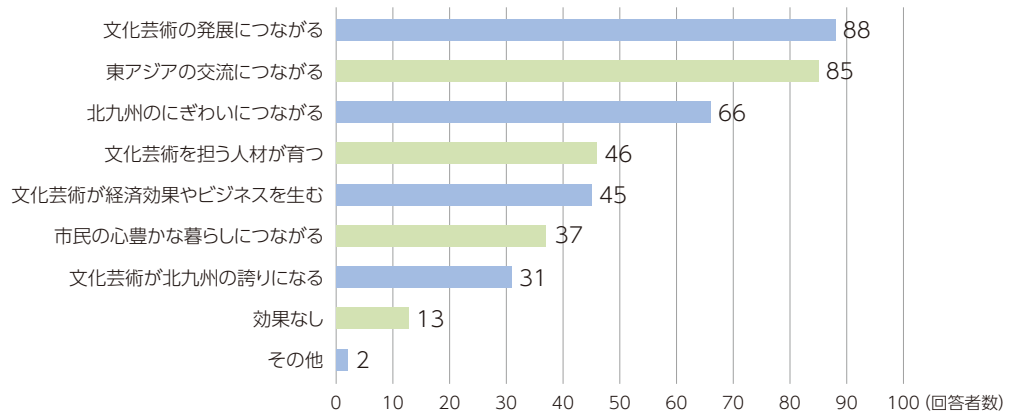
■ 東アジア文化都市が北九州で開催されることについて



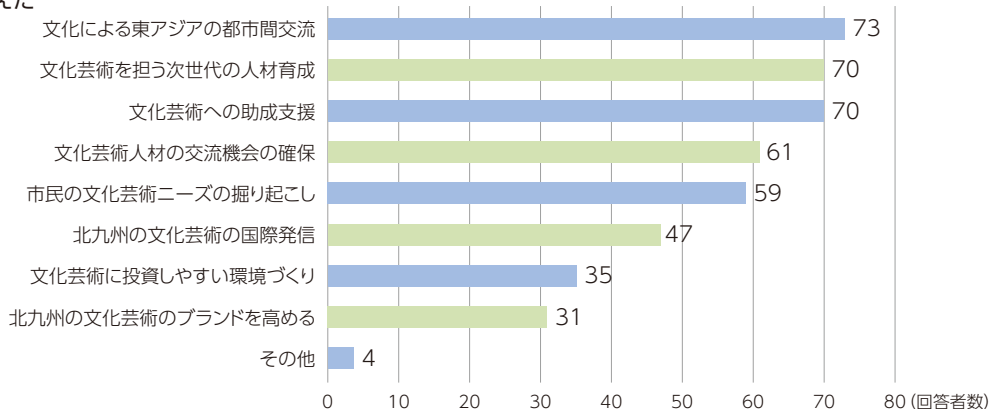
〔参加したイベント〕

- ◎ 閉幕式典 ◎ ART for SDGs ◎ 小倉城新能
- ◎ 若園タウンパレード ◎ 小倉城竹あかり ◎ 関門海峡キャンドルナイト

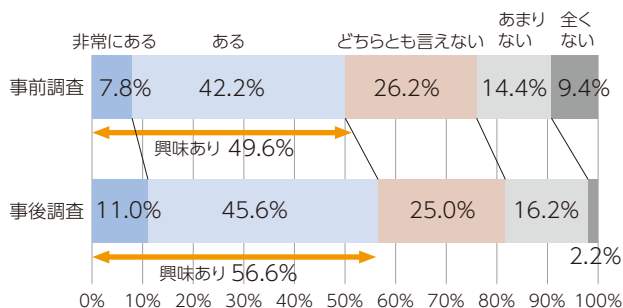
■ 東アジア文化都市開催効果〔事後調査〕



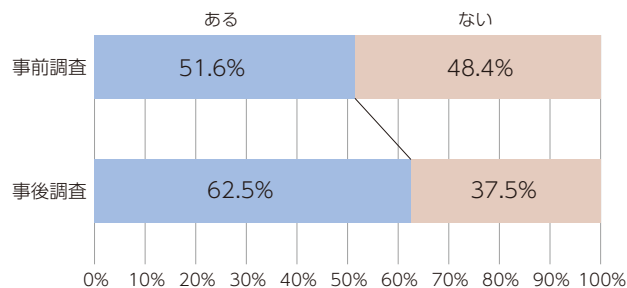
東アジア文化都市開催をふまえた
今後の施策〔事後調査〕



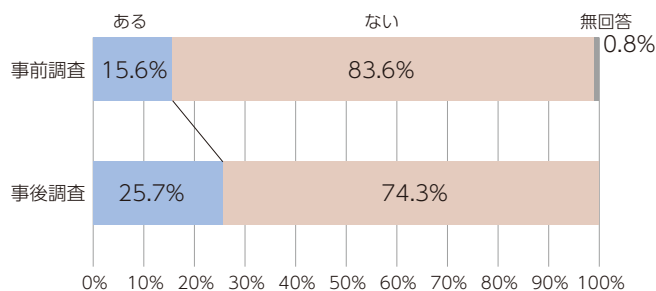
東アジアの文化への興味関心



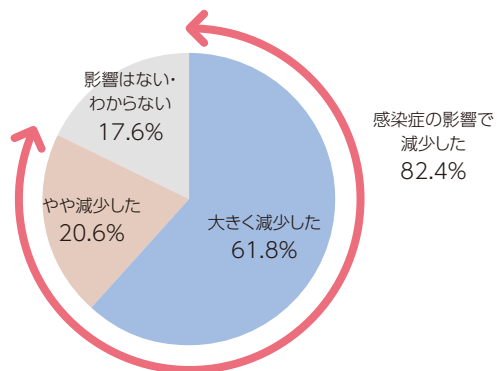
過去1年間の文化芸術の鑑賞の有無



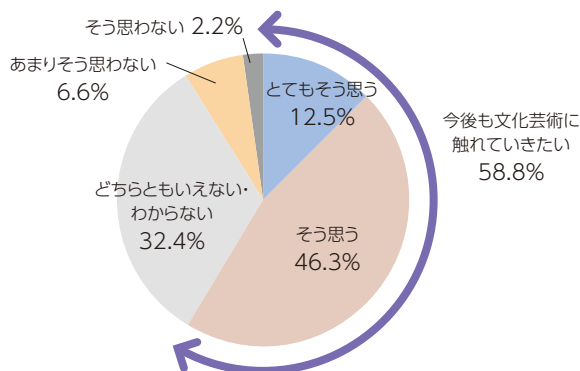
過去1年間の文化芸術活動の実践の有無



文化芸術の鑑賞・活動への感染症の影響
〔事後調査〕



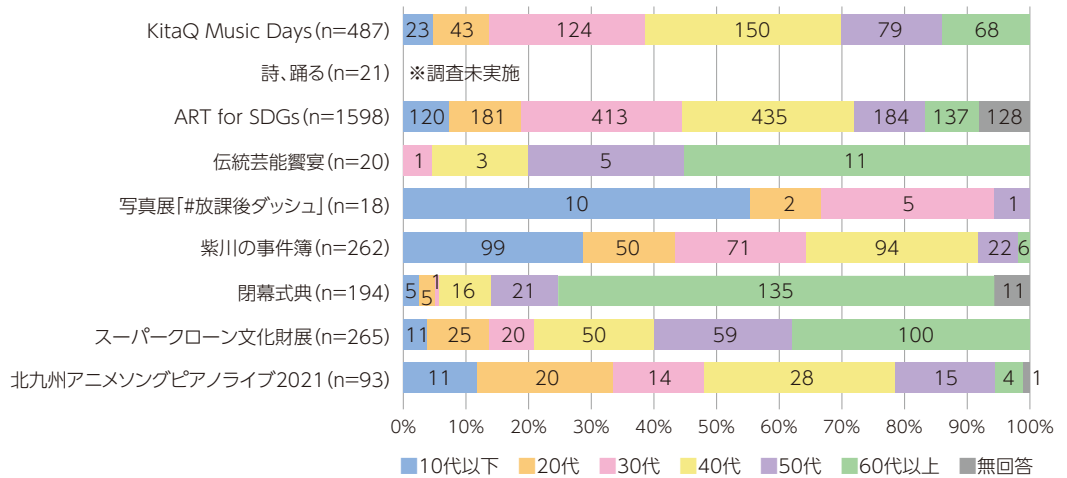
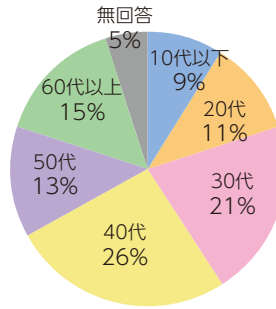
東アジア文化都市を契機として、
今後文化芸術に触れていきたいか〔事後調査〕



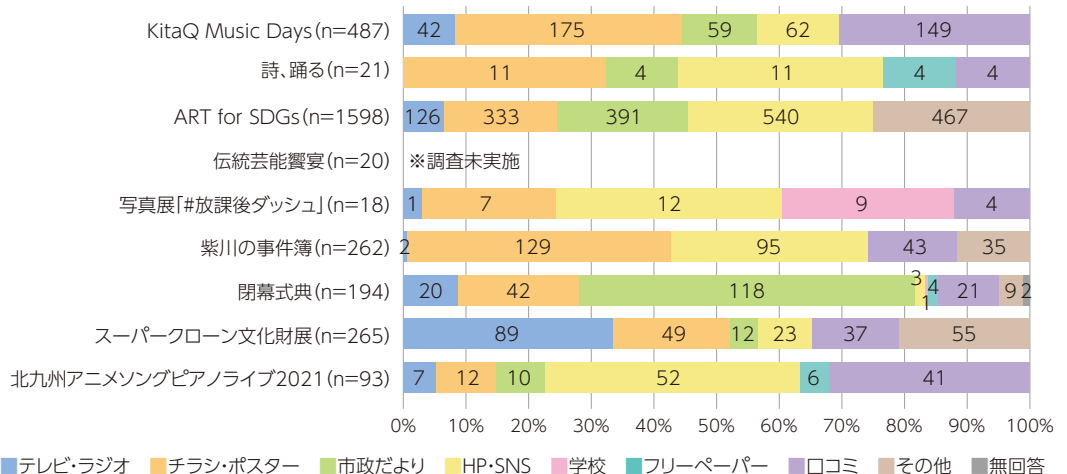
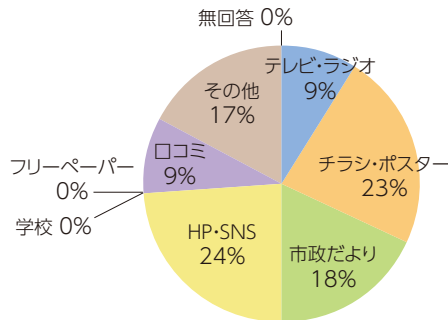


イベント参加者アンケート

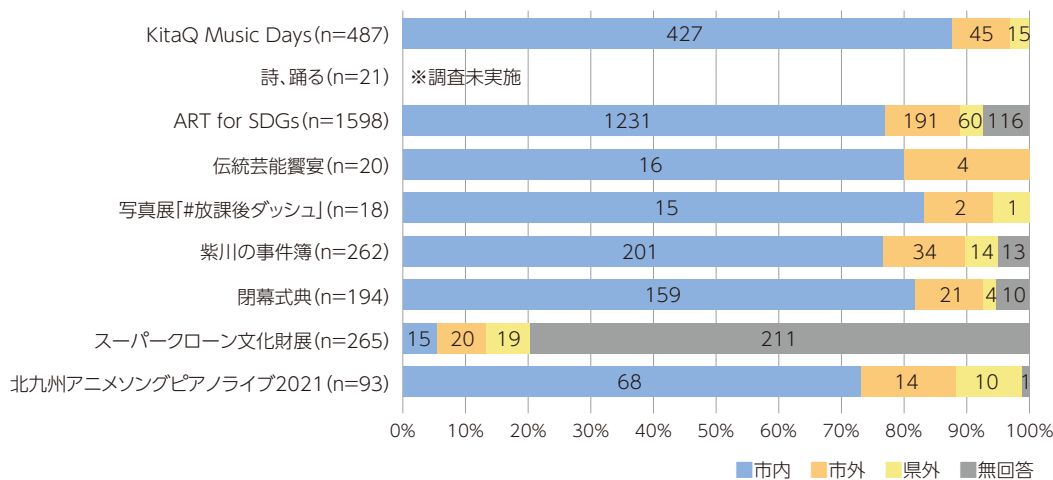
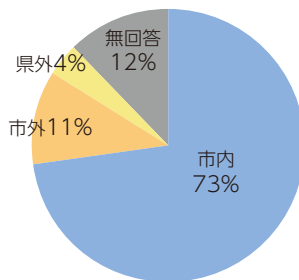
■ 参加者の年代 (複数回答)



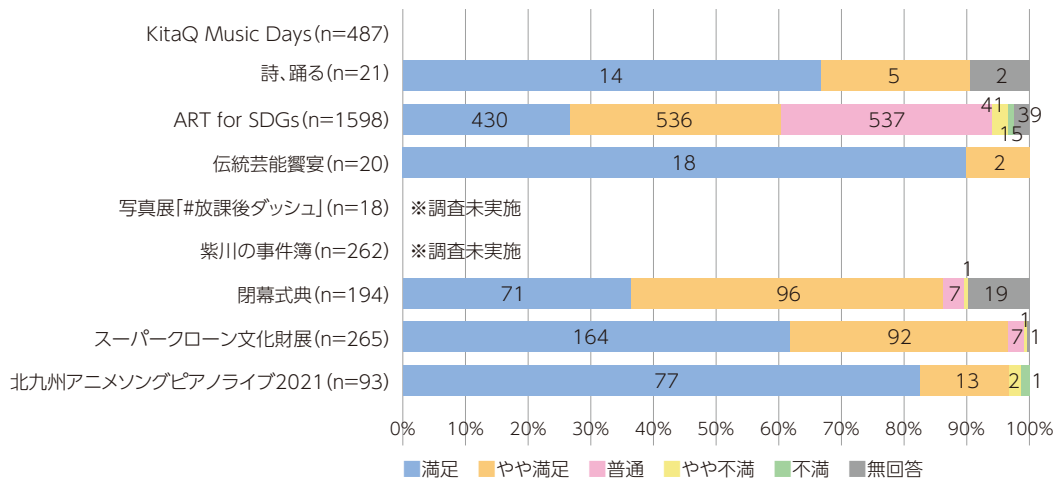
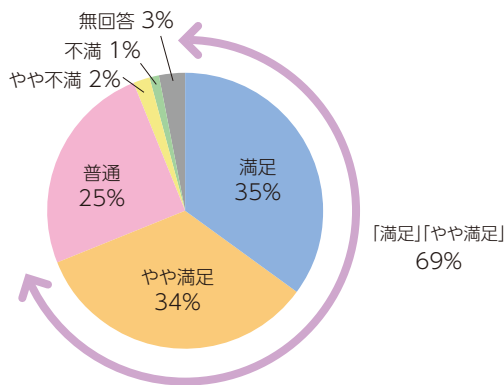
■ イベント参加のきっかけ (複数回答)



■ 参加者の居住地



■ 参加したイベントへの満足度

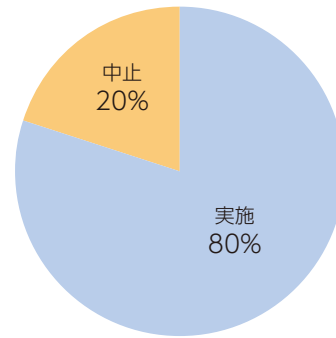




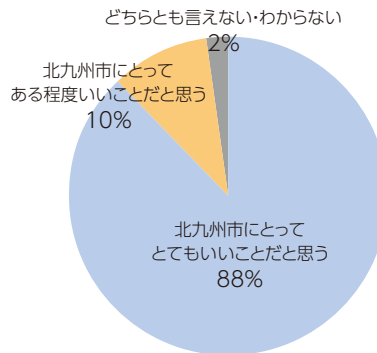
パートナーシップ事業 主催者アンケート

対象者：パートナーシップ事業採択者 97名・団体
回収数：49件(回収率50.5%)

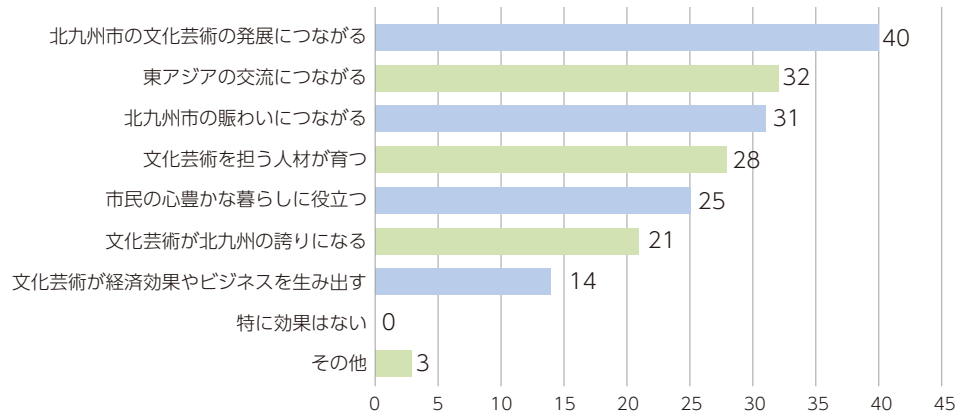
回答者の事業実施状況 ● 実施：39 ● 中止：10



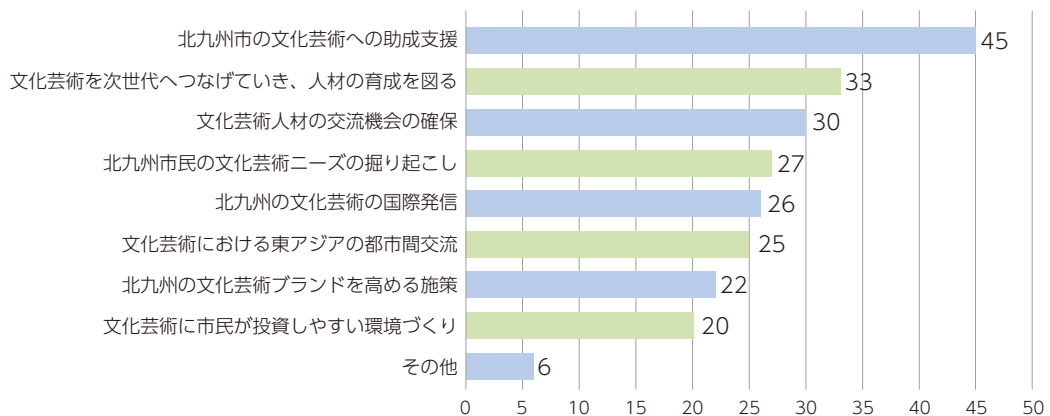
■ あなたは北九州市で「東アジア文化都市」が開催されたことをどのように思いますか？



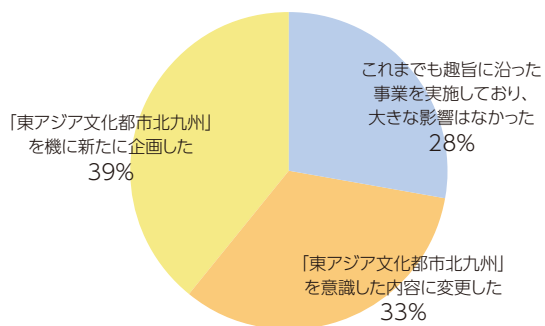
■ あなたは北九州市で「東アジア文化都市」事業が開催されたことで、どのような効果があると思いますか？(複数回答)



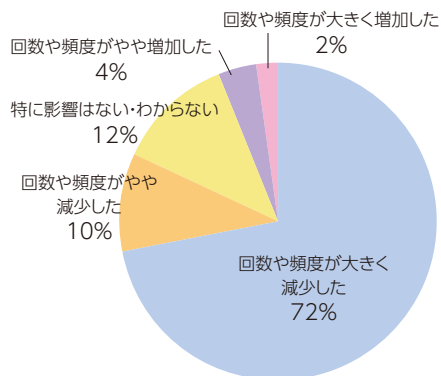
■ 「東アジア文化都市」事業の開催をふまえ、北九州市として今後どのような取り組みを行えばいいと思いますか？(複数回答)



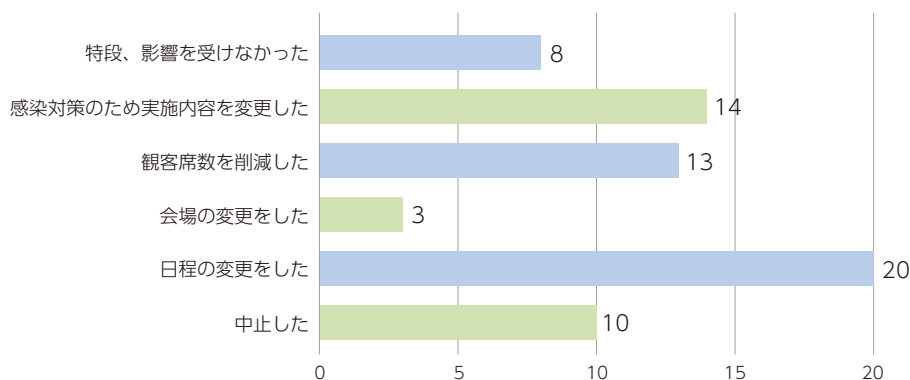
■ 主催事業に東アジア文化都市北九州は影響を与えましたか？



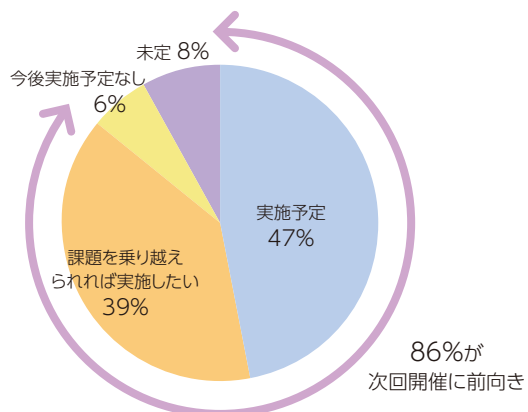
■ 新型コロナウイルス感染症の拡大は、文化芸術の鑑賞や文化芸術活動の実践の回数や頻度に影響を与えましたか？



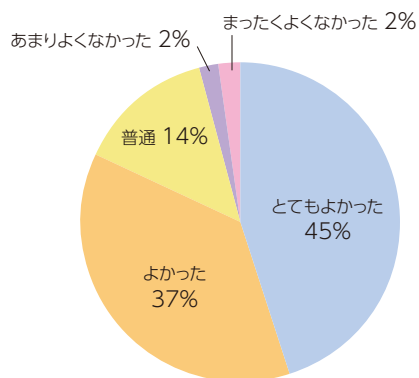
■ コロナ感染症による緊急事態宣言などで採択されたパートナーシップ事業は、どのような影響を受けましたか？(複数回答)



■ 今回主催した事業は、「東アジア文化都市北九州」終了後も実施しますか？



■ パートナーシップ事業への支援について満足度を教えてください。



V-5 事業経過一覽

東アジア文化都市北九州2020▶21のできごと

年	月日	できごと
2017年 (H29年)	5月31日	文化庁へ2019年東アジア文化都市事業企画提案書を提出
2018年 (H30年)	5月30日	文化庁へ2020年東アジア文化都市事業企画提案書を提出
	8月8日	2020年東アジア文化都市国内都市に決定(文化庁・北九州市共同記者会見)
	11月2日	平成30年度タウンミーティング「東アジア文化都市2020北九州に向けて」開催
2019年 (H31年・ R元年)	3月27日	東アジア文化都市2020北九州実行委員会設立準備会合及び第1回実行委員会
	3月	東アジア文化都市2020北九州 基本構想策定
	4月1日	東アジア文化都市推進本部、東アジア文化都市推進室設置
	4月5日	第1回東アジア文化都市推進本部会議
	5月10日	第1回東アジア文化都市推進本部部会
	5月28日	東アジア文化都市2020北九州 公式YouTube開設
	5月28日	東アジア文化都市2020北九州 開催決定プロモーション動画公開
	6月15日～7月16日	東アジア文化都市2020北九州 ロゴマーク投票開始
	8月30日	第11回日中韓文化大臣会合・2020年東アジア文化都市宣布式(2020年東アジア文化都市に正式決定)
	8月	東アジア文化都市2020北九州 基本計画策定
	10月10日	東アジア文化都市2020北九州ロゴマークの発表
	10月11日	東アジア文化都市2020北九州メインビジュアル発表
	11月24日	東アジア文化都市2019豊島 閉幕式典(引継式)
	12月5日	東アジア文化都市2020北九州 公式プロモーション映像(15秒)公開
	12月17日	東アジア文化都市2020北九州 公式ホームページ公開 東アジア文化都市2020北九州 公式SNS(Twitter・Facebook・Instagram)開設
2020年 (R2年)	2月15日	ハローキティ「東アジア文化都市2020北九州」応援大使任命式
	2月17日	東アジア文化都市2020北九州 公式プロモーション映像(3分)公開
	2月	東アジア文化都市2020北九州 実施計画策定
	3月5日	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開幕式典の延期を発表
	3月28日	東アジア文化都市2020北九州開幕宣言
	5月25日～6月18日	アーティスト等緊急支援事業「アートでつなぐ未来プロジェクト」募集
	8月4日	2021年東アジア文化都市国内都市に決定(2021年12月までの会期延長が決定)
	10月17日	東アジア文化都市北九州2020▶21ロゴマークの発表
	10月17日、18日	新しい生活様式に即したモデルイベント「KitaQ Music Days ～ARTでつなぐ新しいカタチ～」の開催 (連携事業・特別企画)2020北九州国際音楽祭「ワレリー・ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」
	11月5日	イベント開催時における感染症対策マニュアル 策定
	11月26日	第12回日中韓文化大臣会合・2021年東アジア文化都市宣布式(2021年東アジア文化都市に正式決定)
	12月20日	
2021年 (R3年)	3月31日	中国・紹興市 開幕式典
	3月	東アジア文化都市北九州2020▶21 実施計画(改訂版)策定
	4月8日	中国・敦煌市 開幕式典
	4月29日～5月9日	【コア・SDGs】北九州未来創造芸術祭ART for SDGs
	5月14日	韓国・順천시 開幕式典
	6月6日	東アジア文化都市北九州2020▶21交流式典
	8月29日	【コア・伝統芸能】未来につなぐ東アジア伝統芸能の饗宴
	8月30日	第12回日中韓文化大臣会合
	9月20日	【コア・文学】東アジア文学会議2021
	10月25日	日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu(日本側映像の展示・収録) 第2回東アジア文化都市サミット
	11月12日～14日	【コア・メディア芸術】北九州国際映画祭
	11月18日、19日	【交流事業】オンラインライブペインティング「国境を越える渡り鳥」
	11月19日	韓国・順천시 閉幕式典
	11月28日	東アジア文化都市北九州2020▶21閉幕式典
	12月7日	中国・紹興市 閉幕式典
2022年 (R4年)	3月5日	日中韓芸術祭2021 in Kitakyushu(映像作品の公開)
	3月8日	中国・敦煌市 閉幕式典

北九州市の主なできごと

年	月日	できごと
2017年 (H29年)	2月4日 4月28日	北九州フィルム・コミッションが「平成28年度ふるさとづくり大賞・団体表彰」受賞 「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」が日本遺産に認定
	11月3日 11月30日 12月26日	北九州市立美術館本館 リニューアルオープン 戸畑祇園大山笠行事がユネスコ無形文化遺産への登録が決定 北九州市が第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞受賞
2018年 (H30年)	2月10日 2月25日 3月28日 4月18日	北九州市制55周年記念式典を開催 北九州市政55周年記念事業「文化創造都市・北九州」フォーラム開催 北九州市が平成29年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)受賞 北九州市がOECDの「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定
	6月15日	北九州市が国の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定
2019年 (H31年・ R元年)	3月10日 3月28日 4月1日	国指定重要文化財(建造物)門司港駅の保存修理工事完了(グランドオープン) 「小倉祇園祭の小倉祇園太鼓」が国重要無形民俗文化財に指定 政府が新元号を「令和」に決定
	11月23日、24日	北九州市で第21回日中韓三カ国環境大臣会合(TEM21)開催
2020年 (R2年)	1月31日	世界保健機関(WHO)が新型コロナウイルスについて「緊急事態」宣言
	3月1日 3月11日 3月24日 4月7日 4月16日 5月14日 5月25日 5月26日	北九州市内で初めて新型コロナウイルス感染症の陽性患者発生 WHOが新型コロナウイルスの感染拡大について「パンデミックにあたる」と表明 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が決定 改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が7都府県(福岡県含む)に発令 新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づき緊急事態宣言の対象区域が全国に拡大 政府は39県の緊急事態宣言を解除 5都道県(福岡県含む)の緊急事態宣言を解除 北九州市立文学館リニューアルオープン
2021年 (R3年)	1月14日～2月28日	福岡県に緊急事態宣言発令(2回目)
	5月12日～6月20日	福岡県に緊急事態宣言発令(3回目)
	7月23日～8月8日 8月20日～9月30日 8月24日～9月5日	東京2020オリンピック競技大会開催 福岡県に緊急事態宣言発令(4回目) 東京2020パラリンピック競技大会開催
	10月18日～24日 10月27日～31日	北九州市で第50回世界体操競技選手権開催 北九州市で第38回世界新体操選手権開催
	12月23日	「部埼灯台」が国指定重要文化財(建造物)に指定
2022年 (R4年)	2月9日	「若戸大橋」が国指定重要文化財(建造物)に指定

挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

PR事業
オンライン事業
交流式典
開式典

伝統芸能

Art for SDGs

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

パートナーシップ
フレンドシップ
事業

交流事業

閉幕式典

共同宣言

国(UN)
関連事業

資料

あとがき

挨拶

開催概要

つなぐ

事業報告

プロジェクト事業

交流式典・開幕式典

伝統芸能

ARTISTS

メディア芸術

文学

その他主催事業

連携事業

パートナーシップ事業

フレンドシップ事業

交流事業

開幕式典

共同宣言

関係事業

関係事業

資料

あとがき

VI あとがき



VI あとがき

「東アジア文化都市北九州2020▶21」を振り返る

東アジア文化都市北九州実行委員会
副会長 近藤 倫明

2021年11月28日「東アジア文化都市北九州2020▶21」の閉幕式典が新型コロナウイルス感染症対策の中で行われた。事業のコンセプト「未来との対話」を象徴する八幡中央高校書道部の躍動する舞台上「未来永劫「魂」」の文字が次代を担う若者によって鮮やかに揮毫された。式典の最後には次期開催地大分県へ引き継がれた。

振り返ると4年前(2018年)、文化庁へ2020年開催を目指し「東アジア文化都市」事業企画提案書が提出され、その年8月に開催が決まった。翌2019年3月、東アジア文化都市2020北九州実行委員会が組織され、第1回委員会の席で北橋市長(会長)指名により副会長をお引き受けした。委員は各界代表30人を超え、まさにオール北九州の陣容で構成された。東京オリンピック・パラリンピック開催とも重なり、インバウンドを見据え経済界からの期待も大きく、北九州を未来につなぐ熱気に満ちていた。4月に「東アジア文化都市推進室」が設置され、基本計画の策定、プロモーション動画、ロゴマーク作成など開幕に向けた準備が進められた。2020年2月実施計画が策定されいよいよプレイベント、開幕式典を迎える準備が整った、その時であった。世界を未曾有の新型コロナウイルス感染症が覆いはじめ、未知のウイルスになすすべもなく恐怖、不安、焦燥感が満ち溢れ社会は活力を失いあらゆるものが停止した。開催を目前にした3月、多くのプレイベントが中止、開幕式典の延期が発表された。事態が一変する中、それでもコロナ禍という制限された状況の中で可能な企画が感染症対策のもとに実施された。社会はもがきながらも息吹を取り戻す道筋の中で、文化庁より2021年12月までの会期延長の通達を受け、会期の延長が決まった。

2021年2月第6回委員会(書面会議)で、実施計画の改定が了承され、イベント開催時の感染症対策マニュアル策定のもと事業が再スタートした。前年より延期された企画も含め、開閉幕式典、コア事業、連携事業、市民企画事業、交流事業など計画のほぼ3/4が新たな表現の形で実施できことは画期的であった。とりわけ未来を担う小中高生が参加する企画が多数盛り込まれ、海外との交流をネット上で発信するなど新たなテクノロジーを使った交流事業の可能性が生まれたことも意義深い。市民参加のパートナーシップ事業の募集は2年間で4次まで行われ、100件近くを採択した。多くの市民・団体からの応募を目的に、文化芸術を担う市民の幅広さと多様性、この街が持つ文化芸術に関する歴史や奥深さを知ることができた。市では7年前(2015年)に北九州市文化振興計画の見直しが行われ、その中に本事業の総合プロデューサーを務めた柴田英紀さんの助言を得て、北九州市が目指す「創造都市」が盛り込まれていた。本事業はその一つの結実と言える。

文化芸術はいかなるときも、例えコロナ禍の中でも必要であり、止めてはいけぬ。いや止まらない。文化芸術は人の営みであり、いかなるときも人は文化芸術の担い手である。ウイズコロナの中、本事業に参加した市民ひとり一人にとってこの体験を通して新たな財産が生まれ、これはレガシーとなり、成し遂げたひとり一人の市民のプライドとして刻まれると確信している。

コロナ禍での東アジア文化都市事業の進化と北九州市

文化庁
文化経済・国際課長 寺本 恒昌

北九州市における東アジア文化都市事業は、2020年から2年間に亘っての取組となりました。東アジア文化都市事業は、通例、1年間の取組であることから特殊な開催形式であったと言えます。これは、コロナ禍によって様々な方法論を従来と変えざるを得なくなったため、結果的に生じた事態ではありますが、前例のない取組であったからこそ、新たな意義を色々と生み出したとも考えています。

例えば、オンラインの活用。東アジア文化都市事業の下での少なからぬ取組—とりわけ事業を牽引する日中韓三カ国の取組については、物理的な距離もあり、またコロナ禍で国境を越えた行き来が容易にできなかったために、オンラインの効果的な活用が進みました。例えば、日中韓三カ国の文化大臣会合に加えて、日中韓芸術祭などの事業運営もオンライン・デジタル技術を介して様々な工夫がなされました。これを通じて浮かび上がったのは、オンライン技術は、準備にかかるコスト(物理的な準備作業等を含む)を低くしつつ、より頻繁に関係者・関係国の間で意思疎通や交流の機会を持つことを可能とするということでした。今般、東アジア域内における文化芸術の観点からのコミュニケーションを、より自然で日常的なものにし得る端緒が見えたように感じられます。

また、長期間のコミットメントも挙げられます。2年間に亘っての文化事業は、開催者である北九州市にとって少なからぬ負担であったと思います。他方、関係の皆様のコミットメントとご尽力を通じ、文化庁をはじめ日中韓関係者にとって、北九州市が東アジアにおける文化都市の代表格の1つということが強く印象付けられたのも事実です。北九州市をはじめ九州地方は地理的にも中韓との距離が比較的近く、歴史的にアジアに対するゲートウェイとしての役割を果たしてきたと理解していますが、文化交流という観点からもその位置づけを確固たるものにした2年間であったと考えます。

昨年8月に北九州市において、オンライン併用型で開催された日中韓文化大臣会合では、三カ国域内の文化交流から、今後、三カ国で協力しながら地域の文化芸術の魅力を域外、すなわち世界へ打ち出して行くという新たな方向性を合意するに至っています。文化庁としては、北九州市をはじめとするこれまでの文化都市、2022年度の文化都市として手を挙げて頂いた大分県(大分県及び県内複数都市による広域参加)とともに、世界に向けた魅力発信の準備を鋭意進めたいと考えています。こうした新たな文化交流政策の潮流においても、北九州市におかれては、引き続き強力な牽引役として文化庁と引続き密に連携頂くとともに、北九州市ならではの文化芸術の魅力も世界に打ち出されていくことを強く期待しています。

事業担当者の感想～私たちのレガシー～

開幕まであと100日を切った2019年12月頃、海外で新型コロナウイルス感染症が流行しているとのニュースが入ってきました。次第に日本国内でも感染の影響が出始め、全国各地でイベントが次々と中止に。2020年3月初旬、北九州市内でも感染者が確認。文化庁と協議の結果、3月28日の開幕式典は延期、その他の事業は感染対策を講じた上で、可能な範囲で実施することとなりました。東アジア文化都市北九州は静かに幕を開けました。

一方、市役所内では特別定額給付金やPCR検査センターの開設など、新型コロナ対応が最優先で進められ、東アジア文化都市推進室の職員も次々と新型コロナ関連の部署への異動や応援業務に従事することになりました。事務局にわずかに残る職員も延期イベントの日程調整や出演者・関係者との再調整、関係機関や団体との連絡だけでなく、アーティストへの緊急支援事業、感染防止対策を強化したイベントの立ち上げなど、「文化芸術の灯」を絶やすまいと、無我夢中で奔走しました。

東アジア文化都市北九州のRe:STARTとして、2020年10月に新しい生活様式に即したモデルイベントを開催することとなりました。参加する皆様に安心して文化芸術を楽しんでいただくため、徹底した感染対策を施し、できる限りの準備を進め、緊張の中での開催でしたが、来場者、出演アーティスト、イベント事業者、出店者の皆様から「久々のイベントでとても楽しかった。」との声を多くいただきました。マスク越しですが、久々にたくさんの笑顔に触れることができました。

新型コロナ対策をして開催できたイベントがある一方で、開催を断念したイベントも数多くありました。その理由は様々ですが、「研鑽を積むお稽古、練習が十分にできないから開催できない」というのを聞いて、改めて「文化芸術の灯」ともし続ける難しさを痛感しました。マスクをすると表情が見えない。これは特に舞台芸術をつくる場面においては大きな課題です。表情が分かるよう開発された透明マスクを試すなど、稽古場や制作現場では試行の日々が続きました。

観覧募集をすると大勢の方にご応募いただきましたが、コロナ対策で席数も減らさざるを得ず、泣く泣くお断りせざるを得ない方も多かったことが心残りです。一方で、コロナ禍だからこそ、文化芸術の癒しや感動が、今まで以上に求められていると実感しました。

もっと中国や韓国の開催都市を行き来し、お互いの文化の良さ、素晴らしさを感じあいがらの交流がしたかったです。コロナ禍で国境を越えた直接の文化交流ができなかったことが残念でなりません。交流事業はWEB上でのオンライン交流に変更となり、技術的な面で大変苦労しましたが、子どもたちのいきいきとした表情を見て、胸が熱くなりました。

YouTubeやSNSを活用して、オンラインでも文化芸術を楽しんでいただけるよう努めました。いつでもどこでも気軽に楽しめる一方で、臨場感や没入感に課題が残るなど、文化芸術の新しいカタチを模索し続ける日々でした。

感染の拡大と減少の波を繰り返しながら、常に新型コロナとともにあった2年でした。未知の事態に翻弄され、自分たちが無力に感じることも少なくありませんでしたが、逆境の中で踏ん張ったおかげで、人生において忘れられない大事なものをたくさん得ることができました。

この事業に関わってくださった方々、様々な形で心を寄せ、支えてくださった全ての皆様に、感謝を申し上げます。いつかまた、お会いする時まで、くれぐれもご自愛ください。

東アジア文化都市北九州実行委員会事務局 担当者
(北九州市市民文化スポーツ局東アジア文化都市推進室)

東アジア文化都市北九州2020▶21 事業報告書

発行日：2022年3月 初 版
2022年6月 第2版

発 行：東アジア文化都市北九州実行委員会、北九州市
北九州市小倉北区域内1番1号(北九州市市民文化スポーツ局東アジア文化都市推進室内)

禁無断転載





東アジア文化都市北九州
公式ホームページ



東アジア文化都市北九州
公式YouTubeチャンネル

